滿洲日報
夕刊
十月十一日
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

大勢に影響する改正は望み難し

樞密院の事務規定

【東京特電十一日發】樞府の事務規定改正に關する十日樞府の協議會は大體意見の一致をみたので來る十五日の常例樞府本會議前會後全顧問官に提示して贊成を求めその

贊成を得 るにおいてはこれを倉富議長に進言してその實現を圖る筈であるが、顧問官中にはこの改正に快よからず思つて相當反對してゐる向があり、果してこれが全會一致議決されるや否や疑問とされてゐる、また假に全會一致これを議決したとしても顧問官からこれを議長に强要する權能なく、單に議長に參考として送附をするのみであり議長がこれを採用するか否かは議長の一存にあるのであるから全會一致これを議決したとしても議長がこれを採用しなければそれ迄である、まして顧問官の中に幾人かの反對者があるとすれば議長はその採用につき慎重の態度を持して容易に首肯しないのであらう、しかし大勢に影響なき事務規定の改正若しくは慣行の變更ならば議長もこれを受け入れ又政府とも交渉の手續きを執るであらう、從つて今回の改正もこの大勢に

影響なき ものならば兎も角然らざる限りその實現は困難と見られてゐるからその實現するものは結局

一、御諮詢案下渡しと同時に全顧問官に對し案の配布をなすこと
二、審査委員會に委員外顧問官も出席し得ること

の二項目位のものであつて御諮詢案下渡し後第一讀會を開くの件は顧問官中に反對者あつてその實現は困難のやうに觀られてゐる

今回の改革問題の結末をつけるために第一讀會に代るべき案として御諮詢案御下附後議長は必要に應じて全院委員會を開き政府の提案趣旨を聞く事が唱へられ勅令改正の煩を避けこれを内規に規定せしめんとの主張が唱へられてゐる樣である

岡田案は骨拔き

内規改正の程度に止まらん

【東京十一日發電通】十日の樞府事務規定改革に關する有志顧問官協議會にては御諮詢案御下附直後第一讀會を開くべしとする説を中心に論議され大體右第一讀會は議案の性質により開く事としこれが開閉は議長においてなすとの條件を附せらるる事となつたがこれによると必ず第一讀會を開くべしと主張せんとする岡田顧問官の案は全く骨拔きとされる譯で何等の改革を見ざるに等しくなり早くも今回の改革問題は龍頭蛇尾となりさうな形勢となつたので樞府一部では

藤澤議長の閣僚招待

政務多忙のため延期となつてゐた藤澤樞密院議長の濱口首相以下各閣僚招待會は七日午後六時より麹町霞ヶ關議長官舍に於て開かれた【寫眞右より、安保海相、松田拓相、渡邊法相、江木鐵相、町田農相、藤澤議長、小山副議長】

失業救濟のため結局公債募集か

長官會議に於ける首相、藏相の暗示

【東京特電十一日發】現内閣金解禁の一たる非募債策は飽迄も不變更か、それとも大勢に鑑みて多少緩和するか時節柄各方面の注目を惹いてゐるが、これに關して井上藏相は十日の地方長官會議に於て左の如く言及してゐる

或は現下の不況對策として政府は自から大いに公債を募集し盛んに事業を起すべしとの論もありますが、その結果は通貨の膨脹、物資の騰貴を來し輸入增加は超過し金解禁後の財界の善後措置と逆行することゝなるのでありまして斯る方法を採ることは出來ぬと考へます

この言明は一見如何にも從來の非募債方針を固持繼續するように思はれるが、これは所謂政策轉換といふ意味での公債增發を否定したもので、最近問題となつてゐる失業公債發行如何はこの言明に含まれてゐないものと見られてゐる、それは藏相が日頃「失業問題だけは別だ」といつてゐる事項に徴しても明かだ」と謂はれてゐる、また當日の濱口總理の演説中にも失業問題に關して「今後の情勢によつては更に適當の施設をなし以てその急に應ずるの用意を怠らない考へであります」と述べ地方起債緩和以上にこれが對策あることを暗示してゐる、斯の如く政府の意向としては必ずしも失業對策のための非募債方針緩和はこれを否定してゐないのみならず、經濟界一般の客觀的情勢と財政上の實情とは恐らく明年度一般會計豫算に於て公債募集を餘儀なくされるであらうと見られるに至つた、而して右起債はこの場合一般市場よりの公募を見合せ預金部に於て全額引受けとするものと豫想されてゐるが何れにしても斯る方法により若し從來の所謂非募債方針を放棄されたる場合は果して如何なる影響を及ぼすかといふに體面論のほかに實質的影響は殆どないものとされてゐる

租税不納同盟

教員減俸問題に絡んで

【高田十日發電通】新潟縣中頸城郡菅原村では村費の七割を占むる教員俸給費を減額せんと教員側と紛擾を重ねてゐるが、米價慘落の今日租税の納入にも困つてゐる村民は十日遂に租税不納同盟を組織する一方兒童を同盟休校せしめ、教員側に對抗する申合せ全村殺氣立つてゐる

走馬燈

栗村生

北力と南力

支那では古來、漢民族の文化を中心として中華と誇り、四方の蠻族を東夷、南蠻、北狄、西戎など、稱した。そして少しでも文化の優れた中華人は、これらの蠻族から慘々に虐められたものである。萬里の長城などいふ遺跡が何よりの證據、そして支那、五千年の史實は、つれに南風きそはず、北方から中原の攪亂せられたる一再ではなかつた

◇

支那の天子は南面して施政し來つたことは文獻の示す通りである。祠廟などの必ず北斗を背にして建てられ、山左、山右などいふも泰山に登臨し南面した場合の名稱に外ならぬ。これ取も直さず、北力が常に南力を抑壓し來つたことが如實に物語るものといふべきであらう。

◇

然るに辛亥革命以來、この五ケ年來の原則が根柢から破壞し去られたかの感をなすのである。それは外でもない、現に孫文は廣東から起つて、とにかく北伐を成功したのである。蔣介石は黄埔の軍官學校から北伐軍を擧して湖南に入り、つひに長江沿岸にまで出て、而して更に北進し、北京を北平と改め、南京に國都を奠むるまでに至つたといふ事實は、國民革命以上の史實革命といはねばならぬ。

◇

今度の戰爭にても、馮玉祥の西北軍に氣勢あがらず、閻錫山の山西軍はペチャンコになつたなどは、その昔、匈奴が時々、中原を震撼せしめたなどに思ひ合すと、實に今昔の感に堪えぬものがあるではあるまいか。奉天軍と南京軍とは未だ衝突するまでには至つて居らぬが、とにかく南方力が常に北方力に抑壓されて來つたといふ五千年來の原則は、すくなくとも民國革命以來、打破せられたものといはねばならぬ。

◇

これといふのも、全く武器の革命の將來した現象ではあるまいか。獰猛であつた北狄、西戎も一たび漢民族に同化されんか、よし、遺傳的に獸性を發揮して見ても、飛機や毒ガスには閻錫山ならずとも三舍を避けざるを得ぬことになるのではあるまいか。

◇

今日の戰爭の勝ち敗けは必ずしも武器のみでは決しない、浙江財閥のやうな資本力も、殊に支那では必要であらう、が兎にかく支那、五千年來の歷史的原則が破られ、北力が南力に抗し得なくなつたのは支那、今後の時局を判定する上において、相當、有力なる考慮の一ツに加へねばならぬところではあるまいか。

豫算原案の内示

來る廿五日頃の豫定

【東京十一日發電通】大藏省主計局における明年度豫算編成準備は其の後追加要求輻湊し歳入見積りもまだ決定を見ぬものがあつて整理がつかぬので到底豫定の十三日より大藏省議にかける見込がなく一日延期し十四日より豫算省議を開くこととなつた、而して歳入減收、經費節約、新規要求處置、海軍補充計畫と減税の配分問題もあり、豫算省議は十日以上に亙るべく從つて各省へ豫算原案を内示するは二十五日以後となるであらうと見られてゐる

米價調節の具體的方策考慮

けふ地方長官會議における町田農相の訓示要旨

【東京十一日發電通】地方長官會議第二日（農林省所管）は十一日午前九時より首相官邸に開會、町田農相より左の要項の訓示あり次いで指示事項に關し質問應答を重ねた

米穀に關する根本的制度の確立を期するため昨年政府は米穀調査會を設けその研究を進めつゝあり、而して曩に同調査會より答申ありたる米穀の發動に關し必要なる米價基準の設定については爾來農務當局において立案中のところ今回その成案を得たるを以て近日調査會を開き審議することゝなれり、次ぎに本年における内地米の收穫高は第一回豫想によれば六千六百八十餘萬石に達し且つ鮮米の收穫高も同じく一回豫想によれば千九百餘萬石に上り内鮮共に空前の大豐作を豫想せられ米價は低落しつゝあるが、なほこの趨勢にして持續せんか直に農家經濟のみならず廣く產業界經濟界全般に及ぼすべき影響頗る大なるものあるを信ず、依つて政府は米穀の數量調節を主眼とし一面においては内地米の海外需要及外米の輸入に對する阻止に依り供給數量の減少を圖ると共に他面においては出廻期における一時的供給過剩を防止するの方策につき考慮しつゝあり、而してこれが具體的方策は遠からず時期を失せざるやう決定實施せんとする豫定である

公立學校に主事設置

學生監を廢し

【東京十日發電通】文部省では公立大學の學生監を學生主事に改め新に學生主事補を加へ公立の專門學校、實業專門學校及び公立高等學校に生徒主事並に生徒主事補を置く事となり十一日これに關する改正勅令を公布する事となつた

間島在住邦人徹底的保護策樹立

總督府の態度强硬

【間島特電十一日發】龍井の治安は朝鮮から派遣された應援警官隊によつて維持されてゐるが第二次應援隊百名は今なほ上三峰にあつて間島に入る模樣なく、また龍井にある應援隊も龍井外に一步も出る機會がない、斯くては龍井外の**我同胞は依然共產黨の跳梁と支那官憲の壓迫より救はれない** ため間島内鮮人民會より外務省その他政府要路に陳情の電報を發した、一方朝鮮總督府としては間島在住鮮人に對する徹底的保護策を樹つるはこの機會にありとし態度頗る强硬と見られる節あり牧野外事課長は九日夜突然來龍し目下總領事館と協議中である、なほ支那側も事態を頗る重大視して**吉林軍隊の出動説その他各地の軍隊動員説** 等種々の流言が渦を卷いて人心動搖してゐる

激增する學齡兒童

明年度の新入兒童は約二萬名 霞町に一學校を新設

大連市内における學齡兒童は每年超スピードで增加して行くが昭和六年度も小學校において三十學級千六十名の激增を見越し公學堂においては九學級、五百四十名の增加を豫想し民政署では六年度の豫算を編成した、小學校の學級增加別は

伏見臺二、朝日三、日本橋一、常盤一、大廣場二、春日二、南山麓二、嶺前二、沙河口一、大正三、聖德一、早苗高等五（補習科を設置の計畫で）下藤四で五年度の生徒數が一萬二千六百六十八名、六年度の生徒數豫想が一萬四千三名、公學堂の學級增加別は

土佐町二、伏見臺二、秋月五で五年度の生徒數が四千六百名、六年度の生徒數豫想が五千百四十名である、なほ各小學校の學級增加は何れも苦い遣り繰りで是非とも新校開設の必要に迫られてゐるので六年度では霞町に一校を新設すべく豫算に計上したが開校は昭和七年の見込みであると

齒科醫學會總會

伯林大學デ教授講演

南滿齒科醫學會では來る十七日の神嘗祭に第十五回總會を大連醫院講堂において開催するが當日内外碩學約百餘名出席する外、特に來賓として齒科醫學界の世界的權威者たるベルリン大學教授ディーク博士及び東京高等齒科醫學校長島峰徹博士等來會し特別講演をなす、なほ當日功勞者に賞品授與があつて各十五分間の學術講演を行はれるが、特別講演題目は左の如くである

▲題未定島峰徹氏▲謙信し易きレントゲン寫眞に就てディーク氏▲口腔と皮膚科的疾患柳原英氏

國勢調査の統計約二ケ年で完成

六十名の臨時雇採用

去る一日全滿洲一齊に施行された關東廳の第二回國勢調査の結果については本月末迄に各地調査委員の手によつて整理されたる申告書全部を本廳に取集める筈で、目下文書課からは高野、水町、藤井の統計係三屬が沿線に出張取纏め中であるが、かくて申告書の蒐集終了すれば國勢調査係において十一月一ぱいの豫定で該申告書を一々檢査して人口統計を取り先づ同月末には早くも在滿日支人口の總數が發表さるゝ筈である、而して更にその後は愈々國勢調査の本格的目的とせる年齡、配遇、職業その他各種別の計數を得る計算に取りかゝるので關東廳ではこれがために男女約六十人の臨時雇その他を雇入れ同時に廳内現假任官食堂の廣間を國勢調査室に充てるのであるが、その計算順序は先づ蒐集されたる申告書（檢査濟みのもの）につき夫々一個人別のカードに記入し更にこれを反覆して各種別の集計を採るといふ區分統計を要する計算であるが、いよ〳〵その結果が判明するのは今後約二ケ年を要すと

關東廳で使傭の華工の賃銀引下

年額二萬圓の節約

關東廳財務課ではかねて銀相場の下落と歳費節約の主旨から同廳課長各官衙即ち本廳土木課を筆頭に同出張所、遞信局、民政署、電氣水道等の諸事業の勞働に使役せる華人現業員の賃銀引下げ方を考慮中であつたが、當分現狀の低相場を免れぬ銀相場と同廳諸歳入の激減は今回愈々財務當局の斷乎たる決意を促す所となり同財務部では十日午後一時から廳内第二應接室において課長會議を開催の上財務部より右の如き理由にて本月より直に同使用華工中の高給者（一日五十錢以上）の賃銀引下げを行ひたき旨を提案して愼重協議する所があつた、而して右引下げ率は大體において現賃金を銀相場に換算して適當とされる程度とし最低五分から最高は三割に及ぶ者もあるが右の如く華工現業員の勞銀低下の曉は同廳では年額約二萬圓の歳出節減を圖り得るであらうと

連絡會議の内鮮代表

十二日夜來連

滿鐵主催の第九回日滿聯絡會議は愈々來る十九日から本會場を大連ヤマトホテル大廣間、委員會會場を社員俱樂部として開催に決定したが鐵道省の代省出席者運輸局國際課長田誠、東京鐵道局副參事官加藤鎌三郎、運輸局國際課旅客課事務官三輪眞吉、同國際課員松井庫次、經理局調査課員長橋明後の五氏朝鮮鐵道局代表營業課員織田登氏の一行六名は十二日廿時三十分着列車で着連することになつた

滿鐵事業費豫算

廿日頃迄に査定完了

滿鐵昭和六年度豫算決定の重役會議第一日は十日午後一時卅分より開かれ同六時散會したが、鐵道部事業費豫算の三分通りまでは審議を終り極めて順調に進んでゐるもののやうである、從つて總額三百萬圓を計上する大連驛の新築豫算も近日中に議題に上ることゝなるが鐵道部豫算終了後は多分炭礦部豫算に移るべく事業費豫算の審議は廿日前後に終了するものと見られてゐる、因に本重役會議は休日を除き連日午後一時半より開かれる筈

滿鐵の定期昇給

二十日前後に發表

滿鐵職員の定期昇給は緊縮の折柄率を減ぜられはせぬかと見られてゐたが例年同樣目下總務部で査定中にて二十日前後に十月一日附で各社員へ通知されることにならうと歴員、傭員の昇給は十六日附であるが全社員昇給額は二十萬圓見當の模樣である

滿鐵學務課長

社員から拔擢

滿鐵地方部學務課長は現に奧野地方課長が兼務をしてゐるが近く專任を決定する筈である、新學務課長は大森部長が内地から適當な人材を選んで据えるだらうと觀測されてゐたがやはり社員から拔擢することに決めてゐる由にてこれが人選は山西次長に一任してゐる模樣である

滿鐵社員の昇格銓衡

滿鐵では昨年四月準職員で採用した專門學校以上の學校卒業者で技術方面のものゝ職員登格有資格者七十八名（内入營中のもの十五名）に對し目下登格者の銓衡中であるが從來登格者は十月一日附職員の任命發表されたが本年は職制改正その他の事情で有資格者の論文提出が遲れ十月一日附任命は不可能かと見られてゐる、因に目下人事課に提出中の論文は鐵道部、鑛部等から二十八通で未だ半數にも達せざる狀態だといふ、なほ右有資格者の銓衡は支那語三等通譯合格を必要とし更に勤務成績と支那語を除く外國語及論文を審査することになつてゐるが語學試驗は三月既に終了してゐると

奉軍、第三軍の編成に着手

軍長には胡毓坤氏

【奉天特電十一日發】軍政廳長張煥相氏の手で奉天、吉林、熱河の各軍から目下第三軍が編成されてゐる、胡毓坤氏も近く軍長に任命されるが張學良氏は更に右完了後第四軍をも編成し軍長に湯玉麟氏を任命することになつてゐる

張宗昌氏近く山東に出動

奉天軍の一部を率ゐ

【南京特電十一日發】張學良氏の斡旋で南京政府は近く別府に在る張宗昌氏の逮捕令を取消すことになつたが、張氏は今後奉天軍の一役を引受けて山東で活躍すべく先づ天津に向ふと

北京から滿洲を旅行する豫定で十四日南京に行き蔣介石氏と會見の筈

定州各機關

奉天派が接收

【北京十日發電通】于學忠氏の談によれば第一軍第六旅は今朝七時定州の全機關を接收し山西軍は石家莊方面に撤退した、今後張學良氏の電命ある迄は定州北南に進出せず石家莊接收も命令ある迄實行せぬ事に決した

反蔣派の重要善後會議

【北京特電十一日發】汪精衛、閻錫山氏は目下石家莊西太飯店において重要會議を開いてゐるが焦作に在る馮玉祥氏と近く地を擇んで會見すると共に決定した、西北軍から中央軍に寢返つた部將は吉鴻昌、張印湘、梁冠英、張治中、葛雲龍、張維璽氏らでこれ等は河南の土着派であるから馮玉祥氏の直系軍隊には何等の損失はない、而もこれ等の部將は馮玉祥氏の諒解を得た後寢返つたらしいので今後の馮玉祥軍は何れへ行くかゞ最も注目されてゐる、奉天軍の先鋒は定州に在り山西軍と對時してゐるが山西軍は殆ど問題になるまいと見られてゐる一方中央軍は何成濬氏去りて洛陽の宋哲元軍を追擊し孫殿英氏は京漢鐵道から北上をつゞけ劉鼎文氏は隴海線の殘兵を掃蕩してゐる

地方長官招待晩餐會

【東京十一日發電通】濱口首相は十日午後六時半より首相官邸に地方長官會議列席者一同を招待して晩餐會を催し首相より一場の挨拶ありて午後八時過ぎ散會した

重光代理公使歸滬

【南京十日發電通】重光代理公使一行は今夜王正廷氏の晩餐會に臨み十一時發上海に引揚げるが十四日永井外務次官と共に來京し二十日迄滯在し故譚延闓氏の國葬に日本政府代表として參加する豫定である

永井外務次官

十四日南京へ

【上海十日發電通】支那視察の永井外務政務次官一行は本日午後二時二十分上海丸で當地に入港した氏は約一ケ月の豫定で南京、漢口、

大森理事は

豫算會議後巡視

滿鐵地方部長大森理事は豫算會議終了次第沿線を巡視するが健康が依然優れないので東鐵その他隣接鐵道行きはやめて滿鐵沿線のみに止めると

菱刈軍司令官動靜

朝鮮における師團對抗演習參觀のため出張中の菱刈關東軍司令官は十三日歸任の豫定の處一日を繰延べ十四日（時刻には變更なし）歸着に變更された

辭令【東京十一日發電通】

關東廳醫院醫官兼技師　大槻滿次郎
同上　大津　尙
關東廳中學校長兼教諭　西内精四郎
免兼官（各通）

うらる丸の船客

【門司特電十一日發】十三日大連入港豫定のうらる丸の主なる船客末松清一郎、北西位佐久、片桐久郞、坂本政五郎、一ノ宮銀生見市廣吉、榮喜代二、小濱八彌杉浦周治、河原林爲治郎、根津清太郎、野田健太郎、岡田文雄山田英吉、木村專一、林部與吉梅田潔、高田英夫

人事

▲金子克己氏（長崎東洋新聞社長）十日來連ナニワホテル投宿中

大觀小觀

問題の樞府改革、勅令に觸れず大勢に影響を及ぼさぬ、內規の改訂に過ぎぬとあつては、大騷ぎするほどのことはない。

◇

野球を興行と見るべきか、否かで、警視廳行惱む、スポーツの眞目的を沒却する勿れ。

◇

出超期の貿易振はず、またく驟減努力が足らぬと見える。

◇

ストーブ展覽會開く、冬近きを思ふ。

天氣豫報

十二日（西の風）晴れ

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連（午前零時三十五分）	一一、八	一八、九
旅順（午後零時三十分）	一四、二	一七、三
營口	一〇、三	一七、〇
奉天	一〇、五	一四、六
長春	九、六	一五、三
滿洲里（午前六時四十五分）		
千葉（午後六時二十五分）		

俠艶一代男（82）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

佃の夜嵐（三）

――勤めもの憂きひさ節ならばさくも消えなん露の身の、ひかげしのぶのよなく人にあふのを勤めの命かな……。

一葉は三味を抱へてゐるうちにいつか好きな加賀節の一節を爪彈きに、口ずさんでゐた。

別に加州に流行つた小唄ではない、加賀太夫が唄ひ出した調子ではあつたが、澁い節廻しが、引き入れられる哀愁を覺え、秋の夜にはふさわしいものに思はれる。

月は餘程、空に上つて、明るい光が海面に銀鱗を撒き散らしたやうにキラくと美しい。

風が出たか？屋根船が輕くゆらくと揺れて、舷をなめる濤の音が、叶家の一葉が彈く絃の音を縫ふて聞えた。

その船の近くへ、先刻から附いて離れない一艘の屋根船、障子を締め切つてゐるので、中に何者が乘つて居るか、判らなかつたが、まるで監視でもする風で、月影の漂く照す海面を、西へ、東へ、跡をつけてゐる。

侍たちは、頻りと一葉へ盃をつきつけては

「さア、もう一つ乾たら什麼ぢや？」

「拙者も一杯、獻ぜやう！」

「この盃は一葉へ廻ぜ！」

「もう一つ重ねて、身共が貰はうか？」と、入れ代り、立ち代り、相手は變るが、主は變らずで、四人の加州侍が一葉に許り、酒を强く勸めた。

「いえ、もうたくさんでござんす。幾ら好きなお酒でも、皆さまのやうな豪傑揃ひで、攻め立てられては、一葉の身は降參するより外はございませぬ」

一葉は醉ふまいと、氣を引き締めてゐたが、立て續けに重ねた盃の醉ひに、ほんのりと眼元を紅く染めてゐる。

「何の！まだ一向に醉ふた態は見えぬわ。堀で名うての叶家の一葉が、これしきの酒に醉ふたとあつては、堀育つた名折れではないか？さアもう一つ行かう！」

「いえ、本、本當にたくさんでござんすよ。若衆さん！」と、艫の船頭へ「お前さん、いゝ加減に氣を利かして、お船番なんか、御免を頂いたらどう？」

「いやならぬ！今夜は船の上で、誰はばかる者もない。四人がかりで一晩中、いつぞやの仇討ちに攻めぬいてくれるわ」

「それは御卑怯と申すもの。歴々とした殿方四人で、纖弱い女一人を酒で殺すのでござんすか？そして私をその先、どうなさるお考へでござんす？」

「知れたこと！拙者たちで燒いて喰はうと、煮て喰はふと、思ふ儘ぢやよ」

「ホヽヽヽ」と、一葉は普段の內氣に似ないで、蓮ツ葉な嬌聲を揚げ「さう云ふ惡い御意見で、かうして救ひのない海の上へ、私を誘ひなされたからは、私も心を決めました。堀の一葉が醉ひつぶれるか？殿方四人が酒に倒れるか？あれ、あのお月さんと艫の船頭さんに見て貰ひませう！」

「面白いことを吐したな」と、侍たちは口と裏腹な、妙な合點を眼で突して「さすがは堀の一葉。物怯ぢせぬ大膽さ、度胸の程は見上げたものぢや」

「酒合戰か？月見には持つてこいの景物ぢや。では拙者から先づ一杯！」

紙尾と呼ぶ氣取つた侍が、盃をついと、前へ突き出すのを押へ

「ねえ殿さま！どうせかうして肚を揃へ、頂くからには、小さい盃なんかでは面倒臭い。その盃洗でたつぷりと頂戴したうござんす。まア何ですねえ。殿方が下されるお盃へ、お口も濕さないで下さるんですか？それはあんまり情ない なされかた！さア殿さま！あなたがぐつと乾てから、頂かして下さいませ！」

窮鼠が反つて猫を咬むと云ふが一葉の醉ひが廻るにつれ、まるで性質が一變して、聊かたじろぐ四人の侍を相手に臆せないで、盃洗で浴びるやうに酒を飲み始めた。

やなぎ會溫習會

初日見たまゝ、聽いたまゝ

藤間勘奈津名披露目の北村席やなぎ會溫習會は十日初日で大連劇場に華々しく素晴らしい人氣のうちに蓋をあけ初日早々大入滿員の盛況を呈し、幕間に藤間勘奈津は舞臺から後見の藤間勘廣と共に村岡樂童氏より挨拶するところがあつたが、實に今日の成果は藝道に撓まず精進する勘奈津の意氣と熱の所産であり、北村席連中の努力のいたすところである、さて初日の演し物とその出來榮に就いてお世辭のないところ、聽いたまゝ、見たまゝを――

◇

初日の幕は目出度く「三番叟」にあいたが、立方は翁の笑奴、千歲の民枝、百々勇の三番叟で衣裳は新調して贅澤に頷のつくりも上出來、唄はタテの歌榮がピカ一の感深く、三味は師匠がタテを彈き乍ら途中で一寸トチッタのが耳に觸つたが、大體の調子がもう一息であれでは立方が同情されやう。これが暗轉で「祇園小唄」の圓山の賑やかな舞臺となり、若手の美しいところ八人の立方が振袖姿で現はれるが、ダラリの帶に一工夫して欲しい。振付、演出、舞臺裝置ともいゝが、惜しいことに唄が聲量足らず伴奏も淋しい。斯うした演物には最後の演出効果を充分研究してもらひたい。しかしその晝映のプロローグ的な華やかな舞臺は興行價値滿點である。

◇

番外に民謡舞踊「オリヤセ節」があつて兒童舞踊「傘舞臺」は高チヤンに獨りに食はれた態で、勘奈津師匠が黑バックに疑一つの舞臺で新舞踊「唐人お吉」を見せる。唄もおゑみなどが加つて合唱の形式になつたが、「祇園小唄」も當然さうゆくべきである、照明をもつと立體的にしたら更に印象的な舞踊になつたらうにと思はれる。「鷺の夢」は笑奴とてまりが支那服でコミック風な新舞踊。ところで伴奏のピアノと三味の調子を合はさずに幕を開けたなぞ初日らしい餘興が加つた。

◇

素囃子「秋の色種」は勘奈津師匠が唄の名取松永和奈津として演し物、三味は六寒三郎師匠に西山東之助の上調子、こゝでも田中傳兵衛師匠の笛と三味が調子をちがへたので、傳兵衛師匠は思はぬ大骨折だつた。しかしあれだけの熱と張りのある緊張した舞臺を見せてこそ觀衆は滿足するのだ。清元「落人」は地方は美笑會が引受けた形で立方は歌作の勘平にたかるのおかる、セリフの「そんなら聞屆けて下さんすか嬉しぞへ」から「山の端の東が白む」へ飛んだのは伴內を買つて出る妓がなかつた爲めだらう。こゝにも長唄の北村が清元を演じた大きな努力の一つがある。

◇

長唄舞踊劇「聚樂郎」は華麗な舞臺で立方三人がせり上つて大向ふを喜ばせ眼の覺めるやうな綺麗なところをとる。これからは春のあしべ師の物で次の舞踊劇「三條大橋」へ手際の鮮やかな居所返しの舞臺を見せて吳れたのは嬉しい。地方は俄然北村のエキスパートを網羅し、唄はおゑみ、靜榮が光つて舞臺晴れのする堂々たる聲量が心强い。三味は六寒三郎師匠に歌作、宇女奴、立方は勘奈津師匠の彥九郎に笑奴と百々勇の幕吏を配した北村の名トリオ、惡からう筈がなく當夜の壓卷、殊に師匠自慢の彥九郎セリフは斷然その所作と共にイタについて寸分の隙もなく觀衆を唸らした、笑奴と百々勇の立廻りも立派な殺陣を構成して立派に洗練されたものだつた、伴奏なしの立廻りだからもつと照明に意を注いだならば更にアナが見えずに舞臺効果を高めるだらう。光駒の大原女はこの妓のお得意の適り役で大喝采。

◇

長唄舞踊劇「吉野山」は民枝の辨の內侍に宇女丸の楠正行、この若い人達をあれまでにした師匠の指導力は物凄いものがある、新舞踊「都踊」は本社の廣告展餘興に試演されたもので、三味の外に村岡樂童氏のピアノ、福永社中の箏、草崎圭山氏の尺八で伴奏も新日本樂の形式によつた尖端的な演し物である。「夏の雲」は海水着が身につく人達をえらんだところに師匠のアタマの良さがひらめいてゐる、高チヤンの「蛸つき」ほ折紙附の名物。

◇

最後の「奴道成寺」は勘奈津師匠が狂言師で藤間の踊りをフンダンに見せて名取の貫祿を思ふまゝ發揮してゐる、舞臺は四十餘名の賑やかな總出演である、踊りのツナギに評判の野球を見せるのでこれは北村の創案でない。

◇

以上四時間餘に亘り最後の「奴道成寺」以外は殆ど鬘なしで華やかな大道具の舞臺を見せ。踊りを中心として盛澤山ないろくな演し物を揃へて、而も北村席一軒でこの溫習會を開いたことは特筆に値する。【一寫眞は勘奈津の雀追ひ―見太郎】

三日目番組

北村席やなぎ會第三回溫習會第三日目の番組は左の如くである

素囃子「勸進帳」▲新鹿の子道成寺▲童舞（傘舞臺、れんれんほろり、鷺の夢、唐人お吉）▲清元「落人」▲新舞踊（雀追ひ、雀のダンス）▲長唄「吉野山」▲長唄「聚樂郎」▲長唄「三條大橋」▲藤娘▲清元「玉兎」▲童舞（兎のダンス、夏の雲、蛸つき）▲長唄「都鳥」▲長唄「多摩川」▲奴道成寺

コロムビアレコード演奏會　晝間に開催

電氣遊園のコロンビアレコード演奏會は從來每週土曜日の夜開催して來つたが今後は每日曜日及び祭日の午後二時より開催することに變更され、その第一回が十二日午後二時より催されるが、プログラムは左の如くである

▲管絃樂（エス・テュディアンティナ）▲和洋合奏（花柳情緒）▲童謠（笑のパクパッキツネの相談）▲流行唄（親の心）▲フォックストロット（ピュグルコールラッグ）▲浪花節（熊本城）▲ジャズソング（みなと行進曲）▲俗曲萬歲（なにやかや節深川節）▲映畫小唄（安來節浪花節入）▲フォックストロット（ザッツ・オーケー）▲童謠（夜店の人形）▲フォックストロット（角の木の下でギターと貴女と）▲帝キネ映畫小唄（洗濯屋と詩人貧しき者の唄）▲浪花節（明石の斬捨）▲管絃樂（サムソンとダリラより曉の花と心は開く）▲新民謠（高岡小唄）▲筑前琵琶（楠中佐）▲歌劇（マダムバタフライ）▲管絃樂（ウインゾルの女房連の序曲）▲フォックストロット（スタインソング）

千一夜物語の興味　映畫『東洋の秘密』

十三日から帝國館で上映

◆…帝國館が久しい間宣傳してゐたドイツウーファ映畫「東洋の秘密」十卷が愈々來る十三日から上映されることになり、久し振りで帝國館のスクリーンに洋畫の試寫を見る。

◆…映畫「東洋の秘密」はダグラスが「バグダッドの盜賊」を製作したやうに矢張り「アラビアンナイト」から取材して、名映畫「キーン」の監督者として知られてゐるアレキサンダー・ヴォルコフがフランスのシネ・アライアンス社でウーファと協力して作った「千一夜物語」「シエラザード」の映畫化である。

◆…ヴォルコフが狙つたところは「東洋の秘密」の題名が示すやうなアラビアン・ナイト風なオリエンタル・ファンタシーであらうし觀客の興味もこの點にある。

◆…カイロの靴直しの夢に始まる怪奇なそしてお伽話的なす空想的な、神秘的な、東洋的な、興味を盛上げて十卷の長尺物を倦怠せず見せるところはヴォルコフの監督手法よりも寧ろ物語の持味とその幻夢的な美しさである。

◆…殊に豪華優麗なセットと宮殿內のエロティシズム、怪奇な東洋の秘密といった風な味が全篇に溢れてゐて且つお伽話風なところは樂しむ映畫に出來てゐる第四、五卷の豪奢な宮殿の宴會の美しい着色もまた眼を喜ばすやうに挿入されてゐる。

◆…映畫的に優れたところはモップ・シーンの巧な取扱ひ、カメラは沙漠で隊商と盜賊との鬪爭する場面で溌剌たる動きを見せてゐるそれに最初の移動に始まる出のところもいゝ。

◆…俳優ではニコライ・コリンが主役アリに扮して終始活躍し、アルバニ孃のソベニア、ヒータセン孃のグルナー姫が共に美しく印象的である、それから一寸顏を見せるだけであるが、女奴隸はティタ・パーロー孃である。

◆…要するにこの一篇は「バグダッドの盜賊」以來のアラビアンナイト風な贅澤な東洋趣味の大作品である。【寫眞はヒータセン孃のグルナー姫】

蘇聯邦の露貨公定相場 荷主も結局承認か
浦鹽の邦人運輸業代表者來哈 北滿荷主側と秘かに協議を凝らす

【ハルピン特電十一日發】浦鹽特電＝浦鹽の露貨取引の嚴禁以來市中は一切チヨルオネツの暗黑取引につきソウエート政府では各處に密偵を派して監視せしめ、ために北滿洋行の店員は市場で中華人から賤いチヨルオネツを買ひ野菜を購入した現狀を發見され遂に

拘禁の上 千七百圓の罰金を科せられ、或は邦人漁業の船員が暗相場のチヨルオネツで品物を買つたため船員は悉く拘禁された上の意見か船長が二百四十圓の罰金を負つたが金子調達不能で一日間出港を延期した如き事件頻々として發生し邦人は生活不安に襲はれ續々引揚げ、若しこれが根本的の解決不能の際は邦人全部引揚げねばならぬ狀態である、然し日本政府は經濟問題の一部のため大局の日露國交を斷つが如き擧に出ないとソウエート側は足許を見透してゐるので最後は邦人が

引揚げね ばならぬと悲觀され、既電の如く浦鹽からは國際運輸佐藤、川崎汽船山際、大阪商船近藤氏が來哈して支店との事務打合の上荷主と今後の對策につき秘密裡に協議を重ね結局露貨の暗黑相場（現在一ルーブル八錢）の取引が出來ぬとすればソウエートの公定爲替（一ルーブル一圓三、四錢）によらねばならず、そのため船賃荷役、荷繰、手數料等は當然高くなるのでその最後的率を決定する必要あり、單位をチヨルオネツでなくルーブルに改訂するロシヤの肚を察し荷主の承認を求めた模樣で荷主側としても出廻り期を控へてゐるのでソウエート側の公定相場による改正を認めるらしい、若しこれが

不調に了 れば浦鹽における邦人は全部撤退せねばならぬがソウエートは寧ろ邦人の引揚を希望してゐる模樣である

共同仕入は消費組合を利用
輸組の單獨機關ではないと 篠崎書記長が說明

神成輸組理事長は曩に商議聯合會より實行を慫慂された共同仕入部開設案について各地輸入組合の意向を照會中のところ、いづれも該案を三十萬圓の資金を以て共同仕入機關を新設するものと解釋し、趣旨は結構なるも實行困難なりと回答してきたので十日大連商議を訪問してその旨傳へ、かつ從來共同仕入の具體方法を明示されてゐないので併せて商議側の意向を訊し懇談するところがあつた然るに商議側は右仕入部開設の趣旨は決して大業のものでなく、單に消費組合より仕入れる道を開くことを主眼とする旨答へたので、神成氏は輸組理事會に諮り決定の上、商議聯合會に回答する旨述べた、かくて神成氏の意見を叩けば左の如く語るので、多分輸入組合が消費組合より共同仕入をする道が開かれるものと觀測されてゐる

消費組合に願ふ肚　神成理事長談

我々は商議案の趣旨とするところは別途に經費を計上して新に共同仕入機關を輸組に設置するものと解したので種々考慮の結果、應じ難き旨回答した、然るに商議案の本旨は左樣のものでなく消費組合より共同仕入の道を開かんとするものであることが判明した、そうであればそれは一部組合で現に行ひをり、實行も不可能のことではない、そこで私の意見としては近く理事會を開き、全滿組合に共通する共同仕入取扱內規を定め、各地組合別に注文を纏めて單獨に共同仕入の斡旋を爲すことが出來るやう、消費組合にお願ひしたいと考へてゐる、從つてこれがために組合內に特に機關を作る必要はないのである

不可能な案でない　篠崎書記長談

昨日神成理事長が訪問され、商議案は實行不可能とか、時期尙早とかいふ理由で採用出來兼ぬる旨傳へられたが、その際懇談したところによれば案の書方が惡かつたのにも因るが內容を全く誤解してゐられたやうだ、案の趣旨は決して大業なものでなく、實は消費組合の開放と出來るだけの利用といふ點にあり、ただそれだけでは範圍が餘りに局限されるので內地その他より仕入れる方が有利な場合もあることを想像して書列べておいたに過ぎぬ、されば決して實行不可能なものでなく、既に大連、奉天などでは實行しており、何等新味を帶びたものでなく、また消費組合側でも一層積極的に便宜を圖らうといはれてゐる位である、從つて卸商の反對といふものも起る筈がないと思ふ、よつて輸組と消組が相提携して互讓的にすゝめば相當の業績を擧げ得るものと信ずる、また之より出發して仕入機關問題の理想案に到達するに至るであらう

普蘭店に開く 產業品評會迫る
十七、八、九の三日間 會期中は餘興も催す

第二回產業品評會は既報の如く來る十七、八、九の三日間普蘭店公學堂に於て開催されるが會期切迫とゝもに普蘭店民政支署では目下署員總動員を爲し各種參考品並に統計等の作製やら出品物勸誘等の事務に忙殺されてゐる、十日までに各出品物の受付總數は四千六百七十點に及んだ、出品種目は九部に分れて第一部に穀菽類、麻類及其の加工品、第二部に蔬菜類、第三部に棉花（立毛）第四部に果實類第五部に繭及其の加工品、三房、第六部に家畜及家禽、第七部に造林及苗圃、第八部に水產物及其の加工品、第九部に參考品として農具や漁具等で參考品の主なるものは

關東廳農事試驗場より果樹、蔬菜、棉花、家畜類、農具農用藥品各種、同水產試驗場より水產加工品、罐詰類、トロール網模型、手繰網模型、同蠶業試驗場よりは蠶種、繭加工品、眞綿、桑樹見本、熊岳城農事試驗場より果實、水稻養蠶各種標本、滿鐵會社販賣品より鞍山及撫順の中性硫酸アムモニヤ、大連の島羽其他商店、會社より多數の出品がある

品評會長には普蘭店民政支署長池田公雄氏同副會長に同署總務課長裏紳止雄氏審查部長としては關東廳技師磯田信之助氏にして、第一部長の審查部長は中富貞夫氏、第二部長篠有邦氏、第三部長中富貞夫氏、第四部長篠有邦氏、第五部長篠有氏、第六部長倉賀野氏、第七部長磯田信之助氏、第八部長姉帶定助氏等が之に當る筈である更に又會期中餘興として映畫會支那芝居を催し煙火を打揚げ景氣を添へる筈である、因に褒賞授與式を十九日に擧行し會期中各出品者に對しては特に滿鐵會社は五割引の便を計ると

九月中の特產市況（下）
豆信調查

九月中に於ける特產市況は左の如くである

豆粕 月初に於て九限二、五〇〇、十一限二、三三〇と月中の高値出したりしが何分深刻なる財界の不況と大豆の下落に人氣更に引立たず而して本品は一般農產物の下落に對比し尙割高なりしとの見解多く尙一段の下値を豫測する向あり而して今や秋肥需要季に直面して果然米價は慘落するなど農村恐慌を惹起せる折柄とて依然夏枯閑散時を脫するを得ず亞いで下旬に入りしが原料大豆は先安人氣益々濃厚に推移し內他斯界亦他肥の暴落に下落の一途を示せるより當地相場も追從したるも依然高張にて一向邦商の買氣喚起せず一方油房は採算不引合に殆んど操業休止狀態に陷り埠頭在荷僅かに二萬枚に過ぎざりしも人氣沈衰の折柄とて銀の下向等一向影響なく僅かに一、二の兩限に對し南支筋の値頃買漸次旺盛なりしが邦商の賣込に先安氣分漲りて十一限二、一一〇、一限二、〇五〇と月中の安値を以て越月せり而して其出來高八〇九千枚にして前年に比し四一七千枚の減少を示せり、出來高並に最高最低値は左の如くである　銀建

單位—出來高は千枚、値段は厘

限月	出來高	最高	最低
九月中限	九五	二、三〇〇	二、二四五
十月中限	三	二、二〇〇	二、一九〇
十一月中限	九七	二、三三〇	二、一一〇
十二月中限	九三	二、三一〇	二、一一〇
一月中限	九七	二、一一〇	二、〇八〇
二月中限	四三〇	二、一六五	二、〇八〇
合計	八〇九千枚		

豆油 月初に於て九限二、一五〇、十限二、二四〇、十一限二、一三〇と月中の高値見たるも歐洲向け輸出極度の不振と原料大豆の漸落等に低落の餘儀なきに至り而して市況は弗々ながらも南支筋の買ものありしが邦商の見送に一向活況を呈せず亞いで下旬に至るや大豆の下足に愈々不勢を示したるに加へて尙邦商の賣人氣等より氣配減切り軟化し十限一、八四〇、十一限一、八一五、一限一、七七〇と月中の安値を出したりしが其後現物高に伴はれ小堅く越月せり而して其出來高二、二四〇百函にして前年に比し四、六四〇百函減少せり、出來高並に最高、最低値は左の如し（銀建）

單位—出來高は百函、値段は錢

限月	出來高	最高	最低
九月中限	三四〇	二一、三〇	一九、七〇
十月中限	四四五	二一、四〇	一八、四〇
十一月中限	五六五	二一、三〇	一八、四〇
十二月中限	四五五	二〇、八〇	一八、一五
一月中限	三三〇	二〇、二〇	一七、七〇
二月中限	一七五	一八、四〇	一七、六〇
合計	二、二四〇百函		

今年度の入超 一億三四千萬圓
貿易業者の觀測

【東京十一日發電通】十月上旬の對外貿易は引續き萎縮を示し出超も一千百三十餘萬圓と前年同期の半額に過ぎず、今日まで前年より改善の跡を示してゐた一月以降の入超累計額は遂に前年より八百萬一千圓を超過し一億二千九百十餘萬圓となつた、蓋し今日まで貿易尻が昨年より好調を示したのは

一、本年貿易輸出入とも著しく萎縮し入超額も少くなつた事

一、下半期に棉花輸入が激減せるに反し生糸は相當上伸び毎旬一千數百萬圓の輸出を續けた事

一、昨年の貿易が上半期は本年より六千萬圓の入超增を示したが下半期に入り金解禁見越から延いて二千百四十萬圓の巨額の出超を見據る變調であつた

と云ふ理由に基くもので年末接近に連れ前年より貿易尻惡化するは必然で、況んや棉花の輸入激增の勢ひは今後繼續の勢ひにあり貿易尻は益々惡化すべきは明かである、總じて貿易業者の觀測に依れば本年は入超轉換期は例年より早かるべく結局本年入超は一億三四千萬圓に上るであらうと

鮮銀利下げ
一厘方、本日より

【京城十一日發電】日銀の利子に伴ひ朝鮮銀行も各一厘方利下げすることに決定し本十一日より實施した內容左の如し

一、商業手形割引步合日步一錢七厘（一厘引下げ）

二、國債を擔保とする貸付利子及び同手形割引步合、日步一錢八厘（各一厘下げ）

三、國債以外のものを擔保とする貸付及び手形割引步合を日步一錢九厘（一厘引き下げ）

四、當座貸越し及びコレスポンデンス貸付利率二錢一厘（各一厘引き下げ）

滿洲の燐寸（六）
瑞典系の廉賣と混亂

◇

新東三省聯合會の組織を機會に國際マッチの政策はいよいよ露骨を加へて來た、全滿洲總代表ゼー・エー・ブラウン氏は全滿同業者と競爭すべく、遂に無二吉林マッチ取締役佐藤精一氏に對し廉價政策の强制をして止まない、其間佐藤氏等は或は書面を以て又は人を派し、之れが圓滿解決を希望し、極力奔走するところあつたが何等の効も奏せず、結局スエーデン系神戶側大株主の政策が吉林、日滿兩社において實行されねばならぬことになつた、しかし兩社の取締役等は飽くまで實行せんとならば株主總會の決議に依るべきを主張したので遂に昭和四年二月廿五日吉林燐寸會社において臨時株主總會が開催されるに至つた

◇

ところが總會席上緊急動議あり神戶側大株主を代表して久禰田孫兵衞氏は左の方針を實行する決心あるものを後任取締役に推薦すると述べた、それは

一、今後吉林燐寸會社の製品販賣に關しては神戶側株主の有する廉價政策を實行すること

二、新東三省聯合會に入會又は公私共に關係せざること

三、右何れに違反したる場合と雖もその違反したるものは金二萬圓也違約金を支拂ふべきことを公約すること

かくの如き公約は營利會社として又日支の感情上よりするも面白からぬところであると同社の佐藤、四戶氏等の猛烈なる反對あつたが結局過半數の株式表決によつて神戶側の勝利に期し、佐藤、四戶兩氏は主義上よりしても辭職のやむなきに至つたものである

◇

新東三省聯合會は昭和四年二月組織され同二月には販賣の協定が行はれた、當時吉林マッチの製品は一箱六圓三十錢見當であつたのであるが東三省聯合會の聯合販賣成立によつて吉林燐寸會社はスエーデン系神戶株主の意志に基き販價を下げ、同月十五日には五圓五十錢に、二十五日には五圓四十錢に價格を引下げたのみならず七月十五日には特別大賣出を始むるに至つた、大賣出には一等三百圓、二等五十圓、三等五圓の彩票を附し手取り四圓八十錢と云ふ未曾有の廉價を以て宣傳販賣せるのみならず、同社の製品購入契約書には「藻價包價」と書入れ、即ち他社が值下せる場合はその値段で製品を渡すとの契約で販賣なしたから長春、ハルビンにて合計一萬二千箱程を賣ることが出來た

◇

茲において東三省聯合會側は大いに驚き種々協議したが名案なく四圓八十錢にて賣る時は原價を割らねばならず、更に且又長春、ハルビン方面の需要は滿喫の狀態となつてしまつた、併しながら吉林マッチの販賣人との契約には藻價包價なる語があるから若し聯合會側で值下を發表する時は之に追隨せねばならず聯合會側において製品が殆ど賣れずとも市價に吉林マッチが追隨せねばならぬことになり、聯合會側の值下發表は吉林マッチに甚大なる損失を與へるが果して藻價包價の契約が實行されるか否かの好試驗ともなると云ふので七月二十七日には聯合會側は四圓八十錢に值下げ發表し、翌二十八日には四圓に、三十日には三圓まで值下發表をした、マッチの原價を五圓とする時には一箱について二圓の損失をなす譯であるが長春、哈爾濱方面は吉林マッチの製品によつて滿喫してゐるから餘り買手はないが、吉林マッチは一箱について二圓、契約を一萬二千箱なしたから合計二萬四千圓程の損失をせねばならぬことになつた、聯合會側の值下發表を知つた吉林マッチ側は思はぬ不意打のこととて販賣人の要求に應ずることを躊躇した、そこで販賣人の中には憤慨して法廷でこれを爭ふ者などもありて、やうやく吉林マッチの信用が市場において疑はるゝに至つた【寫眞は長春寶山燐寸工場】

森林鐵道を通りて（3）
木材の都吉林
伐るに伐られぬ大森林のなやみ

◇松花江可航の季節には船や筏により、河上凍結の冬は馬車や橇により主として上流は官街から下流は伯都訥に亘つてこれ等物資の集散が行はれるのであるが、わけても筏による木材の流出は吉林の奧深い背後地を控へてゐることゝて此處に集る鐵筏の江面を蔽ふ樣は見ても實に壯觀なものがある、かくの如く吉林は松花江の水運を利して榮えて來たが、今や吉長、吉敦近くは吉海、瀋海の諸鐵道の完成によつて交通中心として重要を加へ、從つて商圈の擴張とともにますますその繁榮を加へねばならぬ筈のものである。

◇吉敦線に運び出し得る木材の豫想石數だけでも

針葉樹	一億一千六百萬石
濶葉樹	一億一千九百萬石
計	二億三千五百萬石

とみられてゐるからこれ等が自由に伐り出されることになると吉林も「木材の都」としてますます有望な將來が開拓されねばならぬ運命にある、しかしこれを運び出すまでにはいろいろの障礙が未だ橫たはつてゐる。

◇現在の林場は相當遠距離にあり林區支線と云ふたものを敷設せねば充分に木材運搬の利便を得ぬこともその一つである、次に鐵道運賃と稅金の高率なこともこの樹林の發達を阻む原因をつくつてゐる、木稅は吉林省當局の第一の收入であつて、その高率なる木稅を他と比較すると

安東材	九・一%
北滿材	一八乃至二一%
吉林材	三〇乃至三一・五%

の割合になつてゐる。

◇更に最も打擊的なのは官銀號の林場封鎖である、莫大な資本と武力を兼有する橫暴極まりなきこの資本國は、北滿大豆を買占め滿洲の農民を苦めると同じ筆法で、この林場を一手に支配せんとしてゐる、林場封鎖の理由は林場整理の爲めと稱してゐるが、その利益を壟斷せんとする前提たることは言ふまでもないことである、林場整理も有利な地點は皆自己の所有に移すなど勝手氣まゝな整理が行はれてゐる、かくて新材は伐採されず、木材界の不況はますます深刻である、車窓より眺めても如何に樹齡を越えた立枯木の多きことか、この豐富なる森林も「切るに切られぬ惆み」を藏してゐる【寫眞は吉敦沿線の大森林】

倫敦銀塊週報

△サミユル・モンタギュー商會の週報に依れば上海爲替は初め見直し步調を示し相場は支那から需要增加に連れて騰貴した、其後市況は稍々浮動したが概して引締み步調を示した、之は支那筋、大陸筋、アメリカ筋が賣つた爲めである。尤も大陸及びアメリカ筋は同時に買ひ付けも行つた、インドバザー筋も本國へ積出す目的で買ひ付け、又空賣りの買ひ埋めも行つた。而して目下の新市場はどういう足取りを示すか瞭りしない。

△モーカツタ・ゴールドスミット商會の週報に依ればインドバザー筋は幾週間ぶりで本當の買ひ氣を見せ、ボンベイ向直積品及び先物に對し買ひ注文をよこした、安値には支那の買ひ氣があるが支那は同時に賣りもして居る。大陸筋は可成り多量の買ひ埋めを出したが之は大部分先物賣りで相殺されてゐる。目先き著しい昂騰はないにしても、相場が上げ足を辿る事は豫想し得る、蓋し底意は强硬であり、殊にインドが買ひ氣ざしてゐる事は堅實なる兆候と見られるからである。（備考）今週のロンドン銀塊相場は左の通り

	現物	先物
三日	一六片八分五	一六片八分五
四日	一六片半	一六片半
六日	一六片一六分七	一六片一六分七
七日	一六片一六分九	一六片一六分九
八日	一六片半	一六片半
九日	一六片八分五	一六片八分五

泊り心地のよい 南滿ホテル
調度什器は旅館に惜しいものばかり

南滿ホテル（電話長五八一六番）は大連の旅館中、最も名を知られてゐるホテルであつて、電車道から東鐵町の大通りに這入ると、最初の四角の左側五四番地に三階建の洋館並に隣接の日本家屋が堂々と聳えてゐるのですぐ分る、大連驛や埠頭や大連の中心地に出る便利が至つてよい上に、極めて閑靜なのが喜ばれてゐる。

◇洋館の方は二十數箇の客間があり、その外觀が壯麗であるより以上に室內は淸潔にして善美を誇つてゐる、殊に申分なく取揃へられた什器調度品類が非常に凝つた高價なものばかりである點においては大連の一等旅館中肩を並べ得るものがないとさへいはれてゐる、それは經營主の母堂の凝つた好みから自然そうなつたのであつて旅館の調度品としては全く惜しい位であるところで同ホテルでは今後、大小の宴會、會席方面にも大いに進出する方針だといふから、これらの優れた調度品は、元の晚翠軒であつた隣接別館にある約四十疊數の大宴會場と相俟つて、大いに効果を現はし光彩を放つだらう。

◇經營主は阿部日雄氏であるが、その經營方針は居心地よい部屋、便利な設備、趣味ある調度品、上等にして淸潔な夜具、實質的なうまい料理などを吟味してお客の滿足を買ふことを旨とすると共に、誠實と親切を第一とするサービスに苦心してゐる、その一例を擧ぐれば同ホテルでは絹物の夜具しか使用しないので團體客に對しても五十人分の絹夜具の用意があり、客膳の如きも一人前四十圓位のを五十人前揃へてゐるさうだ、そして昨今のやうに世の中が不景氣な折には一入時代の要求に適ふやう實質的に勉强することを日夜心掛けてゐる。

◇されば多年の苦心と努力が報いられて今日では各方面に廣く根强い得意先を有つて居り、職人や軍隊方面の信用は特に厚いさうだ、それはいふまでもなく上に述べたやうな奉仕が生んだ結果であるが、一面において同ホテルでは旅館は家庭の延長でなければならぬといふ信念のもとに經營してゐるため氣がおけず、至つて泊り心地がよいのも與つて力があるといはれてゐる【寫眞は南滿ホテルの洋館】

黃塵

◇…全滿商議提案の消費組合問題の對策たる仕入機關の設置は商議側の說明によれば輸入組合側の利用をしやうといふ機關のここだそうな。

◇…仕入れについて消費組合の開放利用といふことは既に大連、奉天等においても行はれてゐることで何等新味を帶びた案ではない。

◇…それならば別に初めから消費組合對策など銘を打たないで唯一般小賣商は輸入組合と相提携して從來の如く對抗態度に

市況（十一日）

特產 仕手關係で大豆强調

大豆先物は專ら仕手關係にて浮動商狀を示し現豆及び現粕に品薄の折柄とて一段高にて大引

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	七〇〇〇	七〇一〇	六九六〇	六九七〇
十一月末	六九八〇	七〇〇〇	六九八〇	六九九〇
十二月末	六九六〇	六九八〇	六九六〇	六九八〇
一月末	六九三〇	六九五〇	六九二〇	六九五〇
二月末	六九二〇	六九一〇	六九〇〇	六九一〇

出來高 三百七十一車

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇
十一月限	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇
十二月限	—	—	—	—
一月限	二〇九五	二〇九五	二〇九〇	二〇九五
二月限	二一一〇	二一一〇	二一一〇	二一一〇

出來高 一萬五千枚

▲豆油（强調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	二〇一〇	二〇一〇	二〇一〇	二〇一〇
十一月限	一九三〇	一九三〇	一九三〇	一九三〇
十二月限	一八四〇	一八四〇	一八四〇	一八四〇

出來高 三千箱

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	四一〇〇	四一〇〇	四一〇〇	四一〇〇
十一月末	四一一〇	四一〇〇	四一〇〇	四一〇〇
十二月末	四〇九〇	四一〇〇	四〇九〇	四〇八〇
一月末	四〇九〇	四一〇〇	四〇八〇	四〇八〇
二月末	四〇八〇	四一〇〇	四〇八〇	四〇八〇

出來高 三十一車　▲包米出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	七六〇〇	七五〇〇
出來高	二十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二四五〇	二四九〇
出來高	一萬枚	
豆油	二〇五〇	二〇五〇
出來高	五百箱	
高粱	四一〇〇	四一〇〇
出來高	三車	
包米	出來不申	

定期喰合高（九日帳入）（前日對比較）

大豆	三七二五車	△三三車
高粱	一二一三車	△二三車
豆粕	八一五千枚	四五千枚
豆油	一三一〇百箱	△一五百箱

特產

休日明け今朝の市場は差したる新規材料も突發せず依然として平調なる場面に推移した▲現物大豆は品薄を唯一の强材料として今朝も亦昂騰を呈した▲先物大豆は現物高を眺め又仕手關係も手傳ひて堅かり商狀で大引▲現物豆粕も別に取り立てる程の買氣があつた譯ではないが品薄で强調▲今朝の大豆出廻りは二十六車で昨年本日の百七十八車に比すと百五十二車の激減▲又埠頭在荷は百四十三車で昨年本日に比すと四百四十五車の激減を示してゐる▲かくの如く品薄を眺めてゐるが差したる需要も盛んだしさうにもないから大勢は弱氣配ではなからうか▲油房は極度の不振に陷つてゐるが今年中には回復しさうにもない狀態である

錢鈔 銀塊高乍ら鈔票保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十六片十六分の十一と（十六分の三高）先物は十六片十六分の十一と（十六分の三高）紐育は三十六仙八分の一と（八分の三高）孟買は四十七留比十六分の九と（十六分の一高）滙灃は六十九兩三〇、滙申は七十一兩八七五、大洋は百圓六十錢、日米は四十九弗八分の五と（十六分の一高）米日は四十九弗八分の五と（同事）米英は八十五仙三十二分の二十九と（三十二分の一安）米支は三十九弗二分の一と（十六分の三高）上海標金は五百六十四兩二と寄り六十五兩二と止め當市の銀價は保合を呈した

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	五七五	五七五	五七五	五七五
遠期	五七四	五七三	五七〇	五七三

出來高（期近 二百九十四萬圓 遠期 三百二十七萬圓）

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五七五	一一〇一〇	一九六八
十時	五七三	一〇九九〇	一九六五
十一時	五七〇	一〇九九〇	一九六五
十二時	五七〇	一〇九八〇	一九三〇

出來高（銀對金八萬七千五百圓 銀對洋二萬三千圓）

錢鈔

海外材料としての倫敦銀塊は晉物薄で十六分の三高を報じ紐育、孟買も亦上伸を呈した▲爲替は日米十六分の一高、米日同事を報じ又上海標金は五百六十四兩二と寄つたがアト小戾しを見せ六十五兩二と止め▲地場鈔票は支那時局好轉及びロンドン高を眺め堅かり商狀に推移したがアト標金の强氣配を眺めジリ安を辿り保合で打ち止めた▲支那の時局和平好轉により銀も好調に轉じはせぬかと一部では觀測されてゐるが世界財界不振の極にあるから輸出は思ふ樣に行かないから銀も此邊保合ではなからうか▲しかし當地市場は安東市場に相當影響されてゐるから安東が急變すれば當地も亦變化ある場面を展出せぬとも限らない

商品 前場 麻袋變らず 綿糸續騰

麻袋　產地青八分の五錢四分の一安と低落を傳へたるも地場は銀票の强保合で氣配變らず閑散裡に

綿糸

今朝米棉情報は南部筋の堅ぎ賣りにより初め下落したが其後株式市場の見直しと實需の買ひ付けにより反騰したとあり結局十ポイント高を示した▲大阪三品は米棉高銀塊高に力を得て騰勢を續け寄期近は一圓五六十錢高を示して百四十圓臺に乘せさなり先物も騰りであつた▲引際は期近呆け氣味となり先物小戾りを示し地場はマバラ筋の利喰ありて相當商內が彈んだが新規買もあり買物薄の一面を呈した▲大阪三品は吉村を初め場違ひ筋が遁賣に來るのでますます高さ品薄をめがけて近物の締めて綿糸來可なり賣込んだ形勢があるので地場筋の買向ひさなり殊に現物が騰するか問題だ

株式

內地主力株は依然として灰汁拔けしない▲時々論ぜられてゐた日銀利下げが突如として行はれ、一時株界も好感したが、强氣に買氣なく、騰氣は却て材料出切りの賣場と見てさうな有樣である▲もちろん市中金利は需要がないため日銀利子より餘程下廻つてゐるので利下げが直に響くやうに考へるのは聊か早計であらう▲然し世界的低金利時代の折柄、而も金融緩慢にして年末を控へてゐる際、値下げするのは當然で寧ろおそい感さへあつた▲そしてこれが年末事業金融を相當緩和することは相當期待されるところで、從つて證券界に及ぼす影響も聊からうと一般にみられてゐる

株式 內地株變らず 當市强保合

今朝北濱寄は大株四十錢高、鐘紡十錢安、大新、鐘新同事、東京短期は新東二十錢高、鐘新六十錢高と不透明な商狀を報じたので當市も定期新豆、錢鈔同事、新東四十錢高、現物三十錢高にて閑散であつた、出來高定期四十枚、現物九十枚

綿糸　米棉三十錢高印棉二十錢安銀塊十六分の一高大阪三品期近一圓五六十錢先五七十錢高に寄付きたるも引けは期近一圓方安と呆けた先物は小戾りである當市はマバラ筋の手仕舞玉相當あり買物薄であつた

銘柄	約定期	値段	個數
福助	一月限	一二七、一	六〇
同	二月限	一二四、九	一〇〇
同	三月限	一二二、八	三〇〇

出來高四百二十梱

株式出來高（十一日）

定期	七〇枚
現物	二七〇枚
合計	三四〇枚

後場（保合）

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
新豆	—	—	九〇一
錢鈔	—	—	一四六
新東	—	—	八〇八
滿鐵新	—	—	—

◇現物（甲部）／（乙部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	六〇	三〇〇	一六〇	四
商信	—	—	—	—
新豆	九〇	一〇〇	一〇〇	四
錢鈔	二五〇	—	—	三
氷新	—	—	—	—
新東	八〇五	一〇	一〇	—

滿鐵株（强調）

▲東短前場 滿鐵新株 二十七圓十錢
▲大阪現物 滿鐵舊株 五十四圓二十錢

市場電報（十一日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一六片十六分十一
同 先物	一六片十六分十一
紐育銀塊	三六仙八分一
孟買銀塊	四七留比八分一
スチール	一九弗八分三
アナコンダ	三六弗〇分〇
英米爲替	四弗八五仙卅二分九
米日爲替	四九弗八分五
米支爲替	三九弗二分一

棉花

◎米棉

現物	一〇仙三〇
十月	一〇仙一五
十二月	一〇仙五〇
一月	一〇仙五〇
三月	一〇仙七〇
五月	一〇仙八八
七月	一一仙〇五

◎印棉

ベンゴール	一三五留比
ヴローチ	一九三留比
オムラ	一六三留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	五五四〇	五五二〇
大新	四一六〇	四一六〇
鐘紡	一三三五〇	一三三五〇
鐘新	五四九〇	五四七〇
日糖	二五〇〇	—
郵船	四四九〇	—
東新	八七五〇	八七五〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	九九一〇	九九〇〇
東新	八七五〇	八七五〇
五品（當・中・先）	—	—
豆新（當・中・先）	—	—

安東株式

	東新	五品
同（短期）		
寄値	八八〇	—
引値	八七五〇	—
高値	八八一〇	—
安値	八七五〇	—

銘柄	前場寄	前場引
取（當）	九六〇	九六〇
安（先）	九七〇	九七〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	一八〇五	一九三五
中限	一六六一	一六六九
先限	一六八一	一五九九

東京期米

	前場寄	前場引
當限	一七七三	一七九〇
中限	一六六〇	一六六六
先限	一五九一	一六六四

仁川期米

大阪綿糸

	前場寄	前場引
當限	一一五五	—
中限	一三一〇	—
先限	—	—

大阪棉花

限月	前場寄	前場引
十月	四〇〇〇	一三八〇
十一月	一三九〇〇	一三六三〇
十二月	一三三〇〇	一三五〇〇
一月	一三八五〇	一三八〇〇
二月	一三六八〇	一三二八〇
三月	一三三〇〇	一三二四〇
四月	一三一〇〇	一三一三〇

神戶豆粕

	寄付	大引
當限	二三〇〇	二三一〇
先限	二二一五	二二一五

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十月	六五〇	六五〇
十一月	六五〇	六六〇
十二月	六四〇	六四〇
一月	六三〇	六三〇
二月	六五〇	六六〇
三月	六五〇	六六〇

限月	前場一節
十月	二六〇〇
十一月	二五四〇
十二月	二五四〇
一月	—

印度麻袋

綿筋直積	二八留比二分一
靑筋直積	三二留比十六分一
爲替相場	一三七留比四分三

手形交換（十一日）

金	一二六枚	九六一、五三二圓
銀	九九枚	三一九、八六四圓

上海爲替情報

【上海十一日發電】銀塊高なるも日米高に志豐永、恒興、源興永買ひ福昌、大連筋、大德生賣る、入手筋の賣買區々、ボンドは稍强く十二月もの七片二分の一賣手買手正金銀行、マカリ銀行、滙豐銀行賣りオランダ銀行、安達銀行、大連筋買ふ、乘換節は今のところ五兩以上ある見込みにて引續き南方の手仕舞多し今週の在銀は百三十七萬三千圓減少し、百一萬兆增加す

上海標金

寄値	五六四兩二
高値	五六五兩七
安値	五六三兩二
止値	五六五兩七

爲替相場（十一日正午）

正金（銀勘定）
日本向參着賣（銀建）　五三圓〇〇
同　十五日賣（同）　五八圓〇〇
上海向參着賣（銀建）　七一兩六〇

正金（金勘定）
倫敦向電信賣（円）　二志〇片十六分七
信用付二月賣（同）　二志〇片十六分十三
米國向電信賣（百圓）　四九弗十六分三
同　九十日拂賣（同）　五〇弗十六分一

鮮銀（金勘定）
倫敦向電信賣（円）　二志〇片廿二分十三
同　二ケ月賣（同）　二志〇片廿二分十九
紐育向電信賣（金百）　四九弗十六分七
上海向電信賣（金百）　一三五兩三分一
同　賣（銀百）　八六圓五〇
日本向電信賣（銀百）　五八圓五〇
同　十五日拂賣（同）　五八圓七〇

滿洲日報
カール・マルクス著
資本論
高畠素之譯(決定版)
マルクス資本論の完譯成り、本社が廉價版として發刊してから、既に數年を經過した。年一年と著しき社會の進展は、益々本書の眞價を大衆に認識せしめ、曾つて學界の獨占物たりしマルクス主義の知識は、今や大衆の常識となつた。彼の主著たる本書が絶えず新讀者を獲得しつゝあるのに不思議はない。茲に於て本書は譯者の要望に鑑み、斷然本書の再豫約募集を敢行した。譯文正確平易、定價至廉の此の犠牲的出版に對し、壓倒的の申込を期待します。
第二回
現代思想の根源・新社會建設の鍵!
永久に保存すべき名著!良書!紙質の選擇・印刷の鮮明・裝幀製本の堅牢瀟洒 そして、此廉價
豫約募集
全五册
特製壹圓
並製八拾錢
資本論分册目次
內容見本無代進呈(申込金不要)
發行所 東京市芝區愛宕下町 改造社
川柳漫画全集
坐談の中へ
川柳を一句交ぜて見給へ 斷然素敵な味が出る! 元祿寶暦時代より昭和の現代に至る迄、體系的に選ばれたる川柳の生粋と現代漫畫界十大家共同執筆!
漫畫執筆十大家
矢野錦浪 川上三太郎 池部鈞 池田永一治 服部亮英 細木原青起 田中比左良 前川千帆 水島爾保布 宮尾しげを 清水對岳坊 代田收一
第一回配本(第十一卷) 浮世行進曲(現代の卷)
之こそ天下一品
內容見本贈呈
〆切十月廿日
東京麹町 平凡社
宗像建築事務所
文藝春秋
二千圓懸賞募集
課題 二千字日本歴史
賞金 一等五百圓一人 二等二百圓一人 三等拾圓卅人
締切 十一月十日
五百語 米國史
文藝春秋社
ナゼ賣れる?
第二號も即日賣切 目下再版印刷中
定價35錢
所謂パトロン物語
現代未亡人氣質
女飛行家列傳
放送 政治家 學者
變つた女性列傳
尖端ガール新職業
その後のユキと藤田
競馬入門
モダン日本
時代
の尖端を行かんとするものは讀め
と共に歩まんとするものは讀め
に取殘されざらんとするものは讀め
十一月號
モダン日本
文藝春秋社
早稻田大學講義
第一号出づ
見本進呈
文學講義
東西古今の文藝を綜合的に講述し、謂ゆる文科的基礎學科を懇切に講説する本邦唯一の文科大學講義録!一般文藝の愛好者及び文檢受驗者必讀の好伴侶!
法律講義
現行法律をやさしく、分りよく、誰れが讀んでも理解し活用出來るやうに講述した法律講義。官公吏、高等試驗受驗生は勿論、商家、農家、必携の最良參考書。
政治經濟講義
本講義は早大政治科の解放講座で一般大衆に系統的適正なる政治經濟の綜合知識を普及する獨學研修機關である。既に第一號發刊、至急御申込あれ!
建築講義
建築界の尖端に立つて、指導的任務を果し得る唯一の完全な講義。技術を以て生活戰線に跳躍し、生存競爭の優者たらんとする人は來りて本講義に學べ!
電氣工學講義
現代人は電氣の知識なしには生きられない。本講義は電氣の知識と應用法を授ける本邦唯一の大講義、選試受驗者には無二の準備書、學生には絶好の參考書。
最新電氣講義
中學・女學・商業・受驗
東京・牛込 早稻田大學出版部
最新刊
滿鐵職員錄
自然科學史
詩學と詩論
國民黨と支那
朝鮮政治史
支那關係條約
國民道德概論
セックス衞生
エログロ巴里
大阪屋號書店
試驗の合格法
日蓮上人
近代素描選集
結婚魔ランドル
西國立志傳
經濟の實體
現代俳句
滿書堂書籍部
印刷 滿日社印刷所

コドモ

冬が近い　外で遊べるのも　あと僅かです

今の中にうんと活動しませう

だん〳〵冬が近づいて來ました、ストーブの廣告が、あちらこちらにはり出され、氣の早い家ではもうエントツを立てゝゐます、新らしいエントツを積んだ車が町を通るのも冬の前ぶれのやうです

この頃では、三寒四温がはつきりわかるやうになつて來ました、うらゝかな秋の日が四五日もつゞいたと思ふそのあとからは、まるで約束をして置いたやうに物すごい嵐が北の方から襲つて來ます、そして黄塵を卷き上げ砂〳〵飛ばし、木の枝をゆすつて二三日の間吹き荒れると、あとは又ケロリとして、のどかな日がめぐつて來ます

しかし、ごらんなさい、木々の梢を美しく飾つてゐた滴るやうな綠の葉は三寒が訪れるごとに色が失せて、木の葉はハラ〳〵と散つてゆきます、恐らくもうあと三週間もしたら木の葉は悉く梢からサヨナラをして土に歸つてゆくことでありませう

皆さんがたが運動場で思ひきりはね廻つて遊ぶのも、もうあと僅かです、今のうちにうんと元氣に遊んで置きなさい

滿洲の子供は内地の子供にくらべると發育は決して負けないがどうしたわけか身體が弱いさうです、何がその原因であるかくわしく研究して見ないとよくわからないが滿洲は冬が長いため外で遊ぶ日が少く、それと一緒に日の光りにあたることが少いからだらうと言はれてゐます、ですから、暖い間に出來るだけ外に出るやうにすることは一ばん大切なことだと思ひます

しかし、冬が來るからと言つて決していぢけてしまつてはいけません、冬の寒さと戰つてゆくところに滿洲つ子の元氣を見せたいものです

ウンドウクワイノ　マヘノバン

ハルミチ

「アシタ ハ ウンドウクワイダ」サウ オモフト ミイチヤン ハ ウレシクテ ウレシクテ ネムラレマセンデシタ、ミイチヤン ノ ネテヰル マクラモトニ ハ アシタ キテユク シロノ ウンドウシヤツ ヤ クロイ パンツ ヤ アカイ タスキ ガ ミイチヤン ノ 一トウシヨウ ニ ナルノヲ イノル ヤウニ ウヅクマツテヰマス、ソノ ヨコ ニハ ミイチヤン ガ アサ ネボウ ヲ シナイヤウニ メザマシドケイ ガ チクタク チクタク ト シヅカニ トキ ヲ キザンデ キマス、ミヂカイ ハリガ 九ジ ノ トコロ ト 十ジノ トコロノ アヒダ ヲ サシテ キマス ガ ミイチヤン ハ ドウシテモ ネムラレマセン 「オカアサン アシタ ミニキテ ホンタウニ クレル?」 ミイチヤン ハ トナリノ オヘヤデ オシゴト ヲ シテヰル オカアサン ニ コエヲ カケマシタ

「マア マダ ネナイノ? ハヤク ネナイト アシタ オネボウ ヲシマスヨ」

「ダツテ ネムクナインダモノ」

「ソンナコト イツテナイデ ハヤク オヤスミナサイ」

ミイチヤン ハ ジツト メヲ ツブリマシタ、スルト ウンドウクワイノ マンカンシヨク ガ チラチラ メ ニ ウツツテ キマス、ワーツト イフトキノ コエモ キコエテキマス、フト キガツクト ミイチヤンハ ウンドウフクニ ミヲ カタメテ シロイ コースノ ウヘヲ 一シヤウケンメイ ハシツテキマス、シカシ イクラ ハシツテモ マヘノ ヒトニ ドウシテモ オヒツク コトガ デキマセン、ケツシヤウテン ガ モウ スグソコデス、

「アカ カツヨウニ」

「シロ カツヤウニ」

「シツカリヨー」

オウエンノ コエ ガ ミミモト カラ ワイワイ キコエテ キマス

「モウ スコシダ」 ミイチヤン ハ サウ オモツテ 一シヤウケンメイ ハシリマシタ、スルト フシギナコトニ イママデ オモカツタ アシ ガ キユウニ カルクナツテ マヘノ ヒトヲ ドンドン オヒコシマシタ、ソシテ ムネ ヲ ウント ハツテ テープヲ スウーツト キリマシタ ミイチヤン ハ トテモ オホキナ クンシヨウ ヲ モラヒマシタ、

「カツタ……ウレシイ……ム……」

ミイチヤン ハ ウレシサウニ ホホエミナガラ スヤ〳〵ト ネムツテヰマス

「マア ネゴトヲ イツテルワ、キツト ウンドウクワイニ カツタ ユメ デモ ミテヰルノデセウ」

オカアサン ハ パチツト デントウノ スイツチ ヲ ヒネリマシタ、マンマルイ オツキサマ ガ ニコニコシナガラ オマド カラ ミイチヤンノ ネガホ ヲ ノゾキコミマシタ

懸賞童話（乙賞）　曠野の春

杉　純子

隨分長い冬でした。

其處は滿洲の或る小さな牧場で由ちやんのお家です。山は地平線の向ふにチラと長い背を見てゐるだけ、曠々とした荒野に時々思ひ出した樣な起丘が赤ちやけた肌を曝して居ります。

冬中積つては固められた雪が何時か高粱の根株に吸取られて久しい。振に土の上に立つた由ちやんの足の裏を何だかむづ痒いものが走ります。此頃一齊に剝がされた窓の目張りの新聞紙が、畑の方々に散らばつて、暖かな春の日は窓の上に流れ込んで居ります。

匂ひの中では憤が、萌え出たばかりの草のいきれに醉ふて、樣から首を出したり引つ込めたりしてゐます。

「ヤー來年が來た〳〵」由ちやんは何か餘程嬉しい事に思ひ付いたと見えて、お家を目懸けて一散に走つてゆきます。お母さんはお庭に敷いた莫蓙の上で、お父さんの外套に最後のブラッシをかけながら驚いた樣に見上げます。

「お母さん。來年が來たんだねえ。來年が」「マア、何云つてるの」

「だつてこんなに暖かいじやないの。外が暖かくなつて、來年が來たら僕學校へゆけるんでせう」。

「あゝ、その事なの、ほんにねえ」お母さんは何だか寂し顏で、ウツトリ遠くを眺めてゐます。鈴をつけた驢馬がヨロ〳〵歩いてゐます。胸に下げた赤い布が搖れる度に鈴の音がこゝ迄届いて來そうです。

「ねえ、お母さんつては、そうでせう」「あゝ、そりやそうだがね、餘り遠くてねえ」

「遠くたつていゝや」

「せめて馬車が何時もあればねえ」

「馬車などいらないや」

「只一人だからねえ」

「一人だつていゝや」

學校へさへゆけたら、何だつて「いゝや」の、由ちやんですが、今日はお母さんが餘り氣乘りがしないらしいので、少しイラ〳〵して來ました。

牛舍の方から乳をしぼる音がシユウ〳〵壁を傳つて來ます。牛の綺麗な毛並に顏を埋めて一心にお乳を絞つてゐるお父さんは、其處へ由ちやんの來たのを少しも知りません、お父さんの兩手が動く度に、膝で挾んだバケツのお乳は、見る〳〵高く白く石鹼の樣に泡立つてゆきます。

「お父さん」

「おい」チラとこちらを向いたお顏は、しかめられて居ります。時々牛の尻ッ尾でピシヤツとやられるからでせう。

「來年が來たから僕學校へ行つてもいゝんでせう」

「來年が來た?」お父さんは始めてニツコリします。

「遠いぞ」

「遠くたつていゝや」

「冬は寒いぞ」

「寒くたつていゝや」

「たつた一人だぞ」

「平氣だあい」

「ハヽヽ平氣か。ヨシ、そんならお母さんと話して見やう」

お父さんは嬉しそうです。併しお母さんと話いた時から、由ちやんは又急に悄氣て了ひました。急に目の前が眞暗くなつて、取りつく島のない心細さです。

と、その時、うつすりにじんだ由ちやんの目の中にチラと赤い影がさしました。遙か向ふの起丘の樣手から、赤いホロをつけた馬車がヒヨツコリ現れたのです。その後から又同じ格好の赤い馬車がもう一臺續いて出ました。

よく見ると、その一番前をアンペラで恰度トンネルみたいに日覆ひのした馬車が、先頭にやつて來るのです。しかもそのトンネルの中からは、色々の樂器の音が一本の細い線になつて、邊の空氣を振はして先刻から聞えて來てゐたのです。それは恰度「軍人」によく似た曲でした。由ちやんも何時かそれに調子を合はして「僕は軍人大好きよ」と歌つてゐました。

「坊っちやん。すまないが小父さん達に水を呉れない?」突然後に聲がしたので、由ちやんは吃驚して振返ります。其處には丁度今あの樂隊の中から脱けて來た樣な兵隊さんが二人、重さうな背嚢をしよつて云ひ合した樣に水筒の口をあけて立つてゐたので、由ちやんは二度吃驚しました。

「坊ちやん。是に水を下さいれ」

由ちやんはすぐにそれを取つて、お家の方へ走つてゆきます。今度出て來た時、二つの水筒には水が一パイ這入つて、それがこぼれない樣にシツカリと由ちやんの腕に抱かれて居りました。

「ヤー、有難う」兵隊さん達は餘程のどが乾いてゐたと見えて幾度もお禮を云ひ云ひすぐにそれを口へ持つてゆきました。

それから凡そ半時間も經つたでせう。由ちやんは今度はさて〳〵嬉しそうに獨りでコツクリ〳〵頷きながらお家の方へ歸つて來ます。あの樂隊は何時何處をどう行つたのかもう影も形も見えません。その代はりあの經を二人の兵隊さんが幾度もこつちを振返りながら、丘の蔭に隱れてゆきました。

一體由ちやんは、あそこであの兵隊さんに何を聞いたのでせう。その夜お父さんはさても嬉しさうにこんな事をお母さんと話してゐたのですもの

「あゝ、今日の由坊の理窟にはスツカリ參らせられたねえ。ハツヽ、それにしてもモウ學校には間がないぞ」

釣れた〳〵　大きなお魚

大手柄のローレン君

スポーツにはランニング、ラグビー、野球、水泳、槍投、高飛びなどゝその他隨分たくさんの種類がありますが、まだそれでは足りないと見えて年々新らしいスポーツが出來て來ます、この頃ではグライダーと言つてモーターのない飛行機を飛ばすことも新らしスポーツとして日本にもはやつて來ましたが、何事にもスポーツ好きのアメリカでは魚釣りがスポーツとして盛んに行はれてゐます、魚釣りといつてもそれは皆さんが運動會の競技に行つたりするやうなそんなまゝごとの競爭ではなく、海に出て大きな魚を釣る競爭なのです、そしてこの頃では大人ばかりでなく子供までも魚釣りの仲間にはいり大人に負けない氣で盛んに釣つてゐます、この寫眞はアメリカの小說家ザングレーの子供のローレングレー君が大西洋のカタリナ島附近の海で釣り上げた巨大な黒イシモチで、眞中に居るのが本年十四歳のローレン君です、何と素晴らしい獲物ではありませんか。

綴方

私のお土産

松林小學校五女　三浦　和

「お土産かれ。有難う」「お土産をくれるの——。」さすがは和ちやんだ」

店に入ると、私が金州でリンゴを買つて來たものですから、お店の人々がからかふのです。

「いやらしい、誰があげますか。常にはいぢめておいて何かもらふ時にはお世辭をいふ人人に」

といふと、皆が揃つて、

「すみません、以後氣をつけますこれからは愼みます」

と又からかふのです。

お母さんに告げると、笑ひながら

「リンゴを一つ宛あげなさい。するとからかひません」

とおつしやるのです。いやだ〳〵といふにお母さんは、お店の人にリンゴをあげました。それでも、からかはないどころか、よけいにからかふのです。その上、私を呼ぶ時には

「おみやげ君樣」

と呼ぶのです、私はこれにはへいこうしてしまひました。

あはれな人

常盤小學校三年　北地キクヱ

私はねえさんと、なには町に行きました。そしてあるいてゐると、一人のおばあさんと、男の人がみちで、なきながら人々に、おはなしをしてゐました。さつさといつてしまふものもありました。が、その中でも、お金でもやる人がありました。おばあさんは、目くらです。着物は、やぶれたのをきて手はきづをしたりふるへていたりしてゐました。

男の人のかほをみたらぞつとするやうな人です。すりむけてあつたり、目のそばにいつぱいにできものができてゐます。手には、おちやばん見たいなのを持つてゐますので、ねえさんは「かあいそうに」といつてふところからさいふをだして十錢なげてやると「ありがとうございます」と男の人は、あたまをなんべんもなんべんもさげました。

家にかへつて、おばあさんにお話をすると「としよりになると、あんなになるのだ」とおつしやいました。

秋の靜ケ浦

松林小學校五女　池羽　澄子

九月八日の日でした、靜ケ浦の海岸に立つて海の上を見わたしました。何鳥か、波の上をすれ〳〵に飛んで行きます。

この間までは、赤い海水帽や、はなやかな色の海水着を着た人が澤山泳いでゐましたのに、バラックの中にでも、數十人が休んでゐましたのに、今はただ、帆かけ船が一隻、沖へ〳〵と靜かな波の上を、搖れるやうに行くだけです。

バラックの中には賣店の支那人がのんきさうに支那歌を唄つてゐます。

私は淋しい氣持になつてしまひました。住みなれたこの靜ケ浦の家をすてゝ、又あの埃の多い大連の市中へかへらなければならないのだと思ふと、何んだか一層淋しさが增してきました。

明日でお別れだから、今日は精一ぱい面白く遊ばうと思つて、池を掘りましたが、それもすぐにくづれてしまふのです。

老虎灘の方を見ました。お稻荷樣の赤い鳥居を見ても、青々とした芝生を眺めても、皆んな淋しさうです。

空をみあげました。赤に黄に靑の三色をまぜた夕燒の空に、お日樣は何も知らぬやうに西へ〳〵と傾いて行くのです。

とつぜん、後の方で「澄ちやん」「姉ちやん」と呼ぶ聲がしました。おばあさんと新ちやんでした。

「何をしてゐるの」ときかれたが、私は何とも答へませんでした。

しばらく新ちやんと遊んでからお家へ歸りました。お日樣はもう見えませんでした。

本年のストーブ界は　混戰狀態

滿洲に貯炭式無煙ストーブの輸入されたのは昭和二年にセンターストーブが久保洋行の手に依つて滿洲全體に普及されたのが嚆矢であつた、爾來年と共に雨後の筍の如く種々雜多のストーブが續出して花客を迷はしてゐる、滿洲日報社では此狀態を看取して年々十月頃には暖房展覽會を開きストーブの優劣を一般に紹介してゐる、本年は昨年よりも一層種類が多く、センターストーブを始めとしタイハン、フクロク、ピクター、スミレ、ヘルス、ニツトウ、村上、恒六、榮光、アルバン等數へ來れば兩十指を屈する程の多數を算するに至つた、價格も、形狀も、特長も大同小異であるが何れも自己宣傳に火花を散らし大道の鳴り物入りの行列宣傳やら新聞廣告で鎬を削つてゐる、就中センターストーブは一番最初に輸入されただけありて、一般にセンターと云ふ先入主が印象付けられてゐるやうだ、從つて他の筒式ストーブよりも一段高く高尚な地位に置かれてゐる之は取りも直さず購入者側より價値付けられた賜ものであつてセンターの實質が宣傳以上に認められたからである、

近頃市場に現はれた　繼目なしのストーブ

此繼目なしのストーブは一本鑄造で外觀は一寸良いようであるが火力のために或一部分が熔解すると全部を放棄して更に新らしいストーブを求めなければならぬ不經濟極まる缺點があります、之に反し各部分部分に分解されるストーブは假へ其一部が火力のために熔解しても其部分だけ取替れば僅かの費用で又一年は新品と同樣に使用されるのであります、此の如く製造するには各部分部分に鑄型を作り之に熔流して造るのである、さうして一つ一つ繼目に石綿粉を塡充して組立てるのでありますから手數のかゝる事は想像以上であります、繼目なしのストーブ一本鑄造ですから手數もかからず簡單に出來上る從つて元價も安く付く譯であります、それでも市價は殆んど同樣ですから此點を深く御注意下されまして將來御愛用となるべきストーブをお求め下さい、

壹個のストーブが　四十餘種に分れる

センターストーブが獨占的特長として一般の歡迎を受けつゝある點は一個のストーブが四十餘種に分れて一つ一つ部分品が臨時に求めらるゝからである、假へ火力のために一部分が熔解するやうなことがあつても其部分だけ取替へれば僅かな費用で新品同樣に使へると云ふ至極經濟的に出來てゐるストーブであるからである、繼目なしのストーブが如何に自己本位に宣傳しても數多ある奥樣方の御聰明の明は期せずして經濟的に出來てゐるセンターストーブに注がれるのであります、

滿鐵沿線　名地の狀況

瓦房店　同地よりの通信に依れば瓦房店も矢張り昨年と異り各種のストーブが輸入されて各々宣傳に努めてゐる、しかしセンターストーブだけは流石に古き歷史を有するので新參のストーブよりも人氣がよく一般に歡迎されてゐる滿鐵社員を花客の中心とする瓦房店では現金賣と云ふものは殆どなく月賦販賣が主となつてゐるとのことである、現金で安く仕入れ月賦で社員に賣込んでゐるのでセンターの代理店小川政次郎氏の評判がよい

鞍山　製鐵所諸設置の豫定地となつてゐるので前途有望視せられてゐる關係上居住民の心理も何んとなく異つた點があつて居間に其賑きが見えてゐる、從つて不景氣の風は何處を吹くかと云つた調子である、本年の暖房界は相變らずセンターの獨占舞臺で至る處センターは話題の中心となつてゐる、センターストーブの代理店たる野田氏の圓轉滑脫の交際振りと敏活なる行動には他ストーブの浸入する餘地がなく殆んど鞍山の暖房界をセンター化せんとする勢力を示してゐる

營口　支那人方面に販路を有し前途洋々たるものあるも昨年來銀貨の暴落に依り著るしく購買力を減じたことは獨り營口のみではあるまい、しかし日本人方面には此種ストーブの需用を相當喚起してゐる、本年は一般に衛生と經濟的に目覺めて來た結果、各方面より注文が續々と來るやうだ、田口代理店主は結氷前に早くも營口上げの有利なるに着眼して一時に多數のセンターストーブを大阪より直輸したが賣行は頗る活潑で既に過半は賣盡し第二回の注文を發せんとする盛況である

遼陽　昨年滿鐵が工場を引上げて以來火の消えたる如く寂寞をたが滿鐵の救濟資金によつて蘇つたので幾分人氣は恢復した、其後惠まれて關東軍騎兵隊が全部遼陽に引移つて本年のストーブ界は鈴木洋行が代理店として奮闘してゐるセンターストーブが陸軍方面は勿論市内各家庭にも普及されてゐる、色々と毀の鑄つたストーブを宣傳してゐるが人氣は矢張センターが一番よいようだ

奉天　滿洲に於ける最大商都で又最も商業の殷賑な土地柄である、從つて大連の一流商店は何れも支店若しくは出張所を設けて盛んに日支人間の商取引を爲しつゝある、本年よりセンターストーブの代理店を引受られた大連松島商店の出張所では初秋に於て旣に其準備を整へ目下盛んに賣出してゐる、奉天は大連と同樣各種ストーブの混戰場であつて需要者も何れが優良であるか良否の判別に迷はされてゐる、此點に就てはセンターは旣に一般から認められてゐるので人氣は自然に集まつて來る、之は外ではない實際に一二年使つて眞價を認められたお方が宣傳して下さるからであります、又一面松島商店が始めて代理店を引受られたので一個でも多數に賣上げやうと努められ各種の宣傳を試みらるゝので一層人氣は集注されてゐる

長春　長春に於けるセンターストーブの需要は年々に増加しつゝあるが本年は銀の暴落で多少の影響を受けるものと推測されてゐたが有力なる仁和洋行の活動によつて著るしく景氣を挽回し非常に盛況を示して來た、此調子でゆくと或は昨年の賣出し當時よりも遙かに多數に上るべく信ぜらるゝのである、センターの特長とする處は花客本位の構造で使用上の經驗から各部分が分解されるやうに出來てゐる點である、從つて修理費は安く經る點であります、仁和洋行では花客に對し不親切のないやうにあの多數の部分品を全部取揃へて何時でも需要に應じてゐる

センター漫錄

皆樣方の襟首や手首を汚さぬよう最も忠實に努めるものは空中淨化を理想として生れたセンターストーブであります▲煙筒を掃除した後の拭き掃除はお互に感じの良いものではない、希くば冬期間一回も煙突掃除の必要のないストーブを求めたい、此理想にピタリと當てはまるものはセンターより外にはない▲滿洲の冬は石炭がなければ一日も暮せぬ、毎日消費量を節約してさうして暖を採る方法を講じなければならぬ、採暖と石炭の節約ならセンターストーブに限ります

「圓滿家庭の春は先づセンターより」

宣傳せざる　商品は亡ぶ

此の標語は新聞屋さん達が盛んに利用してゐるが、全く其通りだ近時廣告術の進歩したことは實に驚くべきものがある、廣告料が高いと云つて二三流處の新聞に廣告しただけで其得るところが少ければ結局料金を損したなる譯ですから矢張ら値段は高率でも發行部數の多い一流の新聞を用ふることが利益であります、しかし地方で商賣をする場合には目的の商品ならば其地方の有力な新聞に廣告することが必要であります、私の店が最近廣告する機會が多くなつたことは皆樣方の御引立の賜と深く感謝いたして居ります、御承知の如くセンターストーブは貯炭式無煙ストーブの元祖で燃料の節約と燃燒上に手數のかゝらぬことゝ放熱力の強い三大特長を有してゐます、殊に昭和五年式は一層の改善を加へてありますが他品の追隨を許さぬ處である、今回此紙上を借用して大方各位の御愛顧を願はしさうして實地の御試驗を給はらんことを懇願いたす次第であります

十六號型の改善

昭和五年式の十六號型は四年式の炊事兼用と外觀は少しも變らぬ、只内部の灰落しの個處を改善したのみであるが非常に成績がよい昨年型を御所持のお方は久保洋行迄御持參になれば何時にても其部分を直して差上げます

商賣往來

景氣の良い時は品物は少々高くとも賣れる、儲かると云つて大氣焔をあげてゐたものが、不景氣となると安くとも賣れぬと愚痴をこぼす、寧ろ此不景氣時代に度胸を決めて大に勉强し積極的方針を採ることが肝要であらう▲賣れぬ、儲からぬ、注文がないと云つたところで櫓から牡丹餅は落ちつこない、不景氣時代にはウント活動する覺悟が常に新らしい計畫を考へて置く必要がある、例へば物價の低落や相場の急變を恐れて仕入を手控え或は縮小するなどの消極主義を取つてゐるやうでは却つて不景氣をなして一層不況をならしむる結果となるのである▲一般が萎縮してゐる時こそ個の活動でも目に立つものですから此の沈靜の機を利用して大に活躍し大に發展の道を講ずると云ふことは最も面白からうと思ひます、英國首相が不景氣打開策として勤儉の復興を説いたが全く其通りだ▲一般の人が此心持で積極的に方針を樹て直せば不景氣の恢復は期して待つべきものがあらふ、センターストーブが思ひ切つて大々的廣告を爲すのも不景氣に對する一種の對抗策であつて如何經濟に我々の努力が報いらるゝか試驗的に一大努力をかけてゐるのであります▲お陰さまで今日迄の成績は豫想以上であります、何此成績が果して何日まで持續されるか否やに全く華客の御引立に依つて定まるのでありますが要は誠心誠意と實質を本位として努力もしなければならぬと堅き覺悟を以て御高覽に訴ゆることを期してゐます▲御承知の通り本年も又色々な形の變つたストーブが市場に現はれてゐますどうか方のお心を迷はしてゐるようですが類似品の宣傳に耳をかさず實質本位で御試用の定評あるセンターストーブをお求め下さい、之が何より安全な方法で御座います

満日各地版

撫順

卅四名を人質とし強奪惨殺をつくす

逮捕された馬賊頭目の自白 恐るべき犯罪の數々

既報満洲馬賊の頭目天下好こと遼寧省撫順縣塔湾生れ傅金山(三七)その有力なる部下山東省曹州府生れ通稱長勝好こと李玉作(三八)同山東生れ霜雷こと楊玉春(二七)同山東省東昌府生れ牛佩和(三一)等は九月二十四日撫順中川刑事の一隊のため撫順市内歡樂園附近で逮捕されて以來半ヶ月間に亘り司法當局の峻厳なる取調べを受けてゐたが遂に包みきれず罪状一切を自供取調べ一段落と共に十日漸く發表を許されたが彼等一味は撫順背後地清源、新濱、海龍各縣を荒し廻り昭和四年春以來の犯行で彼等が自供したる分のみでも人質を拉去すること三十四名現大洋十數萬元を掠奪剩つさへ支那討伐隊長巡警良民等を射殺惨虐の限りをつくしてゐたものでなるが自供したる犯行一部次の如し

房所で働いてゐたが正業がいやになり赤馬賊隊を組織し一味三十餘名と共に機關銃一、長銃五モーゼル四、ブローニング二その他の精鋭なる兇器を以つて昭和三年四月以來人質拉去に依り現大洋約三萬元を強奪した者である

昨年四月以來の大膽な犯罪

▲主魁天下好は昭和四年八月三日海龍縣南山城子に於て一味約二十名の馬賊團を組織長銃三挺その他拳銃を所持一味と共に南山城子大石溝農王樹元方に侵入王の長男十歳を人質に拉去奉票五萬圓を強要奉票九千五百圓を得▲同年八月十一日一味と共に海龍縣黒咀子農白某方へ侵入討代隊の來襲に逢ひそのまゝ附近に潜伏翌十二日再び白某方を襲ひ長男を人質に拉去現大洋一萬元を強要人質交換にて現大洋五千元を強奪▲同年八月十八日午前六時頃海龍縣六道溝の農石某方へ侵入十三歳の男子を人質とし現大洋一千元を強奪▲同年九月下旬清源縣沽山子農薛某方へ侵入二十歳の長男を人質に現大洋二千元を強要現大洋六百五十元を強奪▲十月下旬清源縣秀水甸子農曹均方へ指定の金を持参せねば全家を鏖殺すとの脅迫状を送り現大洋五百元を強奪▲十月下旬秀水甸子王某、王君方へ前同様脅迫状を送り現大洋二千元を強奪▲昭和五年四月部下十五名を有する通稱長勝の一團と合併更に機關銃一、長銃二挺モーゼル三挺の精鋭なる武器を得▲六月中旬頃山城子農薛某方へ侵入二十五才位の男及他一名拉去現大洋三千元を強奪支那官憲の討伐隊と交戰人質射殺逃走▲六月下旬海龍縣長嶺子において更に部下十一名を有する頭目仁義の一隊と合し益々勢力を強め長嶺子の街道を通行中の荷馬車六七臺に乘車し來りし乘客中の李、張、舎某三名を人質に拉去現大洋一萬元を強奪▲七月中旬清源縣橫頭農吳某方を襲ひ二十四歳の男を拉去現大洋一萬元を強奪▲七月下旬清源縣匪徒討伐隊と交戰、張隊長を射殺▲八月初旬撫順に一味と共に移動同月三日撫順縣唐西人旬の農陳某方を襲ひ陳の長子陳秀春(二三)次子陳和春(二〇)の兄弟を人質とし現大洋四萬元を強奪▲同日更に東連力灣に到り趙連綿、唐王洋、韓振榮三名を拉去現大洋三萬元を強奪▲八月四日撫順撫順縣討伐隊と交戰第六區公安分員巡警呂明顯の左腕に貫通銃創を負はせ逃走▲九月九日奉海線南章水驛の南方路上にて某支那人より現大洋二千元阿片約百匁を強奪その他十數件

仁義團の副頭目

別稱天下好逮捕後去月二十七日午後二時三十分市内歡樂園平康里支那料亭に於て逮捕したる山東省生れ通稱双全こと劉景盛(三一)同韓文育(三二)同魏奎元(二九)は南北滿洲を股にかけ荒し廻つた大馬賊仁義團の副頭目で是亦十日取調べ一段落と共に詳細發表になつたがその犯行の主なるものは

大正十四年六月北山城子豪農李某方へ頭目以下十八名と侵入人質拉去金票三千五百圓を強奪、同七月海龍縣本溪河農徐方に一味と共に侵入人質拉去に依り金票四千圓を強奪その後一度支那官憲に歸順後撫順炭礦古城子採

旅順苹果の輸出

旅順農會では昨年から上海、天津、南洋さては奥地ハルピン方面へ名物苹果の輸出を試し大に歡迎を受けたので本年も第一便として九日紅白五百三十箱約二萬二千貫をハルピンへ移出した(寫眞は出來上つた荷作り)

本社敬老喜の字祝ひ 銀杯受領の人々

(4)

八十一歳

大分 嘉永三・二・三 旅順市高千穂町一ノ一 橋本シゲ

熊本 嘉永三・二・二三 沙河口白金町二〇 中原清一

山口 嘉永三・六・二三 大連市千歳町三 河村よし

富山 嘉永三・三・二六 大連市錦町五ノ一九 廣瀬仁十郎

山形 嘉永三・六・二六 沙河口霞町八四 菅原てる

佐賀 嘉永三・七・七 奉天富士町六 前田ワカ

香川 嘉永三・八・五 沙河口霞町一四ノ北二四 徳重トヨ

愛知 嘉永三・八・二九 大連市浪速町一四八花乃屋 白木ツルエ

廣島 嘉永三・一一・一三 大連市霞町三南二四小西方 日内勘五郎

埼玉 嘉永三・一二・一四 大連市惠比須町七四 利根川リユウ

愛知 嘉永三・一〇・一〇 大連市奥町二二 平松さも

廣島 嘉永元年(八十三歳) 本溪湖桃月町 高田かれ

正誤 昨十一日の本欄見出しに八十三及び四歳とあるは「八十二歳」の誤りにつき訂正す

安東の巻 (3)

戰塵の漸く納まると共に突如襲つた受難期

邦人は三分の一に激減し再び荒野原化せんとした

高橋貞二氏談

安東廿五年間中の最も受難期とも云ふべきは平和克復後の卅九年から四十年であつたと思ふ、卅七年軍政署は現在の安東市街である雑草の野原を支那人所有者から買收し、これに市街計畫をたて一區域を百五十坪としてこれを七十五圓で貸下げ、各自が競ふて貸下を受けてバラック式の建築を始めたので、自然日本人街から現在の安東市に移り平和克復當時は人口五千と云ふ安東市街が出來上り、戰勝氣分の手傳つて居たセイもあらうが、市中は相當殷盛を極めて居たものであつた、然るに平和が克復し軍隊は撤退する、而も何れの職後にも現はれる極度の不景氣が襲つて來たので、況して何等の根底が築成されてゐない非永住的な居住者は茲に至つて戰後の夢が醒めたが、時既に遲く既に生活を支ふるにも術がないものあり新らしい仕事は見つからないので自然相亞いで遁散し僅かに一年を出でずして在住邦人は忽ち三分の一まで激減し傾に巡業を感ずる様になり、隨つて振はず工業も亦見るべきものなく、安奉軽便鐵道の廣軌改築工事も鴨緑江鐵橋工事も其の聲を聞くのみに過ぎずしてイツ實現されるか見當がつかず、殘餘の居留邦人はこの草創の地に相互共食し辛うじて生活を維持する狀態となり、疲弊は日を逐ふて重なり疲弊と困憊は殆ど名狀すべからざる有樣であつた

既に再度の荒野原化し

やうとした安東が蘇生したのは四十二年八月七日現在の安東線鐵金嶺トンネル開鑿の第一鍬が下されてからで其後引き續き鐵橋架橋工事が開始されこの二大工事が再び在住民を増加し市況を殷賑ならしめる原因となりさうして再興された安東はこの二大交通機關の完成により完全な貿易港となつたのである、勿論その後市の消長はあつたが當時のやうな一大受難期には遭遇せず遂に今日の安東市を形成するに至つた、數字の上から安東の貿易狀況を回顧すると次の通りである(單位千海關兩)

▲輸移入貿易

年次	外國品	支那品
明治四十年	二、一六八	五三
大正二年	七、一一三	一、七六
大正五年	一八、七〇九	二、三三二
大正九年	三〇、一九八	三、八六三
大正十三年	三二、〇三九	三、〇八七
昭和三年	四三、一六九	三、四六七

▲輸移出貿易

年次		
明治四十年	一、二六三	三、一五四
大正二年	一、三三七	八、六八〇
大正五年	一、一五三	一二、七五三
大正九年	九五三	二三、三九九
大正十三年	六七六	三八、五四〇
昭和三年	六一〇	四九、三六八

その中最も著るしく増加及減少したものを擧げると(單位千海關兩)

この數字から見て安東

	大正元年	昭和三年
綿布	三、三五三	二八、〇五二
綿糸	三、三三三	二、三三九
毛織物	三六	一、〇〇〇
砂糖	一、八六三	一、八六三
麥粉	六七八	三一三

の商工業と貿易狀態は大體窺はれるが、廿五年前僅かに五十餘商店一工場、貿易額が廿二萬圓を出でなかつた安東が、廿五年といふ長い月日によつて日本人々口一萬五千、工場數一千三百九十九、商店一千九百十二戸といふ今日の狀態になつたことに思ひを致し、過ぎた二十五年の歩みを回顧して見ると、轉た感慨に絶えないものがあると、歳月といふもの位無關心の間に大きな仕事を成し遂げるものはなからう(この項終り)

旅順

市長杯問題から野球聯盟動搖す

關東廳側の態度を遺憾とし聯盟脱退の議起る

先般旅順野球聯盟主催にて全旅順のリーグ戰を行ひたる結果重砲隊對千歳の決勝戰となり重砲隊の優勝となつたがその際永山市長より寄贈の優勝杯は試合終了と同時に重砲隊へ贈るべき處該市長杯は十一日の小森運動具店主催の決勝戰試合終了後贈ると云ふ事となつた爲め主催者の態度に對し各參加チーム及び一般野球ファンの間には關東廳方面に對する非難の聲起り近く聯盟を脱退せんと云ふ氣が濃厚となつて來た、之れに對し一般チーム側の主張する所を綜合すると左の如くである

關東廳方面の態度は兎角勝手氣儘の振舞ありて試合毎に自己の主張を通す事は面白くない當初スター即ち重砲との試合に於てもその翌日完全に試合し得るにも拘らずこれを延期せしめ又今回の市長盃贈與に關しても忘れて來たとか間に合はなかつたとか其他種々嫌味な態度がある事は困つた次第だ

非難される理由なし

關東廳側言分

と云ひ一方關東廳側の云ふ處は次の如くである

一般チームは兎角關東廳側に對し善意を以て來ない事は遺憾至極だ市長盃の如きは市長から授與して貰へば意義もあり又それが常然で試合終了直ちに贈呈すべしと別段定まつた事でないので寧ろ參觀者の多い時華々しく授與式を行なつた方が好いと思ひあの時は丁度日曜で市長への連絡もなかつた爲め重砲隊とはよく了解した上延期したので斷じて非難を受くべき理由は一つもないと思ふ

全滿陸上競技大會記錄

第三日目

全滿陸上競技記錄會第三日目の五千米、三段飛、砲丸投、成績は左の如し

▲五千米 郭清榮(旅二中)一七分二二秒(二段)祁敬恒(同)一七、二四、二(同)河野萬治(旅順)一七、四五、八(同)高玉嶺(旅二中)一七、五〇八(同)橫澱(關東廳)一七、五七、八(同)宮崎繁次(同)一八、——(初段)山田盛一(旅一中)一八、〇八(同)張

▲三段跳 長滿輝雄(旅順)一二米五三(初段)潘寶信(工大)一二、一五(同)林力(旅一中)一二、〇七(同)玉恒泰(旅二中)一一、三四(一級)高遼義(旅二中)一一、一九(同)清宮宗賢(旅一中)一一、五七(同)西山蔦(旅一中)一一、〇三(同)

▲砲丸投(十二封度)上倉藤一(體研)一三米二九(三段)林不二太郎(工大)一二、〇六(一級)潘寶信(工大)一〇、八〇(同)張成海(師範)一〇、六四(同)

▲同(十六封度)上倉藤一(體研)一一米二五(三段)石丸正(大一中)九、九七(初段)加藤登志男(大一中)九、二八(同)林不二太郎(工大)九、三九(同)潘寶信(工大)九、一九(同)橫田享(大二中)九、〇五(三段)郭清榮(旅二中)九、二九(初段)最上義滿(旅二中)九、〇七(同)王泰恒(旅一中)九、〇三(同)張成海(師範)八、九七(一級)渾維章(旅二中)八、八七(同)劉兆珍(同)八、六八(同)笹本正義(旅一中)八、八七(同)周武臣(同)八、〇九(同)篠倉正仁(旅一中)七、七一(同)

(以上一級)

鹼良(旅二中)一八、一七、八(同)宮本平次郎(關東廳)一八、一八、六(同)川村文雄(旅一中)一八、二九、六(同)福永健三(旅一中)一八、三五、二(同)米岡健(旅一中)一八、三七、二(同)樋上康(關東廳)一九、一五、二(一級)

滿電バスの増車當分は不可能か

現在でも採算されず

旅順市内の滿電バスは從來通り三臺を以て新舊兩市街を運行しいづれも十分毎に發車してゐるが往々時間迄に目的地へ達する事が出來ない爲め車體増加の聲もありて旅順營業所にても目下考慮中であるが然しながら一車一時間十二回運轉即ち一日の運行回數は百八十四回となつてゐるも之れが揚高平均は僅か四十錢内外にて採算上増車は全く不可能とせられ殊に料金値下げの議もありて之れがため當業者は非常に頭を痛めつゝある模樣である右につき小山主任は語る

市民のため出來得るだけ安く利便を計るべく研究に研究を重ねてゐるが妙案が浮かばぬので困つてゐる、現在の狀況として市民間に多少の不滿足はあるかも知れぬが採算上や又種々の關係を伴ふ爲め今直ちに車の増加は一寸至難である、そこへ料金の値下問題も起つてゐるので全く客は少なし、車は増せ、料金は値下げせよと云ふのだから實際困難な問題です、然し何んとか此點に就ては善處すべく日夜苦心してゐる次第です

旅順の双十節

支那双十節に當る十日旅順では午前十時より公議會學生團聯合の下に市内鯰島町覓裳園に於て記念祝賀會を開催したが會場正面には故孫中山の肖像を掲げ美々しく裝飾され定刻一同着席の後潘修海氏開會の辭を述べ奏樂裡に昇旗拜を行ひ國歌を合唱の後一同は孫中山の肖像に對し禮拜をなし次で孫氏の遺訓を訓讀三分間の靜默を行ひたる上公議會副會長孫兆安氏は一場の開詞を述べ祝辭の朗讀ありて學生の講演あり奏樂裡に萬歳を三唱正午閉會したが午後一時よりは餘興として唱戲あり盛會を極めた、因に會場には數片の警句を掲げ入場者の注意をひいた

招魂祭に寄附

十一日旅順新市街警察官招魂祭擧行に際し旅順市より供物料として金一封旅順市會議員倶樂部員より苹果一對又新市街居住民一同から紅白餅一重れを寄贈した

果樹園の視察

旅順農會主催にて視察團を組織して來る二十七日旅順出發三日間の豫定で金州普蘭店方面の果樹園視察を兼ね目下開催中なる普蘭店物產品評會參觀を爲す害で已に會員も二十餘名に達してゐるが參加希望者は十三日迄に農會へ申込まれ度いと因に費用は實費

生れた人

▲末廣町二五ノ二 官吏永田正巳長男正樹二十五日出生
▲元寶町一三五 官吏清水長貫長女美美子二十七日出生

公主嶺

逝く秋を追ふて男女の心中

女―藝妓、男―生魚商

市内朝日町料亭田毎抱藝妓友治事原籍大阪市東販町四一幸松ハルエ(二一)は花園町生魚商名和鉄三郎(三一)と本年初夏より馴染を重ね相愛の仲となつてゐたが十日午前四時名和の自宅二階の寢室に於て男は女を絞殺し自分は鋭利な剃刀の出刃庖丁を以て咽喉を搔切つて心中を遂げた、此の慘劇を隣室に就寢中のボーイは氣附かず七時頃起床したが常になく主人が起床せぬので外出し九時ころ戾つて見ると未だ主人が起きてゐないので不審を抱き襖をあけたところ室内の慘状に驚き各方面に急報したので大騷ぎとなり警察より警官臨檢型の如く取調の結果遺書より合意の情死であることが判明した友治は温和な性質で萬事に愼み深く浮名を流すやうなこともなく至極眞面目として人氣を集中してゐたもので同夜の如きは一時頃まで酒席に侍りて世間話笑何等異狀なく二時切外室してこの始末を見たものである

三名を生埋めの現場

ゆふべ發掘作業中をうつす

米國一流選手を招聘 日本で水上競技

愈よ明年八月、神宮プールに於て 世界の視聽を集めん

【東京十一日發電通】日本水上競技聯盟では十一日理事會を開き兩三年來の懸案たる日米對抗水上競技大會開催の件につき協議の結果明年五月末までには明治神宮プールに觀覽席を含むコンクリートスタンド（收容一萬四千五百名）並にプールの照明裝置等が完成するからこれが完成記念として日米水上大會を開催することゝし、期日は全米國一流選手を集めるに最も都合のよい全米選手權大會直後の八月上旬、招聘選手はコジヤツククラブ等を含む自由型短距離、長距離、平泳、背泳の各一流選手三名づゝ合計約十二名と云ふことに決定した、よつて水上競技聯盟は末弘會長の名を以て十一日米國の運動競技の代表統轄團體たるエイ・エイ・シイに對し正式挑戰狀を發送した、國際オリムピツク大會を翌年に控へ世界の二大水泳國たる日米兩國の對抗競技は世界運動界注目の焦點となるであらう

個人家主にも値下の交渉

大連借家人同盟が

大連借家人同盟では全市に渉る家賃値下げの聲に應じ着々活動を續け、正隆、滿銀、滿業公司等大家主に向ひ合理的な値下げの戀態を行つてゐるが、正隆、滿銀兩行は重役會に諮つたうへ回答することになつてをり、滿業公司は十日渡久山貸行委員等の交渉に對し公司としては既に各戸に對し一割乃至二割の値下を斷行してゐる、更に大店子には四割位までの値下げをする意向もあり、また六ケ月の家賃完納者に對しては中ケ月分を割戻す方針であるから希望のある者は申出られたい、そのうへ調査し値下げ餘地のあるものは適當の相談に應ずるといふ極めて理解ある態度を執つてゐるので、借家人同盟では直に各方面に亘り希望者を募つてゐるなほ同盟では市內の個人家主に對しても漸次手を伸べることゝなつてゐるので連名の申込を希望してゐる

19―0 工專大に振ひ 英艦ゼロ敗す

きのふのラグビー戰

大連碇泊中の英國巡洋艦カンバーランド號對工專ラグビー戰は十一日午後四時半より工專グラウンドに於て星名（主審）カーツライト櫻田（線審）三氏審判の下に開始されたが、工專よく敵の虚をつい

てしばしばチヤンスを作り十九對〇で勝つ

工專19｛13―0 6―0｝0カ號

前半 カ號トスに勝ち風上へ（西側）に陣し工專キツクオフ四分工專右二十五ヤード內に攻め入り反則を獲て藤島プレースキツク、ゴール成つて先取▲六分カ號敵二十五碼內に攻入つたが松木の好キツクにまたも盛返され、その後兩軍ハーフ、ウエイラインを中心に競合ふ後十五分カ號FWのドリブルで右フラツグ附近まで攻入り好機と見えたがドロツプアウト、カ號後工專を壓迫す、工專攻守よく敵の虚をつき二十五分盛返へし右フラツグ附近のルーズの球を藤島得てトライゴール成らず▲後兩軍ノー、トライでハーフ、タイムとなる

後半 兩軍好守好防好試合を續ける十分漸く工專右二十五碼內に入つたがFWドリブルでも返へされたがまたも二十五碼內に攻入りルーズの球縄田得て左フラグ寄りにトライゴール成らず▲二十二分工專またも左二十五碼附近ラインアツプの球を中村が敵軍を巧みにすかして左ポスト、ボール寄りにトライ藤島のゴール成る▲二十八分工專左フラツグ附近のルーズの球を西出縄田鹿毛と渡つてまたもトライ、ゴール成る▲後カ號力鬪したがそのまゝタイムアツプとなる

（カ號）

	カ號	工專
FW	カートウ、ツネツトヨウ、メタシン、ケンセン、フアンエン、パウツト、アボジー、アジイー、ノータージ	村岡、本崎、田村、宅山、田毛、田島、井木、龍中、松宮、藤中、泉三、西縄、鹿岩、藤椙、松
HB	ハイアンド、ハラウン、プナイミンス	
TB	スクワイヤー、ドロツト、ナツシユ	
FB	シインデン、オープリエン	

（工專）

土砂崩壞して 三名生埋め

一名窒死し、あとは漸く助かる 昨夕敷島廣場の騷ぎ

十一日午後四時四十分ころ市內敷島廣場五品取引所横の滿電特別高壓ケーブル線地下工事場において長さ十六米突、幅一米突、深さ約半米突にわたる約二坪ばかりの土砂が突然崩れ落ちた爲め穴の中で作業中であつた三名が逃げ遲れて生埋となつた事件があつた、この工事を請負ひの西村組では直に發掘作業にかゝり漸く窒息即死せる住所不明の王金義（二）徐某並に山東出の息の山東生れ寺兒溝大橋北居住の岳喜金（三）を掘り出したので岳は直に監部通り仁和醫院に擔ぎ込み應急手當を施した結果、蘇生したが全快までに二三週間を要する骨盤打撲傷を負つてゐた、同所一帶は元來地盤が脆弱なところで不可抗力とみられてゐるが、場所柄野次馬が黒山のやうにたかり一時は非常な騷ぎであつた、この騷ぎに直接責任者たる西村組ではあの邊は埋立地のやうに見受けられ、そこに下水工事を施したあとがあり、特に地盤が弱いために、上層部の壓力に堪へ兼ねて自然に崩壞したのですが、まさかこんなことにならうとは思ひませんでした、被害者には實

花蔭亭を御披露

各皇族をお招き

【東京十一日發電通】天皇、皇后兩陛下には十一日午後二時半より秩父宮妃、閑院宮大妃、李王同妃殿下等十二方を宮中に御招きの上全國官吏より大典奉祝のため獻上した吹上御苑の御休所花蔭亭を御披露遊ばされた

思ひのまゝ婿や嫁を撰ばせ

新時代の理想的夫婦を作る 『由緣倶樂部』東京に生る

【東京十一日發電通】古い因襲の殼を破つて新時代の理想的夫婦を結合しやうといふので藤田合名會社長藤田輝雄氏の肝煎りで青木信光子、矢吹省三男、福原俊丸男、吉岡彌生女史等各方面の名士を網羅し「由緣倶樂部」が出來た、人生の重大事緣組の選定が親戚若くは知人といふやうな極めて狹い範圍だけが唯一の頼りとして不充分ながらその間で選擇されてゐるのは餘りに無關心ではあるまいかといふのが由緣倶樂部出現の動機で勿論一切無料で出雲の神の役目を務める、依頼人は履歷書、趣味、性質、職業、收入、財産、健康（へ性病の有無）血統を記入して寫眞を添へて倶樂部に依頼すると、倶樂部はこれをカード式に記入して保存しこのカードによつて倶樂部員合議のうへ配分を決する、カードの結合を決したうへは双方の意思に任せることになつてゐる、倶樂部の妙味は廣い範圍から自由自在に選擇して理想的の橋渡しが出來るところにある

7A―2で 早大先勝

對明大一回戰

【東京十一日發電通】早明野球第一回戰は十一日午後二時半明大の先攻にて開始左の如く七A對二にて早大一勝す、閉戰四時二十分、

バツテリー明大（中津川、戸來、八十川、井野川）早大（多勢、清水、伊達）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
早大	1	0	5	0	0	0	0	1	0	7A

專門學校の―入學檢定試驗

明年から六都市で施行

【東京十一日發電通】文部省で每年春秋二回施行してゐる專檢即ち專門學校入學檢定試驗は從來東京で行はれたものであるが、最近受驗者の激增せると受驗者が概れ苦學生であることに鑑みその負擔を輕くする意味に於て特に明年度からは東京、大阪、京都、名古屋、福岡、仙臺の六都市に於て施行することゝなり文部省では目下その準備を進めてゐる

福原美術院長 辭意を飜すか

【東京十一日發電通】京都帝展出品搬入拒絶問題は九日解決したが福原帝國美術院長は責任を感じ辭意を漏らすに至つたので、十一日文部省の赤間專門學務局長は福原氏を訪ひ來年は恰も帝展の二十五周年に當るをもつて是非それまで留任されたしと極力慰留するところあり、結局同氏も辭意を飜へすものと見られてゐる

佛國女流飛行家

今度はシベリヤ經由で 今月末に日本を訪れる

【東京十一日發電通】英國のビクター、ブルース夫人が單身本邦の空を目指して飛來しつゝある折柄今回又復フランスの女流飛行家ルナ、ベルンスタイン孃が訪日飛行を決行すべく十一日佛國大使館を通じ航空局に許可を求めて來た、それによると、ベ孃は來る二十五日より三十日までの間に日本到着の豫定で、機關士エム、ルブラン氏と共にシベリア經由朝鮮を經て立川に來るといふのである、孃はロシア生れ當年二十四歲、本年五月耐久飛行二十五時間四十六分五十七秒のレコードを作つた、使用機はサルムソン二百三十馬力である

外國印畫展

橋詰洋行主催、滿鐵情報課、滿洲寫眞聯盟後援の外國寫眞大家力作印畫展覽會は十三、十四兩日滿鐵社員倶樂部に於て開催されるが、印畫はいづれも日本國產印畫紙を使用したもので、ドイツに於ける知名の寫眞大家ニコラペルシヤイトをはじめ獨米の寫家を網羅し印畫總數七十數點に達してゐる、外國知名寫眞家の作品のみを集めた寫眞展覽會は大連に於て最初の催しなので同好者の間に大いに期待せられてゐる

出來上らない先に 次の貯水池を心配

灣家屯も昭和十一年には涸れる 激しい大連市の膨脹

＝日支人＝ 三十萬の大連市民の命をつなぐ泉、灣家屯の貯水池は目下着々工事進み堰堤も殆ど完成し工事の八割は出來上つたが、昭和七年の六月中に貯水池を完成して七月の雨期に水を貯める豫定であるといふ、矢張り經費節減の影響を受けて全工事の完成は一年遲れ鐵管をしいたりその他の附帶工事は八年度に終ることになつてゐる今までの狀態だつたら大連現在の貯水量では七年度には水の不足を告げる筈のところ本年は大正九年以來の

＝大降雨＝ で貯水池の壽命が一年半伸びたので土木課出張所の大槻水道係主任も一年の工事遲延でやきもきのところをほつと一安心の態である、しかも本年は昨年の一日平均淨水使用量二萬二千五百噸に比し約一千噸の減少を示してゐる、これは本年は油房が殆ど仕事をやめてをり、その他不況のせいで工業用水の使用が減つた爲めだらうが、しかし急激な大連市の膨脹によつて千五百萬噸の貯水能力を有する灣家屯も昭和十一年末には

＝不足を＝ つげ、三つの貯水池も空になつてしまふので目下次期貯水池工事の計畫に忙しい、大槻主任以下每日の様に金州及び金福沿線各地に出張して次の貯水池豫定地の踏査に忙しいが、人口百萬の都市計畫に當つて次の大貯水池は少くとも千五百萬圓から二千萬圓の工事費を要する想大なものだけに大連近隣には適地がないので大沙河附近に敷地を求めやうといつた騷ぎだ、灣家屯貯水池が完成する今までに大連における淨水工事には約千五百萬圓を費して居り大連市民一人當り

＝百圓の＝ 金が使はれてゐるわけである、目下市內日本人の淨水使用量一日平均四・五立方尺に當り、支那人はその三分の一の一・五立方尺であるが、今回の都市計畫案によれば日本人七立方尺支那人三立方尺割當として大貯水池を造られねばならず、千五百萬圓內至二千萬圓の巨大な費用を要することになるのだといふ（寫眞は完成近き大堰堤）

死刑廢止の理想 わが國で實現は何時？

花井博士の所論に共鳴者增加の折から 氣掛りな二死刑囚の再審申請

【東京特電十一日發】犯罪の極刑たる死刑廢止説はわが法曹界多年の懸案となつてをり、その廢止論者の筆頭は花井卓藏博士であるが司法當局がこれに耳を傾け理想として死刑廢止を認むるやうになつたのはつい最近のことである、わが國刑法の母體ともいふべきドイツ でも昨年邊から刑法改正委員長ベルリン大學教授カール氏の提唱によつて死刑廢止説が著るしく有力となつてをり、わが司法部內でもこれに刺戟されて花井博士の所論に共鳴するものが非常に增加して來た折柄、こゝに考へさせられる問題として昨今話題になつてゐるのは目下市ケ谷刑務所に收容中の二死刑囚に關することである、即ち木田少將

令孃殺

し犯人杉山巖太郎（三）長野縣淺間村果樹園番人殺し犯人宮城誠（三）が言ひ合せたやうに冤罪を訴へ大審院に對し繰返し繰返し再審を申立てゐる事件は相當死刑廢止が關心をもたれてゐる今日司法當局もむげに看過するわけにゆかず、殊に現行法では幾回も再審を請求することが出來るのでその措置に惱まされてゐる、右兩人は再審、抗告等矢繼ぎ早に申請してゐるが當局はこれを單なる死刑執行引延ばしとしてゐるものとみてゐるもの、萬一誤判の場合を

慮つて

慎重な態度を持してゐる由であるが、何れにしても死刑廢止の理想がわが刑法に實現するのは果していつのことか

都路會長ら辭職か

【東京十日發電通】昨夜半解決を告げた京都帝展搬入拒絶問題で六十三點は今朝鑑別場に搬入されたが責任を負ふて都路會長以下堀、粉谷、前田三理事も辭職する模樣である

滿洲から二名 帝展パス

洋畫入選發表

【東京十一日發電通】帝展第二部洋畫の入選は十一日發表されたが搬入總數四千三百八十五點に對し入選は二百六十點、そのうち油繪二百三十六點、水彩畫十四點、版畫十點で、昨年よりは十一點の減

南歐の古い村

幅田義之助

佐藤功

入選は六十六名の、なほ帝展洋畫に關係左の如しである女

日新街の火事

五戸を燒く

十一日午後八時五十分ころ市內日新街七番地支那飯店李嘉田方より發火し同家を全燒し續いて隣接家屋四戸を類燒し早速驅け付けた大連消防署の活動により同九時廿分鎭火した、小崗子署に於て原因取調中であるが炊事場から失火したものらしいと

タゴール翁 露國を稱讚

【ニユーヨーク十日發電通】昨年米國移民官の非禮な上陸拒絶に憤慨して米國及びカナダに於ける有閑哲學の講演旅行を爲し一問題を起した印度の詩聖タゴール翁は、九日露國からの歸途ブレーメン號でニユーヨークに到着した、翁はソウエート露國の新制度を口を極めて稱讃し次の如く語つた

露國が單に無智の勞働者の手に移つて了つたと見るのは大なる誤解である、芝居やオペラは再び盛んに活動し始めてゐる、露國の下層階級は始めてこれ等の藝術によつて彼等の生活を向上せしめる事が出來るやうになつた、インドと露國は十年前までは殆ど同じ水準にあつた、しかし露國はこの十年間に非常な速力で敎育を普及せしめる事が出來たら、これは大なる功績といはねばならぬ

無錢遊興常習

二人組擧げらる

市內沙河口仲町二番地渡邊壽人（三）同宿人佐久間銀次郎の兩名は無錢遊興常習者として花柳界の鼻つまみ者であるが、本月五日逢坂町音羽樓に登樓し十四圓七十錢を遊興、例の如く懷中無一文で仲居を附馬に連れ出して姿を晦ましたので大連署で搜査中、十一日兩名とも檢擧されたが菊水外數軒でも無一文で豪遊してゐると

鹿兒島實業學校

生徒三十名は本月十三日同地發、十六日入港のほんこん丸にて來連滿鮮を視察すると

九州竝中國地方及朝鮮風水害義損金精算報告

拜啓本夏九州竝中國地方及朝鮮風水害ニ際シ罹災窮民ノ救護費ノ一端ニ資スル爲メ義捐募集中ナリシ義捐金ノ成績左記ノ通ニ有之夫々被害地各縣知事及朝鮮總督府政務總監宛ニ送付シ寄附者各位ノ誠意ヲ相傳へ置候茲ニ精算報告旁々謝意ヲ表シ候　敬具

昭和五年十月十一日

發起人

大連市長　田中千吉

滿洲日報社長　高柳保太郎

大連新聞社長　寶性確成

區長　松田清三郎

同　小島鉦太郎

同　野村宗

長崎縣人會副會長　立石保福

福岡縣人會長　村井啓太郎

鹿兒島縣人會長　上村哲彌

熊本縣人會長　竹田菅雄

佐賀縣人會長　辻慶太郎

宮崎縣人會長　佐藤至誠

沖繩縣人會長　玉城喜四郎

大分縣人會長　小田賦

山口縣人會幹事　藤田秀助

義捐金精算

收入ノ部

一金六千九十五圓四十五錢

內譯

金六千七十二圓四十六錢　寄附金

金二十二圓九十九錢　預金利子

支出ノ部

一金六千九十五圓四十五錢

內譯

金六千七十圓　被害地へ送金

金武圓六拾錢　爲替及郵送料

金貳拾貳圓八拾五錢　廣告料

義捐金送金內譯左記ノ通

福岡縣　金貳千圓、鹿兒島縣　金壹千五拾圓、長崎縣　金壹千圓、沖繩縣　金五百圓、佐賀縣　金四百七拾圓、熊本縣　金參百五拾圓、山口縣　金貳百圓、宮崎縣　金壹百圓、大分縣　金壹百圓、朝鮮總督府　金參百圓

海の唄　「八〇」

仲木貞一作　林寛畫

闇を泳ぐ者（三）

それから幾日かゞ過ぎた。表面だけは華やかな、まるで、世の中のあらゆる苦惱を覊た、歡樂街の漫歩者を以て自任させてゐるやうな生活が續いた。

そして、エロチシズムの上塗りが、日毎夜毎に繰返された。

彼女たちは、誰もがもう、カツレツやビフテキに食傷を起した時のやうに、自分たちの生活を嘲笑した。

だが、かうした自嘲を喩の裏に押し隱して、いくらかのチツプの爲に、自分の理性の力を一時的な臟底に陷らせるのだ。荒みゆく人生――

苦惱だ。生活だ。生活の全部が社會苦だ。

失業時代が強る彼女たち陰慘な生活者の惱みだ。

だが、彼女たちの過去の生活の反映は、常に、彼女たちを、反感と懊惱と呪咀の世界に彷徨ませ、そして、憤懣の破綻からくる殺人的し不道徳への叫びが昂じて、彼女たちは運命に彷徨し、人生を享樂しやうとする。そこに自棄の世界が待つてゐた。

だが、京子の玉のやうな心にはまた、男性に對する復讐といふことより外には、何物も芽生えはしなかつた。

復讐！自棄……彼女たちの辿るべきプロセスだ。京子は、そのプロセスのワンステツプを踏み出したのみだ。

或る運たちの巧な言葉にも、いつも京子は理性の鋭いメスを加へることを忘れはしなかつた。

京子はいつか女學生時代に讀んだ小説の中に――復讐……それは堪らない苦みに血を注ぐこと、すぐ堪らない喜びに變る――と書いてあつたことを思ひ出すことが、しばしばだつた。

然し、女であるといふ悲しさは、結婚に對しても血を注ぐことによつて、自分の憤懣の破綻を償ふだけの勇氣を持つことが出來なかつた。

この悲惑が、今、京子をしてダルヂヤンに籠城させたわけである。

彼女は、零時の後の遣る瀨なさから、いつも斯う考へさせられた。

そして、生活の反映から自分の前途を福と決定して、或る暗いもので片附けられるやうな氣持ちがして堪まらなかつた。

×　×　×

或る晩、京子はマスターから呼び出された。

何だか自分のサービスの不行屆きからではないかと思ふと、ゾツとするやうな恐怖を感じた。

然し彼女の恐怖は、忽ち憧憬へと變つて行つた。

といふのは、もう、京子のサービスがマスターの認めるところとなつたので、メンバーへ加へるといふのである。

京子は、かねがねこのダルヂヤンのメンバーのことは仲間から聞いて知つてはゐたものゝ、今更の如く、何か大切なものを傷けたやうな憧憬めいた感情に支配された。

そして、やはり早く、こんな生活から逃れなければならないと思つた。

然しマスターの親切な口吻に、或る義理堅いものを感じてゐた京子は、それをノーといふ言葉だけで、一蹴するわけにはいかなくなつてゐた。

また、或る時は、このメンバー組織の暗黒さを仲間から聞いた時さうした暗い世界に浸りぬいて、あらゆる異性を懺殺してやりたい氣持ちになりたいわけでもなかつたから。また、或時は、嘗て女學生時代にスクリーンに見た妖婦を想像して、密かに全身を震はしたりした。

「明日まで考へさして下さい」

と云つて、マスターと別れるとまた二階へ上つてしまつた。

そして、京子は再び現在の自分の生活をふり返つた。決心が呆然さ心の澱みで旋渦し始める。

「一體、どうしたらいゝんだらう？」

五分の後、彼女は、その卓子にうつ伏たまゝ啜り泣いてゐた。

「おや、京子さん？どうしたんだね？」

背後からかう呼びかけられた。ふと、ふり返つて見ると、眞野だ。

「あら？」

京子は頓狂な聲で眞野を見上げた。

滿日柳壇募集

題　「留守」「羽織」「叫び」

締　十月十五日着便

句　各題五句（必ず別紙）

宛　大連市能登町十高橋月南

新刊紹介

▲滿洲土木建築業協會報（第廿三年第五號）大連市に於ける建築情勢（協會調査部）滿洲各地における勞働者の分布（同上）工事並に請負に關する座談會、其他（大連山縣通其會）

▲文藝倶樂部（十一月號）當世觀子出世鑑（十名家）尺八死門蝶（川田紋彌）白蝙蝠（江戸川亂歩）旗本退屈男（佐々木味津三）海賊太陽記（細谷茂傳次）鼠小僧十六むさし（川村花菱）其他肩の凝らない秋の讀物で充たされてゐる（五十錢、東京博文館）

▲講談倶樂部（十一月號）人氣俳優家庭のぞき（人氣俳優十氏）高田屋嘉兵衛（中村吉藏）神さ人さの間（福間秩行）旭に輝く金冠奇縁錄（江見水蔭）鍋の花嫁（佐藤紅綠）郡一番風流男（本田美禪）負けない男（佐々木邦）火の鳥加藤武雄）傷ける人魚（近藤經一）其他好讀物を以て充たされてゐる（五十錢、東京大日本雄辯會講談社）

▲富士（十一月號）あゝ祖國よ父母よ（伊東研實）歐亞の空を飛びて（吉原清治）アリゾナの同胞（山室軍平）變裝の女探偵（甲賀三郎）愛炎の彼方へ（近藤經一）炎を踏む女（三上於菟吉）總軍政二郎（吉川英治）勝田新左衛門（小島健堂）其他（五十錢、東京大日本雄辯會講談社）

▲農民（十月號）暴露記事巡査の裏面（木村信吉）小校教育と農民（中村時以）其他（十錢、東京府下千歳村全國農民藝術聯盟）

▲上海週報（九月二十八日號）廿錢、上海四川路永安里其社

▲電氣の友（十月號）四十五錢、東京京橋其社

▲綜合ジヤーナリズム講座（第一卷）ジヤーナリズムの勃興は近代資本主義の躍進過程と其の軌を一にしてゐる、されば第三期的資本主義發展段階に於けるジヤーナリズムは其歴史の必然的發展階梯の第三期的現象にあると謂ひ得る、殊に現代はジヤーナリズムの爛熟期である、從來ジヤーナリズムの理論及びその歴史的社會學的な觀點、或はその經濟機構の研究等汗牛充棟的にジヤーナリズムを研究した書籍が出版されてジヤーナリズム全盛時代に於けるジヤーナリズム機構研究時代が出現した、この綜合ジヤーナリズム講座も亦この時代風潮に乘じて出版せられたものであるが從來ありきたりの部分的研究から離脱してゐる、執筆者も新聞ジヤーナリズム各篇に於ける現代操觚界の一流、出版ジヤーナリズム篇に於ける出版界の雄を網羅した外特別講座、内外ヂヤーナル等の特別記事に於てもそれぞれ執筆者の一家言を聽く事が出來る、ジヤーナリズムの本體及びその各機構に於いてジヤーナリステツクな智識を求める人々にとつて良き伴侶たる講座であらう（豫約本、東京京橋桶町内外社）

▲中央佛教（十月號）無産階級に對する宗教家の使命（菅頭言）經濟不安と精神生活（神木陽津）不景氣に處する佛教的對策（谷本富）マルクス主義に降伏せる宗教（寺田彌吉）覺王山問題に對する意見（九家）其他（廿五錢、東京牛込矢來町其社）

▲旗（十月號）俳句の形式と特殊性の問題（栗林一石路）プロ俳句に就いての一考察（橋本夢道）其他（廿五錢、東京本鄕區平町其社）

滿日俳壇募集規定

次回課題「秋の野」「鷹」「鶺」

▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙に認むる事締切十月十五日▲原稿に住所姓名明記▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿洲日報
夕刊
十一月十二日

大勢に影響する改正は望み難し

樞密院の事務規定

【東京特電十一日發】樞府の事務規定改正に關する十日樞府の協議會は大體意見の一致をみたので之れを十五日の常例樞府本會議散會後全顧問官に提示して賛成を求める　その

賛成を得

るにおいてはこれを倉富議長に進言してその實現を圖る筈であるが、顧問官中にはこの改正に快よからず思つて相當反對してゐる向があり、果してこれが全會一致議決されるや否や疑問とされてゐる、また假に全會一致これを議決したとしても顧問官からこれを議長に強要する權能なく、單に議長に參考として送附するのみであり議長がこれを採用するか否かは議長の一存にあるのであるから全會一致これを議決したとしても議長がこれを採用しなければそれ迄である、まして顧問官の中に幾人かの反對者があるとすれば議長はその採用につき愼重の態度を持して容易に首肯しないのであらう、しかし大勢に影響なき事務規定の改正若しくは慣行の變更ならば議長もこれを受け入れ又政府としても交渉の手續きを執るであらう、從つて今回の改正もこの大勢に

影響なき

ものならば兎も角然らざる限りその實現は困難と見られてゐるからその實現するのは結局

一、御諮詢案下渡しと同時に全顧問官に對し案の配布をなすこと
二、審査委員會に委員外顧問官も出席し得ること

の二項目位のものであつて御諮詢案下渡し後第一讀會を開くの件は顧問官中に反對者あつてその實現は困難のやうに觀られてゐる

岡田案は骨拔き

内規改正の程度に止まらん

【東京十一日發電通】十日の樞府事務規定改革に關する有志顧問官協議會にては御諮詢案御下附直後第一讀會を開くべしとする說を中心に論議され大體右第一讀會は議案の性質により開く事としこれが決定は議長においてなすとの條件を附せらるゝ事となつたがこれによると必ず第一讀會を開くべしとの改訂せんとする岡田顧問官の案は全く骨拔きとされる譯で何等の改革を見ざるに等しくなり早くも今回の改革問題は龍頭蛇尾となりさうな形勢となつたので樞府一部では

藤澤議長の閣僚招待
政務多忙のため延期となつてゐた藤澤樞密院議長の濱口首相以下各閣僚招待會は七日午後六時より麴町霞ケ關議長官舍に於て開かれた【寫眞右より、安保海相、松田拓相、渡邊法相、江木鐵相、町田農相、藤澤議長、小山副議長】

失業救濟のため結局公債募集か

長官會議に於ける首相、藏相の暗示

【東京特電十一日發】現内閣金解禁の一たる非募債策は飽迄も不變更か、それとも大勢に鑑みて多少緩和するか時節柄各方面の注目を惹いてゐるが、これに關して井上藏相は十日の地方長官會議に於て左の如く言及してゐる

或は現下の不況對策として政府は自から大いに公債を募集し盛んに事業を起すべしとの論もありますが、その結果は通貨の膨脹、物資の騰貴を來し輸入増加は超過し金解禁後の財界の善後措置と逆行することゝなるのでありまして斯る方法を採ることは出來ぬと考へます

この言明は一見如何にも從來の非募債方針を固持繼續するように思はれるが、これは所謂政策轉換といふ意味での公債増發を否定したもので、最近問題となつてゐる失業公債發行如何はこの言明に含まれてゐないものと見られてゐる、それは藏相が日頃「失業問題だけは別だ」といつてゐる事項に徴しても明かだ」と謂はれてゐる、また當日の濱口總理の演說中にも失業問題に關して「今後の情勢によつては更に適當の施設をなし以てその急に應ずるの用意も怠らない考へであります」と述べ地方起債緩和以上にこれが對策あることを暗示してゐる、斯の如く政府の意向としては必ずしも失業對策のための非募債方針緩和はこれを否定してゐないのみならず、經濟界一般の客觀的情勢と財政上の實情とは恐らく明年度一般會計豫算に於て公債募集を餘儀なくされるであらうと見られるに至つた、而して右起債はこの場合一般市場よりの公募を見合せ預金部に於て全額引受けさせるものと豫想されてゐるが何れにしても斯る方法により若し從來の所謂非募債方針を放棄される場合は果して如何なる影響を及ぼすかといふ重大問題のほかに實質的影響は殆どないものとされてゐる

租税不納同盟

敎員減俸問題に絡んで

【高田十日發電通】新潟縣中頸城郡菅原村では村費の七割を占むる敎員俸給費を減額せんと敎員側と紛擾を重ねてゐるが、米價慘落の今日租税の納入にも困つてゐる村民は十日遂に租税不納同盟を組織する一方兒童を同盟休校せしめ、敎員側に對抗する申合せ全村結束立つてゐる

走馬燈

栗村生

北力と南力

支那では古來、漢民族の文化を中心として中華と誇り、四方の蠻族を東夷、南蠻、北狄、西戎など〻稱した。そして少しでも文化の優れた中華人は、これらの蠻族から慘々に虐められたものである。萬里の長城などいふ遺跡が何よりの證據、そして支那、五千年の史實は、つれに南風きそはず、北方から中原の攪亂せられたる一頁ではなかつた

◇

支那の天子は南面して施政し來つたことは文献の示す通りである。蘇州などの必ず北斗を背にして建てられ、山左、山右などいふも泰山に登臨し南面した場合の名稱に外ならぬ。これ取も直さず、北力が常に南力を抑壓し來つたことが如實に物語るものさいふべきであらう。

◇

年來の原則が根柢から破壞し去られたかの觀をなすのである。それは外でもない、現に孫文は廣東から起つて、とにかく滿洲興漢に成功したのである。蔣介石は黃埔の軍官學校から北伐軍を擁して湖南に入り、つひに長江沿岸にまで出て、而して更に北進し、北京を北平と改め、南京に國都を奠むるまでに至つたさいふ事實は、國民革命以上の史實革命さいはねばならぬ。

◇

今度の戰爭にても、張學良の西北軍に氣勢あがらず、閻錫山の山西軍はペチャンコにれつたな

間島在住邦人徹底的保護策樹立

總督府の態度強硬

【間島特電十一日發】龍井の治安は朝鮮から派遣された應援警官隊によつて維持されてゐるが第二次應援隊百名は今なほ上三峰にあつて間島に入る模様なく、また龍井にある應援隊も龍井外に一歩も出る模様がない、斯くては間島在住の我同胞は依然共產黨の跳梁と支那官憲の壓迫より救はれない、ため間島内鮮人民會より外務省その他政府要路に陳情の電報を發した、一方朝鮮總督府としては間島在住鮮人に對する徹底的保護策を樹つるはこの機會にありとし態度頗る強硬と見られる節あり尚外務課長は九日夜突然來龍し目下總領事館と協議中である、なほ支那側も事態を頗る重大視して吉林軍隊の出動說その他各地の軍隊動員說等種々の流說が流布されて人心動搖してゐる

米價調節の具體的方策考慮

けふ地方長官會議における町田農相の訓示要旨

【東京十一日發電通】地方長官會議第二日（農林省所管）は十一日午前九時より首相官邸に開會、町田農相より左の要項の訓示あり次いで指示事項に關し質問應答を重ねた

米穀に關する根本的制度の確立を期するため昨年政府は米穀調査會を設けその研究を進めつゝあり、而して最近同調査會より答申ありたる米穀法發動に關し必要なる米價基準の設定については目下農林省當局において立案中のところ今回その成案を得たるを以て近日調査會を開き審議することゝなれり、次に本年における内地米の收穫高は第一回豫想によれば六千六百八十餘萬石に上り同豫想によれば千九百萬石に達し且つ鮮米の收穫高も同じく一回豫想によれば空前の大豐作を豫想せられ米價は低落しつゝあるが、なほこの趨勢にして持續せんか直に農家經濟のみならず廣く產業界經濟界全般に

豫算原案の内示

來る廿五日頃の豫定

【東京十一日發電通】大藏省主計局における明年度豫算編成準備は其の後追加要求膨脹し歲入見積りもまだ決定を見ぬものがあつて整理がつかぬので到底豫定の十三日より大藏省議にかける見込がなく一日延期し十四日より豫算省議を開くこと〻なつた、而して歲入減收、經費節約、新規要求處置、海軍補充計畫と減稅の配分問題もあり、豫算省議は十日以上に亙るべく從つて各省へ豫算原案を内示するは二十五日以後となるであらうと見られてゐる

激增する學齡兒童

明年度の新入兒童は約二萬名

霞町に一學校を新設

大連市内における學齡兒童は每年超スピードで增加して行くが昭和六年度も小學校において三十學級千六十名の激增を見越し公學堂においては九學級、五百四十名の增加を豫想し民政署では六年度の豫算を編成した、小學校の學級增加別は

伏見臺二、朝日三、日本橋一、常盤一、大廣場二、春日二、南山麓二、嶺前二、沙河口一、大正三、聖德一、早苗高等五（補習科を設置の計畫で）下藤四で五年度の生徒數が一萬二千六百六十八名、六年度の生徒數豫想が一萬四千三名、公學堂の學級增加別は

土佐町二、伏見臺二、秋月五で五年度の生徒數が四千六百名、六年度の生徒數豫想が五千百四十名である、なほ各小學校の學級增加は何れも苦しい遣り繰で是非とも新校開設の必要に迫られてゐるので六年度では霞町に一校を新設すべく豫算に計上したが開校は昭和七年の見込みである

公立學校に主事設置

學生監を廢し

【東京十日發電通】文部省では公立大學の學生監を學生主事に改め新に學生主事補を加へ公立の專門學校、實業專門學校及び公立高等學校に生徒主事並に生徒主事補を置く事となり十一日これに關する改正勅令を公布する事となつた

國勢調査の統計約二ケ年で完成

六十名の臨時雇採用

去る一日全滿洲一齊に施行された關東廳の第二回國勢調査の結果については本月末迄に各地調査委員の手によつて整理されたる申告書を全部本廳に取集める筈で、目下文書課からは高野、水町、藤井の統計係三屬が沿線に出張取纏め中であるが、かくて申告書の蒐集終了すれば國勢調査係において十一月一ぱいの豫定で該申告書を一々檢查して人口統計を取り先づ同月末には早くも在滿日支人口の概數が發表さるゝ筈である、而して更にその後は愈々國勢調査の本格的目的させる年齡、配遇、職業その他各種別の計數を得る計算に取りかゝるので關東廳ではこれがために男女約六十人の臨時雇その他を雇入れ同時に廳內現任官食堂の廣間を國勢調査室に充てるのであるが、その計算順序は先づ蒐集されたる申告書（檢查濟みの）につき夫々一個人別のカードに記入し更にこれを反覆して各種別の集計を探るさいふ區分計算を要する譯であるが、いよいよその結果が判明するのは今後約二ケ年を要す

齒科醫學會總會

伯林大學デ教授講演

南滿齒科醫學會では來る十七日の第十五回總會を大連醫院講堂において開催するが當日內外斯學界約百餘名出席する外、特に來滿して齒科醫學界の世界的權威者たるベルリン大學教授ディーク博士及び東京高等齒科醫學校長島峰博士等來會し特別講演をなす、なほ當日功勞者に賞品授與があつて各十五分間の學術講演を行はれるが、特別講演題目は左の如くである

▲顎未定島峰徹氏▲誤信し易きレントゲン寫眞に就てディーク氏▲口腔さ皮膚科的疾患柳原英

關東廳で使傭の華工の賃銀引下

年額二萬圓の節約

關東廳財務課ではかれて銀相場の下落と歲費節約の主旨から同廳課廳各官衙卽ち本廳土木課を筆頭に同出張所、遞信局、民政署、電氣水道等の諸事業の勞働に使役せる華人現業員の賃銀引下げ方を考慮中であつたが、當分現狀の低相場を免れぬ銀相場さ同廳諸歲入の激減は今回愈々財務當局の斷乎たる決意を促す所さなり同財務部では十日午後一時から廳內第二廳接室において課長會議を開催の上財務部より右の如き理由にて本月より直に同使用華工中の高給者（一日五十錢以上）の賃銀引下げを行ひたき旨を提案して愼重協議する所があつた、而して右引下げ率は大體において現賃金を銀相場に換算して適當とされる程度とし最低五分から最高は三割に及ぶ者もあるが右の如く華工現業員の勞銀低下の曉は同廳では年額約二萬圓の歲出節減を圖り得るであらうさ

滿鐵事業費豫算

廿日頃迄に査定完了

滿鐵昭和六年度豫算決定の重役會議第一日は十日午後一時卅分より開かれ同六時散會したが、鐵道部事業費豫算の三分通りまでは審議を終り極めて順調に進んでゐるもの〻やうである、從つて經費三百萬圓を計上する大連驛の新築豫算も近日中に議題に上ることさなるが鐵道部豫算終了後は多分炭礦部豫算に移るべく事業費豫算の審議は廿日前後に終了するものさ見られてゐる、因に本重役會議は休日を除き連日午後一時半より開かれる筈

連絡會議の内鮮代表

十二日夜來連

滿鐵主催の第九回日滿聯絡會議は愈々來る十九日から本會議を大連ヤマトホテル大廣間、委員會會議を社員俱樂部さして開催に決定したが鐵道省の代表出席者遞輸局國際課長田誠、東京鐵道局副參事官加藤錠三郎、遞輸局國際課旅客課事務官三輪眞吉、同國際課員松井庫次、鮮鐵局調查課長德明後の五氏朝鮮鐵道局代表營業課員福田登氏の一行六名は十二日卅時三十分着列車で着連することになつたが出來上る豫定である

滿鐵の定期昇給

二十日前後に發表

滿鐵の定期昇給は緊縮の折柄或は減ぜられはせぬかと見られてゐたが例年同樣目下總務部で査定中にて二十日前後に十月一日附で各社員へ通知されることにならうと雇員、傭員の昇給は十六日附であるが全社員昇給額は二十萬圓見當の模様である

滿鐵學務課長

社員から拔擢

滿鐵地方部學務課長は現に鞍野地方課長が兼務をしてゐるが近く適任を決定する筈である、新學務課長は大森部長が內地から適當な人材を選んで捕へるだらうと想像されてゐたがやはり社員から拔擢することに決めてゐる由にてこれが人選は山西次長に一任してゐる模様である

滿鐵社員の昇格銓衡

滿鐵では昨年四月傭職員で採用した專門學校以上の學校卒業者で技術方面のものゝ職位登を有資格者七十八名（內入營中のもの十五名）に對し目下登格者の銓衡中であるが從來登格者は十月一日附職員の任命發表されたが本年は職制改正その他の事情で有資格者の銓衡

奉軍、第三軍の編成に着手

軍長には胡毓坤氏

【奉天特電十一日發】軍政廳長張學良氏は更に右完了後第四軍をも編成し軍長に滿玉麟氏を任命することになつてゐる

張宗昌氏近く山東に出動

奉天軍の一部を率ゐ

【奉天特電十一日發】張學良氏の斡旋で南京政府は近く別府に在る張宗昌氏の逮捕令を取消すことになつたが、張氏は今後奉天軍の一部を引受けて山東で活躍すべく先づ天津に向ふさ

定州各機關奉天派が接收

【北京十日發電通】于學忠氏の談によれば第一軍第六旅は今朝七時定州の全機關を接收し山西軍は石家莊方面に撤退した、今後張學良氏の電命ある迄は定州北南に進出せず石家莊接收も命令ある迄實行せぬ事に決した

反蔣派の重要善後會議

【北京特電十一日發】汪兆銘、閻錫山氏は目下石家莊西大飯店において重要會議を開いてゐるが撫作に在る馮玉祥氏と近く地を擇んで會見することに決定した、西北軍から中央軍に投降した部隊は吉鴻昌、張印湘、梁冠英、張治中、葛雲龍、張維璽氏らでこれ等は河南の土着派であるから馮玉祥氏の嫡系軍隊には何等の拔失はない、而もこれ等の部隊は馮玉祥氏の諒解を得た後投降したらしいので今後の馮玉祥軍は何れへ行くかゞ最も注目されてゐる、奉天軍の先鋒は定州に在り山西軍さ對峙してゐるが山西軍は殆ど問題にならないさ見られてゐる一方中央軍は何成濬氏さなりて洛陽の宋哲元軍を追擊し劉峙氏は京漢線から北上なつゝけ鄭州及汜水一帶の残兵を掃蕩してゐる

地方長官招待晩餐會

【東京十一日發電通】濱口首相は十日午後六時半より首相官邸に地方長官會議列席者一同を招待して晩餐會を催し首相より一場の挨拶あり午後八時過ぎ散會した

重光代理公使歸滬

【南京十日發電通】重光代理公使一行は今夜王正廷氏の晚餐會に臨み十一時發上海に引揚げるが十四日永井外務次官と共に來京し二十日譚延闓氏の國葬に日本政府代表として參加する豫定である

永井外務次官十四日南京へ

【上海十日發電通】支那視察の永井外務次官一行は本日午後二時二十分上海丸で當地に入港した

大森理事は豫算會議後巡視

滿鐵地方部長大森理事は豫算會議終了次第沿線を巡視するが鐵嶺その他撫順にも視察の豫定
北京から滿洲を旅行する豫定で十四日南京に行き蔣介石氏と會見の筈

菱刈軍司令官動靜

【門司特電十一日發】朝鮮における師團對抗演習參觀のため出張中の菱刈關東軍司令官は十三日歸任の豫定の處一日を繰延べ十四日（時刻には變更なし）歸着に變更された

辭令

【東京十一日發電通】
關東廳醫院醫官兼技師　大槻滿次郎
同上　大津　脩
關東廳中學校長兼敎諭　西內精四郎
免兼官（各通）

うらる丸の船客

【門司特電十一日發】十三日大連入港豫定のうらる丸の主なる船客
末松清一郎、北西位佐久、片桐久郎、坂本政五郎、一ノ宮銀生、見市廣吉、榮喜代二、小濱八彌、杉浦周治、河原林順治郎、根津清太郎、野田健太郎、岡田文雄、山田英吉、木村專一、林部與吉、梅田潔、高田英夫

人事

▲金子克己氏（長崎東洋新聞社長）十日來連ナニワホテル投宿中

大觀小觀

問題の樞府改革、勅命に觸れず大勢に影響を及ぼさぬ、內規の改訂に過ぎぬとあつては、大騷ぎするほどのことはない。

◇

野球を熱狂さ見るべきか、否かで、警察當局は研究中。スポーツの眞目的を涅却する勿れ。

◇

出初期の貿易振はず、またく經濟努力が足らぬと見える。

◇

ストーブ展覽會開く、冬近きを思ふ。

天氣豫報

十二日（西の風）晴れ

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	一一・八	一八・九
旅順	一四・二	一七・三
營口	一〇・二	一七・〇
奉天	一〇・三	一四・六
長春	一〇・五	一五・〇
滿洲	九・六	一五・三

故後藤新平さんを語る(B)

計畫は遠大だつたが 實行に際し愼重

滿鐵總裁としての後藤さんは 本當に親しみある人でした

貝瀨謹吾氏談

◆…私なぞは そのたびく伯に接したわけでもなく、しかも伯は在任一年數ケ月の短時日であつたので面白い感想談も出來ませんが、大風呂敷の本尊のやうに言はれた遠大な計畫を立てるうちにも實行に際しては實に愼重な態度を執られる人であることを痛感させられました、當時滿鐵が行ふべき二大事業は當時日本軍が改造した狹軌式を現在の廣軌式に改造し大連、蘇家屯間を復線にすることでしたが、伯は各國とも材料拂底の當時にこの難事業を見事に仕遂げられた、恰度その計畫の進んでゐるころでした、私が定時間に出社すると既に總裁は出社されてをり給仕が私を呼びに來ました、用事なれば理事課長が居るだらうし私のやうな下役に何だらうと伺つて見ると、總裁は今度の鐵道の擴張計畫についての材料とか、設計とか工程等等について數字的に實に細い周到な質問があり、私はそれに答へられることは答へ、また私の係以外のことは誰々に聞いて下さいと答へましたが、かうした話しは總裁のその性格を良く現はしてゐると思ひます。

◆…それから 總裁の標榜されてゐたことは大家族主義といふことでした、滿鐵は理事から下級社員まで心を協せて家族的に仲良く働くといふことを目標とし總裁は先づ着任匆々そのことを高唱されました、八時出勤勵行についても一つの話があります、先年山本總裁時代にロシヤからの歸途伯が大連滿鐵に立より社員に一場の話がありましたが、その時總裁は「私達の時代は理事に任命されたものは一々明治天皇陛下に拜謁を賜り、優渥なる御言葉を賜つて勇ましく滿洲に赴任して來たもので上下一致非常な馬力だつた、今の社員は當時の社員に比べて少し怠け癖がついてゐるやうだ」と話されたが、實際八時出勤勵行主義で當時は馬力をかけたものでした、勿論當時赴任して來た人達も皆單身で年も若くもありましたがね。

◆…サテその 時演說後に當時の松岡副總裁が後藤伯は永久の滿鐵總裁であるとして「後藤滿鐵總裁萬歲」と唱へましたが實際後藤伯といつた言葉を私が聞く時でも私には內務大臣としての伯、世界的外交家としての伯といつたことよりもどうしても總裁後藤伯としての感じがすぐと頭に來ます。本當に伯はそれ程親しみのある人でした。

明治神宮 鎭座十年祭の記念切手とスタンプ

來る十一月一日から 滿洲は卅六ヶ局で賣出す

◇…來る十一月三日擧行される明治神宮鎭座十年祭記念のため當地遞信局では內地同樣記念切手賣出しのほか記念日付印を使用する豫定で目下その準備中であるが、記念切手は一錢五厘、三錢の二種でその圖案は中央に神宮御本殿左右に內陣御扉子模樣の一部を表したもので十一月一日から發賣される見込みである

◇…特殊日付印は中央圓內に神宮正面南神門を表し參道を飾る燈籠および御神室模樣の一部を配し明治神宮鎭座十年祭を記念し奉つたものであるが、これは滿洲內三十六個の主要局で十一月一日より三日まで三日間使用しなほその後三日間は記念消印のみの需用に應ずる豫定である(寫眞は記念スタンプと切手)

「巨人征服」配給權と興行權確認 損害賠償の請求

いよく大連地方法院に提出 成行一般に注目さる

支那、滿洲及び關東州における映畫の配給並に興行權は日支何れの當業者に確認されるかといふので その成行を注目されてゐた過般常盤座で上映のパテー會社製作映畫「巨人征服」に絡る紛爭は遂に民事訴訟となつて法廷に於て爭ふこととなつた

原告は 上海四川路百十八番地パテー・オリアン代理人イー・ラバンサクト及びジー・クレチアンの兩氏で寺島辯護士を代理に、常盤座々主小泉友男、市內紀伊町四四番地守永勇兩氏を相手取り映畫配給權並に興行權確認及損害賠償として六百圓を支拂へといふ訴求を十一日大連地方法院民事部に提出した、原告側の言ひ分は映畫「巨人征服」は被告守永が五月九日日本より買入れ、被告小泉に配給したものであるが、右映畫の支那、關東州及び滿洲に於ける配給並興行權は原告が製作會社たるニューヨーク市パテーエキスチエンジ・インコポレーションより昭和三年六月十三日から昭和六年十月十六日まで買取つてその權利を確保してゐるものであつて

被告等 の行爲は明かに權利の侵害である、依つてこれが權利の確認と被告等の行爲によつて蒙つた七日間の右映畫貸借料三百圓の損害と七日間の利益三百圓を支拂へといふにある、而してこれが判決の結果は從來屢々日支映畫業者間に紛爭を釀す外國映畫の配給及び興行權が日支何れかの當業者に確認される重大な問題だけに一般の注目を惹いてゐる

海難見逃の沙河丸

入港と共に嚴重取調べ

關東州廳監督船大連沙河汽船所有沙河丸(當時船長桑名芳夫氏)が去る九月十一日海南海峽においてトロール船伊吹丸(二二〇噸)が海難事故に瀕し救助を求めてゐたのを見殺しにしたといふかどで船長に對して毆然罰辨の火の手が揚つたことは既報の如くで、所轄官廳たる海務局でも同事實に對して電報又は書面をもつて事情詳細調査中であつたが、右につき木村理事は語る

大分下級船員がやかましく云つてゐる樣だがこの問題は難しい問題で技術上のものでなく人道上の問題であるから結果が甚だ思はしくない、もし電報が報ずる事が事實とすれば海員懲戒法の一條の第五項卽ち「海難にかかりたる船舶ある事を認め正當の理由なくして其の船舶又は船客乘組員を救助するの方法をつくさゞる時は同法を適用するとある」ものに相當し船長は積荷ボートが浸水してゐたので降せなかつたなんて事を云つてゐる樣であるがもし事實としたら船長としてこんな事を口にすべきものでないと思ふ、何れ明日か明後日入港するが直ちに出頭を命じ嚴重取調べの手筈が進んでゐる

運動で賑ふ あすの日曜

戶外スポーツも漸く終らんとして居るが十二日の日曜日には各所で種々なスポーツの試合がある、卽ち大連運動場では午前九時から大連市役所主催の大連體育ボール大會があり、午後四時半からは同所で今碇泊中のカンバーランド號對全大連日本人チームとの蹴球戰がある前者は三十六チームといふ多數の參加チームで、大連運動場フイールドに十二面のコートを作つて行ふと云ふ素晴らしい盛況、後者は英國艦隊中の最强チームですでに大連の華人チームを總舐めにしてゐる好成績、これに對する全大連チームは十九日の日支對抗競技にそなへる好機會として全力を盡して戰ふべく好試合が期待されて居る、そのほか工專運動場に於て午後二時から大連俱樂部對工專のラ式蹴球戰があり、午後二時から中央公園滿鐵コートに於てこれまた英國巡洋艦カンバーランド號乘組將校對滿鐵硬球部との對抗試合がある

秋の千山探勝會

ビユーローが

ジヤパン・ツーリストビユーロー大連支部では滿鐵旅客課の後援を得て來る十七日の神嘗祭を利用して千山探勝旅行を催すことになり目下團員募集中であるがその要項左の如し

◆日程 大連發十六日二十二時、十七日七時十分大孤山着、同日十七時三十二分湯崗子着、十八日七時大連着解散

◆探勝順路 大孤山—青雲觀—普庵觀—五佛頂—洞天一品—龍泉寺—無量觀—(晝食)上石橋子—大孤山(行程五里半)

◆募集人員 一般百五十名、滿鐵社員二百名

◆會費 一般六圓半(小兒四圓十錢)滿鐵社員一圓七十錢、締切十五日限り、詳細はビユーロー(滿鐵側は旅客課弘報係)へ照會の事

電車脫線

線路に石塊 犯人を嚴探中

十日午後十一時四十五分黑石礁發終電車が水源池停留所に向け星ケ浦遊園地正門前停留所附近に差掛つた際、線路上に目方約二貫匁の石二箇がレール上に置かれてあるを知らず乘掛け脫線したが乘客車體共に被害はなかつた、沙河口署では現狀の模樣より推して何物かゞ電車脫線の目的で障碍物を並べたものと睨み目下極力搜査中である

輕氣球から十哩四方に擴聲器で廣告放送

東京、大阪兩市に豪勢な願ひ出 お役人もアツと驚く

【東京特電十一日發】文化は空を目指す、都會は愈々立體化してゆく、最近警視廳に出願された日本空中宣傳會社の計畫の如きはさすがの警視廳當局もアツと驚かした廣告方法の尖端をゆくものである、この計畫は芝浦埋立地の上空

六百米 に輕氣球を揚げこれに感度の强い五箇乃至八箇のスピーカーを裝置して一般からの廣告を擴聲器を通じて放送しやうといふのである、小輕氣球は海軍練習用、浮揚力一噸、長さ四メートル、直徑八メートルのもので、この放送は十哩四方に聞こえ、東京全市はもちろん橫濱、まで宣傳範圍に入つてゐるといふから素晴らしいものである、しかしてこれに使用するラウドスピーカーはドイツのシーメンス會社製で、三ケ月前シーメンス・シテーの

上空で 實驗した成績によると約十五哩を隔てたベルリン全市に聞えたといはれてゐる、この廣告放送は午前七時前後に一時間、正午過ぎに一時間程、夕方より夜にかけて三時間ほどする豫定であるが、廣告申込者の多少によつてはこれを伸縮自在にするが廣告の間には緊急を要する警視廳の公示事項なども放送するといふのだ、既に機械はシーメンス會社へ注文濟みで許可あり次第着手の豫定であるが、この廣告放送の計畫は警視廳と

同時に 大阪府警察部にも出願されてゐる、大阪では淀川尻に浮揚し、大阪、神戶、京都の三大都市に聞えるようにする計畫であると

煖房展覽會

けふから蓋開け 素晴しい賑ひを呈す

恒例によつて今年も今十一日午前九時から本社舊館前大廣場に開催された第七回煖房展覽會は冬仕度の第一準備にと煖房器具を選擇する人々の來場に賑はつた、山縣通りから東公園町通りに拔ける舊館前の大通りには出品者各商店の立て廻らした大旗、幟幕が賑かな秋風に靡き、會場一帶もまた五彩の色彩に扮飾された

店飾り 林立する煙突が凄くも立並ぶ壯觀さですつかり人を驚かしてゐる、內地製、滿洲製を併せて見本ストーヴ約百三十一點、出品店數二十六軒、いづれも一九三〇年から一九三一年へかけての冬に必要なア・ラ・モードの煖房器具で、瓦斯、電氣、石炭等ありとあらゆる燃料により、各家庭の樣式に從つて自由に選擇出來る暖房が並べられてゐる、土曜日の所以もあつて新婚早々らしい若い勤め人や、家庭慣れた人々が子供連れの奧さんに突つてあれやこれやと

胸算用 して眈々な選擇眼を光らせてゐる、一方各出品者が設けた喫茶店ではストーヴで作つたおしるこで觀客を呼んでゐるのも煖房展に適はしい一情景だ、明日の日曜は家族連れの觀客で素晴らしい賑ひを見せるだらう【寫眞はストーヴ展の賑ひ】

父親を傷け妻を慘殺

熊本縣の慘劇

【熊本十日發電通】熊本縣飽託郡龍田村上龍田高瀨稅務署勤務島村武雄(三〇)は最近神經衰弱で療養中十日午後六時ごろ妻操と子供の泣いた事から喧嘩を始めたので實父龍藏が止めたところ、鍬を揮つて龍藏を亂打し瀕死の重傷を負はせ更に操(三)を亂打して慘殺し母の死骸に縋つて泣き叫ぶ四人の子供等を見てゲラく笑つてゐるのを高瀨署員が逮捕した、龍藏は七十三の高齡で生命覺束ない

無錢遊興で突出す

市內惠比須町智光院止宿中のネクタイ行商人川崎武男(二□)同野村安之助(二□)の兩名は十日午後九時ごろ市內沙河口西町料理店金之家に登樓し自分達は土木請負技師だと稱して大法螺を吹いて遊興中、無錢飲食者であることが發覺し沙河口署へ突き出された

「評判講談全集」

滿天下の熱望に伴つて豫約募集を開始した同全集は發表早々申込殺到の盛況でどこの書店でも驚いてゐる。

[illegible]したものである

久留米の大火

七十戶燒失す

【久留米十一日發電通】久留米市の繁華街たる新天地の西通りと田中通りの中央豐岡絞店から十一日午前零時發火、活動寫眞館衆樂座を初め新天地西側五十五戶、田中通り十五戶計七十戶を燒き三時鎭火した、同所は水道の設備なく消防に窮したゝめこの大火となつたもので損害五十萬圓、附近には大建物あることゝて非常な騷ぎであつた

娘を賣れと毆る蹴るの暴行

堪りかねて廿年間連添ふ女 傷害罪で夫を訴ふ

愛しい娘を遊女に賣り飛ばさうとする無情な夫を諫め、日夜虐待の鞭を身にうけつゝある人妻が「子供のために替へられぬ」と廿年間も連れ添ふた夫を傷害罪で告訴した家庭悲劇—市內寺內通郵便局隣り尾張屋方三宅フミは市內惠比須町七二番地三宅春夫と今から二十年前に結婚し二男二女を擧げたが、春夫は性來の

怠け者 でロクく仕事もせず、フミの纖弱い手で今日まで子供を成育して來た、ところが本年五月二日ごろ夫から長女フサ(二〇)を逢坂町へ賣る相談を持ちかけられたので、フミは例へ餓死するとも子供を苦界に沈めたくはないと極力反對したのに憤慨し、それ以來夫の慘虐性は一層募り「お前を刺し殺して死んでやる」などと日夜脅迫がましいことを云つては長女を

遊女に 賣ることを迫るので、フミは涙をふるつて夫春夫を相手取り離婚の訴訟をさきに大連地方法院に提起、目下審理中のものであるが、十日午後十一時ごろ春夫が突如フミを訪れ、例の如く脅迫したうへ打つ蹴るの暴行の限りを盡し全身數ケ所の打撲傷を與へたので、フミは意を決し井藤辯護士に一切の事情を打ち明けて

早慶戰入場券

六大學に分配して廣く發賣

【東京十一日發電通】早慶野球戰は全國野球ファンの異常な人氣を買ひリーグ當局は何時も入場券の始末に頭を惱ましてゐるが、今春の抽籤法も非難が多かつたので今回は先づ六大學に入場券を分配し各大學の手で一般ファンにひろく發賣し十八、十九兩日の早慶戰を迎へることになつた

世界一の水上機進空式

日本が注文した

【ロンドン十一日發電通】ロチエスターのショート飛行機製作所では十日午後日本政府より注文の水上飛行機の進空式を行つた、右水上飛行機は世界一の巨大なものであると傳へらる

コロンビア號

大西洋橫斷成功

【クロイドン十日發電通】當地飛行場當局は米機コロンビア號の大西洋橫斷飛行につき十日夕左の如く發表した

ニューフアウンドランドのハーバー・グレーよりロンドンに向け大西洋橫斷飛行の途に上つた米飛行家ボイド大尉、コンナー中尉のコロンビア號は無事、大西洋を翔破しシシリー群島のトレスコ島に安着した、燃料補給の上當地に向け更に飛行を繼續するはずである

野球は興行?

興行取締規則改正に當つて 警視廳が行き惱む

【東京十一日發電通】警視廳は興行取締規則改正に就いて過般來保安部興行係の手で各方面の研究を行ひ立案中であるが、茲に端なくも野球を興行と見做すかどうかと云ふ問題に直面し案の決定が行き惱んでゐる、卽ち六大學リーグ戰を始め入場料を徵收する野球試合を興行と見做すかどうかは從來屢々問題となつて論議されたものであるが、現に去る一日前橋市外で行はれた早稻田大學對シカゴ大學野球試合に興行稅を賦課する事となり未だその結末が附いてゐない位で、警視廳が本問題に對し興行取締規則を適用する事となれば東京府は當然興行稅を賦課することゝなるのでセンセイションを捲起すべく警視廳でもその決定に行惱み各方面に參考意見を求めてゐる

電話番號標札押賣りて科料

最近沙河口方面の電話加入者に對して關東廳の方針であると稱して驚しめ同家の電話番號を記入した鐵製標札を强制的に販賣して居る者があるので沙河口署ではかねて內偵中十日午後三時ごろ沙河口仲町六九土井內ツナ方で押賣中の市內山城町二番地居住の白石武(二〇)を發見本署に引致して嚴重說諭のうへ科料三圓に處した

滿鐵蹴球部遠征

滿鐵蹴球部では十二日奉天醫大に於て行はれる對醫大戰のため十一日二十一時三十分發急行で出發

日曜の催し

◇大連市役所主催體育ボール大會 午前八時、大連運動場

◇大連俱樂部對工專ラグビー戰、午後二時、工專グラウンド

◇英國巡洋艦カンバーランド號對滿鐵硬球部庭球戰、午後二時、中央公園テニスコート

◇英國巡洋艦カンバーランド號對全大連蹴球戰、午後四時三十分、大連運動場

◇大連商業學校運動會、午前九時から同校グラウンド

侠艶一代男（82）

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

佃の夜嵐（三）

「――勤めもの憂きひとふしならば　さくも消えなん露の身の、ひかげしのぶのよなく／＼人にあふのを勤めの命かな……。」

一葉は三味を抱へてゐるうちにいつか好きな加賀節の一節を爪彈きに、口ずさんでゐた。

別に加州に流行つた小唄ではない。加賀太夫が唄ひ出した調子ではあつたが、澁い節廻しが、引き入れられる哀愁を覺え、秋の夜にはふさわしいものに思はれる。

月は餘程、空に上つて、明るい光が海面に銀鱗を撒き散らしたやうにキラ／＼と美しい。

風が出たか？屋根船が輕くゆら／＼と搖れて、舷をなめる浪の音が、叶家の一葉が彈く絃の音を縫ふて聞えた。

その船の近くへ、先刻から附いて離れない一艘の屋根船、障子を締め切つてゐるので、中に何者が乘つて居るか、判らなかつたが、まるで監視でもする風で、月影の遍く照らす海面を、西へ、東へ、跡をつけてゐる。

侍たちは、頻りと一葉へ盃をつきつけては

「さア、もう一つ乾たら什麼ぢや？」

「拙者も一杯、進ぜやう！」

「この盃は一葉へ廻せ！」

「もう一つ重ねて、身共が貰はうか？」と、入れ代り、立ち代り、相手は變るが、圭は變らずで、四人の加州侍が一葉に酢り、酒を强く勸めた。

「いえ、もうたくさんでござんす幾ら好きなお酒でも、皆さまのやうな豪傑揃ひで、攻め立てられては、一葉の身は降參するより外はございませぬ」

一葉は醉ふまいと、氣を引き締めてゐたが、立て續けに重ねた盃の醉ひに、ほんのりと眼元を紅く染めてゐる。

「何の！まだ一向に醉ふた態は見えぬわ。郷で名うての叶家の一葉が、これしきの酒に醉ふたとあつては、折角賣つた名折れではないか？さアもう一つ行かう！」

「いえ、本、本當にたくさんでござんすよ。若衆さん！」と、艫の船頭へ「お前さん、いゝ加減に氣を利かして、お職番なんか、御免を頂いたらどう？」

「いやならぬ！今夜は船の上で、誰はばかる者もない。四人がかりで一晩中、いつぞやの仇討ちに攻めぬいてくれるわ」

「それは御卑怯と申すもの。歴々とした殿方四人で、纖弱い女一人を酒で殺すのでござんすか？そして私をその先、どうなさるお考へでござんす？」

「知れたこと！拙者たちで燒いて喰はうと、煮て喰はふと、思ふ儘ぢやよ」

「ホヽヽヽ」と、一葉は普段の內氣に似ないで、蓮ッ葉な嬌聲を揚げ「そう云ふ嬉い御量見で、かうして救ひのない海の上へ、私を誘ひなされたからは、私も心を決めました。郷の一葉が醉ひつぶれるか？殿方四人が酒に倒れるか？あれ、あのお月さんと艫の船頭さんに見て貰ひませう！」

「面白いことを吐したな」と、侍たちは口と裏腹な、妙な合點を眼で交して「さすがは郷の一葉。怯ちせぬ大膽さ、度胸の程は見上げたものぢや」

「酒合戰か？月見には持つてこいの景物ぢや。では拙者から先づ一杯！」

紙尾と呼ぶ氣取つた侍が、盃をついと、前へ突き出すのを押へ

「ねえ殿さま！どうせかうして肚を据え、頂くからには、小さい盃なんかでは面倒臭い。その盃洗でたつぷりと頂戴したうござんす。まア何ですれえ。殿方が下されるお盃へ、お口も濕さないで下さるんですか？それはあんまり憎ないなされかた！さア殿さま！あなたががぐつと乾てから、頂かして下さいませ！」

窮鼠が反つて猫を咬むと云ふが一葉の醉ひが廻るにつれ、まるで性質が一變して、聊かたじろぐ四人の侍を相手に臆せないで、盃洗で浴びるやうに酒を飲み始めた。

「やなぎ會溫習會」

初日見たまゝ、聽いたまゝ

藤間勘奈津名披露目の北村席やなぎ會溫習會は十日初日で大連劇場に華々しく素晴らしい人氣のうちに蓋をあけ初日早々大入滿員の盛況を呈し、幕間に藤間勘奈津は舞臺から後見の藤間勘廣と共に村岡樂童氏より挨拶するところがあつたが、實に今日の成果は藝道に撓まず精進する勘奈津の意氣と熱の所産であり、北村席連中の努力のいたすところである、さて初日の演し物とその出來榮に就いてお世辭のないところ、聽いたまゝ、見たまゝを――

◇

初日の幕は目出度く「三番叟」にあいたが、立方は翁の笑奴、千歳の民枝、百々勇の三番叟で衣裳は新調して贅澤に鏡のつくりも上出來、唄はタテの歌榮がピカ一の感深く、三味は師匠がタテを彈き乍ら途中で一寸トチッタのが耳に觸つたが、大體の調子がもう一息であれでは立方が同情されやう。これが暗轉で「祇園小唄」の圓山の賑やかな舞臺となり、若手の美しいところ八人の立方が振袖姿で現はれるが、ダラリの帯に一工夫して欲しい。振付、演出、舞臺裝置ともいゝが、惜しいことに唄が聲量足らず伴奏も淋しい。斯うした演物には最後の演出效果を充分研究してもらひたい。しかしその畵映のプロローグ的な華やかな舞臺は興行價値滿點である。

◇

番外に民謠舞踊「オリヤセ節」があつて兒童舞踊「傘舞臺」は高チャンに獨りに食はれた態で、勘奈津師匠が黑バックに觸一つの舞臺で新舞踊「唐人お吉」を見せる。唄もおゐみなどが加つて合唱の形式になつたが、「祇園小唄」も當然そうゆくべきである、照明をもつと立體的にしたら更に印象的な舞踊になつたらうにと思はれる。「鷺の夢」は笑奴とてまりが支那服でコミック風な新舞踊。ここで伴奏のピアノと三味の調子を合はさずに幕を開けたなぞ初日らしい餘興が加つた。

◇

素囃子「秋の色種」は勘奈津師匠が唄の名取松永和奈津としての演し物、三味は六寒三郎師匠に西山東之助の上調子、こゝでも田中傳兵衛師匠の笛と三味が調子をちがへたので、傳兵衛師匠は思はぬ大骨折だつた。しかしあれだけの熱と張りのある緊張した舞臺を見せてこそ觀衆は滿足するのだ。清元「落人」は地方は美笑會が引受けた形で立方は歌作の勘平にたからのおかる、セリフの「そんなら聞屆けて下さんすか嬉しいぞへ」から「山の端の東が白む」へ飛んだのは伴內を買つて出る妓がなかつた爲めだらう。こゝにも長唄の北村が清元を演じた大きな努力の一つがある。

◇

長唄舞踊劇「聚樂邸」は華麗な舞臺で立方三人がセリ上つて大向ふを喜ばせ眼の覺めるやうな綺麗なところをとる。これからは春のあしべ踊の物で次の舞踊劇「三條大橋」へ手際の鮮やかな居所返しの舞臺を見せて呉れたのは嬉しい。地方は俄然北村のエキスパートを網羅し、唄はおゐみ、靜榮が光つて舞臺晴れのする堂々たる聲量が心强い。三味は六寒三郎師匠に歌作、宇女奴、立方は勘奈津師匠の彥九郎に笑奴と百々勇の幕吏を配した北村の名トリオ、惡からう筈がなく當夜の壓卷、殊に師匠自慢の彥九郎セリフは斷然その所作と共にイタについて寸分の隙もなく觀衆を唸らした、笑奴と百々勇の立廻りも立派な殺陣を構成して立派に洗練されたものだつた、伴奏なもの立廻りだからもつと照明に意を注いだならば更にアナが見えずに舞臺效果を高めるだらう。光駒の大原女はこの妓のお得意の適り役で大喝采。

◇

長唄舞踊劇「吉野山」は民枝の辨の內侍に宇女丸の楠正行、この若い人達をあれまでにした師匠の指導力は物凄いものがある、新舞踊「都踊」は本社の廣告展餘興に試演されたもので、三味の外に村岡樂童氏のピアノ、福永社中の箏、草崎圭山氏の尺八で伴奏も新日本樂の形式によつた尖端的な演し物である。「夏の雲」は海水着が身につく人達をえらんだところに師匠のアタマの良さがひらめいてゐる、高チャンの「蛸つき」は折紙附の名物。

◇

最後の「奴道成寺」は勘奈津師匠が狂言師で藤間の踊りをフンダンに見せて名取の貫祿を思ふまゝ發揮してゐる、舞臺は四十餘名の賑やかな總出演である、踊りのツナギに評判の野球を見せるのでこれは北村の創案でない。

◇

以上四時間餘に亘り最後の「奴道成寺」以外は殆ど幕なしで華やかな大道具の舞臺を見せ。踊りを中心として盛澤山ないろ／＼な演し物を揃へて、而も北村席一軒でこの溫習會を開いたことは特筆に値する。【一寫眞は勘奈津の雀追ひ―見太郎】

三日目番組

北村席やなぎ會第三回溫習會第三日目の番組は左の如くである

素囃子「勸進帳」▲新鹿の子道成寺▲童舞（傘舞臺、れんれんほろり、鷺の夢、唐人お吉）▲清元「落人」▲新舞踊（雀追ひ、雀のダンス）▲長唄「吉野山」▲長唄「聚樂邸」▲長唄「三條大橋」▲藤娘▲淸元「玉兎」▲童舞（兎のダンス、夏の雲、蛸つき）▲長唄「都島」▲長唄「多摩川」▲奴道成寺

コロムビアレコード演奏會

晝間に開催

電氣遊園のコロンビアレコード演奏會は從來毎週土曜日の夜開催し來つたが今後は毎日曜日及び祭日の午後二時より開催することに變更され、その第一回が十二日午後二時より催されるが、プログラムは左の如くである

▲管絃樂（エス・テユデイアンテイナ）▲和洋合奏（花柳情緒）▲童謠（笑のバクハツキツネの相談）▲流行唄（親の心）▲フオツクストロット（ビユグルコールラッグ）▲浪花節（熊本城）▲ジヤズソング（みなと行進曲）▲萬歲（なにやかや節深川節）▲俗曲（安來節浪花節入）▲映畫小唄（ザッツ・オーケー）▲童謠（夜店の人形）▲フオツクストロット（角の木の下でギターと貴女と）▲帝キネ映畫小唄（洗濯屋さん）▲詩人貧しき者の唄▲浪花節（明石の斬捨）▲管絃樂（サムソンとダリラより曉の花と心は開く）▲新民謠（高岡小唄）▲筑前琵琶（櫛中佐）▲歌劇（マダムバタフライ）▲管絃樂（ウインソルの女房達の序曲）▲フオツクストロット（スタイシソング）

一千一夜物語の興味

映畫「東洋の秘密」

十三日から帝國館で上映

◆…帝國館が久しい間宣傳してゐたドイツウーフア映畫「東洋の秘密」十卷が愈々來る十三日から上映されることになり、久し振りで帝國館のスクリーンに洋畫の試寫を見る。

◆…映畫「東洋の秘密」はダグラスが「バグダッドの盜賊」を製作したやうに矢張り「アラビアンナイト」から取材して、名映畫「キーン」の監督者として知られてゐるアレキサンダー・ヴオルコフがフランスのシネ・アライアンス社でウーフアと協力して作つた一千一夜物語「シエラザード」の改題である。

◆…ヴオルコフが狙つたところは「東洋の秘密」の題名が示すやうなアラビアン・ナイト風なオリエンタル・フアンタシーであらうし觀客の興味もこの點にある。

◆…カイロの靴直しの夢に始まる怪奇なそしてお伽話的なす空想的な、神秘的な、東洋的な、興味を盛上げて十卷の長尺物を倦怠せず見せるところはヴオルコフの監督手法よりも寧ろ物語の持味とその幻夢的な美しさである。

◆…殊に絢爛優麗なセットと宮中殿內のエロテイシズム、怪奇な東洋の秘密といつた風な味が全篇に溢れてゐて且つお伽話風なところは樂む映畫に出來てゐる第四、五卷の豪奢な宮殿の宴會の美しい着色もまた眼を喜ばすやうに挿入されてゐる。

◆…映畫的に優れたところはモツア・シーンの巧な取扱ひ、カメラは沙漠で隊商と盜賊との鬪爭する場面で潑剌たる動きを見せてゐるそれに最初の移動に始まる出のところもいゝ。

◆…俳優ではニコライ・コリンが主役アリに扮して終始活躍し、アルバニ嬢のゾベニア、ピータセン嬢のグルナー姫が共に美しく印象的である、それから一寸姿を見せるだけであるが、女奴隷はディタ・パーロー嬢である。

◆…要するにこの一篇は「バグダッドの盜賊」以來のアラビアンナイト風な贅澤な東洋趣味の大作品である。【寫眞はピータセン嬢のグルナー姫】

蘇聯邦の露貨公定相場 荷主も結局承認か

浦鹽の邦人運輸業代表者來哈 北滿荷主側と秘かに協議を凝らす

【ハルビン特電十一日發】浦鹽に於ける露貨取引の嚴禁以來市中は一切チヨルオネツの暗黑取引につきソウエート政府では各處に密偵を派して監視せしめ、ために北滿洋行の店員は市場で中華人から賤いチヨルオネツを買ひ野菜を購入した現狀を發見され遂に

拘禁の上 千七百圓の罰金を科せられ、或は浦鹽の船員が暗相場のチヨルオネツで品物を買つたため船員は勞働者たるの意味から船長が二百四十圓の罰金を負つたが金子調達不能で一日間出港を延期した如き事件續々として發生し邦人は生活不安に脅かされ續々引揚げ、若しこれが根本的の解決不能の際は邦人全部引揚げればならぬ狀態である、然し日本政府は經濟問題の一部のため大局の日露國交を斷つが如き擧に出ないとソウエート側は足許を見透してゐるので最後は邦人が

引揚げね ばならぬと悲觀され、既電の如く浦鹽からは國際運輸佐藤、川崎汽船山際、大阪商船近藤氏が來哈して支店との事務打合の上荷主と今後の對策につき秘密裡に協議を重ね結局露貨の暗黑相場(現在一ルーブル八錢)の取引が出來ぬとすればソウエートの公定爲替(一ルーブル一圓三、四錢)によらねばならず、そのため船賃、荷役、荷繰、手數料等は當然高くなるのでその最後的準を決定する必要あり、單位をチヨルオネツでなくルーブルに改訂するロシヤの肚を諒し荷主の承認を求めた模樣で荷主側としても出廻り期を控へてゐるのでソウエート側の公定相場による改正を認めるらしい、若しこれが

不調に了 れば浦鹽における邦人は全部撤退せねばならぬがソウエートは寧ろ邦人の引揚を希望してゐる模樣である

共同仕入は消費組合を利用

輸組の單獨機關ではないと 篠崎書記長が說明

神成輸組理事長は曩に商議聯合會より實行を慫慂された共同仕入部開設案について各地輸入組合の意向を照會中のところ、いづれも該案を三十萬圓の資金を以て共同仕入機關を新設するものと解釋し、趣旨は結構なるも實行困難なりと回答してきたので十日大連商議を訪問してその旨傳へ、かつ從來共同仕入の具體方法を明示されてゐないので併せて商議側の意肚を訊し懇談するところがあつた然るに商議側は右仕入部開設の趣旨は決して大袈裟のものでなく、單に消費組合より仕入れる道を開くことを主眼とする旨答へたので、神成氏は輸組理事會に諮り決定の上、商議聯合會に回答する旨述べた、か

くて神成氏の意見を叩けば左の如く語るので、多分輸入組合が消費組合より共同仕入をする道が開かれるものと觀測されてゐる

不可能な案でない

篠崎書記長談

昨日神成理事長が訪問され、商議案は實行不可能とか、時期尚早とかいふ理由で採用出來兼ねる旨傳へられたが、その際懇談したところによれば案の書方が惡かつたのにも因るが内容を全く誤解してゐられたやうだ、案の趣旨は決して大業なものでなく、實は消費組合の開放さ出來るだけの利用といふ點にあり、たゞそれだけでは範圍が餘りに局限されるので内地その他より仕入れる方が有利な場合もある

消費組合に願ふ肚

神成理事長談

我々は商議案の趣旨とするところは別途に經費を計上して新に共同仕入機關を輸組に設置するものと解したので種々考慮の結果、應じ難き旨回答した、然るに商議案の本旨は左樣のものでなく消費組合より共同仕入の道を開かんとするものであることが判明した、そうであればそれは一部組合で現に行ひをり、實行も不可能のことではない、そこで私の意見としては近く理事會を開き、全滿組合に共通する共同仕入取扱內規を定め、各地組合別に注文を纏めて單獨に共同仕入の斡旋を爲すことが出來るやう、消費組合にお願ひしたいと考へてゐる、從つてこれがために組合內に特に機關を作る必要はないのである

ことを想像して書列べておいたに過ぎぬ、されば決して實行不可能なものでなく、既に大連、奉天などでは實行しており、何等新味を帶びたものでなく、また消費組合側でも一層積極的に便宜を圖らうといはれてゐる位である、從つて卸商の反對といふものも起る筈がないと思ふ、よつて輸組と消組が相提携して互讓的にすゝめば相當の業績を擧げ得るものと信ずる、またこより出發して仕入機關問題の理想案に到達するに至るであらう

普蘭店に開く 產業品評會迫る

十七、八、九の三日間 會期中は餘興も催す

第二回產業品評會は既報の如く來る十七、八、九の三日間普蘭店公學堂に於て開催されるが會期切迫とゝもに普蘭店民政支署で目下署員總動員を爲し各種參考品並に統計等の作製やら出品物勸誘等の事務に忙殺されてる、十日までに各出品物の受付總數は四千六百七十三點に及んだ、出品種目は九部に分れて第一部に穀菽類、麻類及其の加工品、第二部に蔬菜類、第三部に棉花(立毛)第四部に果實類第五部に滿及其の加工品、三房、第六部に家畜及家禽、第七部に造林及苗圃、第八部に水產物及其の加工品、第九部に參考品として農具や漁具等で參考品の主なるものは

關東廳農事試驗場より果樹、蔬菜、棉花、家畜類、農具農用藥品各種、同水產試驗場より水產加工品、罐詰類、トロール網模型、手操網模型、同蠶業試驗場よりは蠶種、滿加工品、眞綿、桑樹見本、熊岳城農事試驗場より果實、水稻蠶蠶各種標本、滿鐵會社販賣課より鞍山及撫順の中性硫酸アムモニヤ、大連の島羽其他商店、會社より多數の出品がある

品評會長には普蘭店民政支署長池田公雄氏同副會長に同署總務課長惠神正雄氏審查部長としては關東廳技師磯田信之助氏にして、第一部長の審查部長は中富貞夫氏、第二部長鐵有邦氏、第三部長中富貞夫氏、第四部長鐵有邦氏、第五部長鐵有邦氏、第六部長倉賀野晉氏、第七部長磯田信之助氏、第八部長嫿帶定助氏等が之に當る筈である更に又會期中餘興として映畫會支那芝居を催し煙火を打揚げ景氣を添へる筈である、因に褒賞授與式を十九日に擧行し會期中各出品者に對しては特に滿鐵會社は五割引の便を許ると

滿洲の燐寸 (六)

瑞典系の廉賣と混亂

◇

新東三省聯合會の組織を機會に國際マッチの政策はいよ〳〵露骨を加へて來た、全滿洲總代表ゼーエー・ブラウン氏は全滿同業者と競爭すべく、遂に新に吉林マッチ取締役佐藤綠一氏に對し賣價政策の強硬として止まない、其間佐藤氏等は或は書面を以て又は人を派し、之れが圓滿解決を希望し、極力奔走するところあつたが何等の效も奏せず、結局スエーデン系神戶側大株主の政策が吉林、日滿兩社において實行されればならぬことになつた、しかし兩社の取締役等は飽くまで實行せんとならば株主總會の決議に俟るべきを主張したので遂に昭和四年二月廿五日吉林燐寸會社において臨時株主總會が開催されるに至つた

◇

ところが總會席上緊急動議あり

と神戶側大株主を代表して久原田孫兵衞氏は左の方針を實行する決心あるものを後任取締役に推薦すると述べた、それは

一、今後吉林燐寸會社の製品販賣に關しては神戶側株主の有する賣價政策を實行すること

二、新東三省聯合會に入會又は公私共に關係せざること

三、右何れに違反したる場合と雖もその違反したるものは金二萬圓也違約金を支拂ふべきことを公約すること

かくの如き公約は當事者として四戶氏等の猛烈なる反對あつたが結局過半數の株式表決によつて神戶側の勝利に期し、佐藤、四戶兩氏は主義上よりしても辭職のやむなきに至つたものである

◇

新東三省聯合會は昭和四年二月組織され同二月には販賣の協定が

行はれた、當時吉林マッチの製品は一箱六圓三十錢見當であったのであるが東三省聯合會の聯合販賣

今年度の入超 一億三四千萬圓

貿易業者の觀測

【東京十一日發電通】十月上旬の對外貿易は引續き萎縮を示し出超も一千百三十餘萬圓と前年同期の半額に過ぎず、今日まで前年より改善の跡を示してゐた一月以降の入超累計額は遂に前年より八百三十萬一千圓を超過し一億二千九百八十餘萬圓となつた、蓋し今日まで貿易尻が昨年より好調を示したのは

一、本年貿易輸出入とも著しく萎縮し入超額も少くなつた事

一、下半期に棉花輸入が激減せるに反し生糸は相當上伸び毎旬一千數百萬圓の輸出を續けた事

一、昨年の貿易が上半期は本年より六千萬圓の入超増を示したが下半期に入り金解禁見越から延いて二千百四萬圓の巨額の出超を見たる變調であった

と云ふ理由に基くもので年末接近に連れ前年より貿易尻惡化するは當然で、況んや棉花の輸入激增の勢ひは今後繼續の勢ひにあり貿易尻は益々惡化すべきは明かである、總じて貿易業者の觀測に依れば本年は入超轉換期は例年より早かるべく結局本年入超は一億三四千萬圓に上るであらうと

鮮銀利下げ

一厘方、本日より

【京城十一日發電】日銀の利子に伴ひ朝鮮銀行も各一厘方利下げすることに決定し本十一日より實施した內容左の如し

一、商業手形割引步合日步一錢七厘(一厘引下げ)

二、國債を擔保さする貸付利子及び同手形割引步合、日步一錢八厘(各一厘下げ)

三、國債以外のものを擔保さする貸付及び手形割引步合を日步一錢九厘(一厘引き下げ)

四、當座貸越し及びコレスポンデス貸付利率二錢一厘(各一厘引き下げ)

九月中の特產市況

(下) 豆信調査

九月中に於ける特產市況は左の如く

倫敦銀塊週報

△サミユル・モンタギユー商會の週報に依れば上海爲替は初め見直し步調を示し相場は支那からの需要增加に連れて騰貴した、其後市況は稍々浮動したが概して引緩み步調を示した、之は支那筋、大陸筋、アメリカ筋が賣つた爲めである。尤も大陸及びアメリカ筋は同時に買ひ付けも行つた、インドバザー筋も本國へ積出す目的で買ひ付け、又空賣りの買ひ埋めも行つた。而して目下の新市場はどういう足取りを示すか瞭りしない。

泊り心地のよい南滿ホテル

調度什器は旅館に惜しいものばかり

南滿ホテル(電話長五八一六番)は大連の旅館中、最も名を知られてゐるホテルであつて、電車道から東鄕町の大通りに這入ると、最初の四角の左側五四番地に三階建の洋館並に隣接の日本家屋が堂々と聳えてゐるのですぐ分る、大連驛や埠頭や大連の中心地に出る便利が至つてよい上に、極めて閑靜なのが喜ばれてゐる。

◇

洋館の方は二十數箇の客間があり、その外觀が壯麗であるより以上に室內は清潔にして善美を誇つてゐる、殊に申分なく取揃へられた什器調度品類が非常に凝つた高價なものばかりである點においては大連の一等旅館中肩を並べ得るものがないといはれてゐる、それは經營主の母堂の凝つた好みから自然そうなつたのであつて旅館の調度品としては全く惜い位である、ところで同ホテルでは今後、大小の宴會、會席方面にも大いに進出する方針だといふから、これらの優れた調度品は、元の晩翠軒であつた隣接別館にある約四十疊敷の大宴會場と相俟つて、大いに效果

◇

經營主は阿部□雄氏であるが、その經營方針は居心地よい部屋、便利な設備、趣味ある調度品

森林鐵道を通りて 木材の都吉林

伐るに伐られぬ大森林のなやみ

黃塵

市況(十一日)

特產

大豆強調 仕手關係で

錢鈔

銀塊高から 鈔票保合

商品

麻袋稍反發す 綿糸續騰

株式

內地株變らず 當市強保合

市場電報(十一日)

上海爲替情報

滿洲日報
カール・マルクス著
資本論
高畠素之譯(決定版)
第二回 豫約募集
全五冊 特製 壹圓 並製 八拾錢
マルクス資本論の完譯成り、本社が廉價版として發刊してから、既に數年を經過した。年一年と著しき社會の進展は、益々本書の眞價を大衆に認識せしめ、曾つて學界の獨占物たりしマルクス主義の知識は、今や大衆の常識となつた。彼の主著たる本書が絶えず新讀者を獲得しつゝあるのに不思議はない。本社は讀書界の要望に鑑み、斷然本書の再豫約募集を敢行した。譯文正確平易、定價至廉の此の犠牲的出版に對し、壓倒的の申込を期待します。
現代思想の根源・新社會建設の鍵！
永久に保存すべき名著！紙質の選擇・印刷の鮮明・裝幀製本の堅牢瀟洒そして、此廉價
内容見本 無代進呈 (申込送金不要)
資本論分冊目次
第一卷 資本の生産行程
第二卷 資本の流通行程
第三卷 資本制生産の總行程
發行所 東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二番 改造社
川柳漫画全集
漫畫執筆十大家
矢野錦浪 川上三太郎 池部鈞 池田永一治 服部亮英 細木原青起 田中比左良 前川千帆 水島爾保布 宮尾しげを 清水對岳坊 代田收一
坐談の中へ
川柳を一句交ぜて見給へ 斷然素敵な味が出る！元祿寶曆時代より昭和の現代に至る迄、體系的に選ばれた川柳の生粋と現代漫畫界十大家共同執筆！
人生は斯く滑稽なれ
之ぞ天下一品
第一回配本(第十一卷) 浮世行進曲 (現代の巻)
内容見本贈呈
東京麹町 平凡社
〆切十月廿日
建築・設計監督 構造計算・鑑定
宗像建築事務所
大連市連鎖商店街広小路 宗像主一
文藝春秋 二千圓懸賞募集
課題 日本歴史 二千字
二千字で日本歴史の概略を記述する事。文體は現代日本文。
賞金 一等 五百圓 一人 二等 二百圓 一人 三等 拾圓 卅人
締切 十一月十日
詳細は「文藝春秋十一月號」「モダン日本十一月號」「婦人サロン十一月號」で發表します
◇五百語米國史
東京麹町區内幸町 大阪ビル 文藝春秋社
時代 モダン日本 十一月号
第二号も即日賣切 目下再版印刷中
ナゼ賣れる？
定價35錢
所謂パトロン物語
現代未亡人氣質
女飛行家列傳
政治家と藝者
變つた女性列傳
尖端ガール新職業
その後のユキと藤田
競馬入門
時代の尖端を行かんとするものは讀め
と共に歩まんとするものは讀め
に取残されざらんとするものは讀め
第一号出づ
早稻田大學講義
見本呈進
文學講義
東西古今の文藝を綜合的に講述し、謂ゆる文科的基礎學科を懇切に講説する本邦唯一の文科大學講義錄！一般文藝の愛好者及び文檢受驗者必讀の好伴侶！
法律講義
現行法律をやさしく、分りよく、誰れが讀んでも理解し活用出來るやうに講述した法律講義。官公吏、高等試驗受驗生は勿論、商家、農家、必携の最良參考書！
政治經濟講義
本講義は早大政治科の解放講座で一般大衆に系統的適正なる政治經濟の綜合知識を普及する獨學研修機關である。既に第一號發刊、至急御申込あれ！
建築講義
建築界の尖端に立つて、指導的任務を果し得る唯一の完全な講義。技術を以て生活戰線に跳躍し、生存競爭の優者たらんとする人は來りて本講義に學べ！
電氣工學講義
現代人は電氣の知識なしには生きられない。本講義は電氣の知識と應用法を授ける本邦唯一の大講義、遞試受驗者には無二の準備書、學生には絶好の參考書。
最新電氣講義
中學・女學・商業・受驗
申込所 東京・牛込 早稻田大學出版部
最新刊
滿鐵職員録
大阪屋號書店
滿書堂書籍部
印刷 滿日社印刷所

コドモ

冬が近い

外で遊べるのも　あと僅かです

今の中にうんと活動しませう

だん／＼冬が近づいて來ました、ストーブの廣告が、あちらこちらにはり出され、氣の早い家ではもうエントツを立てゝゐます、新らしいエントツを積んだ車が町を通るのも冬の前ぶれのやうです

この頃では、三寒四温がはつきりわかるやうになつて來ました、うらゝかな秋の日が四五日もつゞいたと思ふとそのあとからは、まるで約束をして置いたやうに物すごい嵐が北の方から襲つて來ます、そして黃塵を卷き上げ砂を飛ばし、木の枝をゆすつて二三日の間吹き荒れると、あとは又ケロリとして、のどかな日がめぐつて來ます

しかし、ごらんなさい、木々の梢を美しく飾つてゐた滴るやうな綠の葉は三寒が訪れるごとに色が失せて、木の葉はハラ／＼と散つてゆきます、恐らくもうあと三週間もしたら木の葉は悉く梢からサヨナラをして土に歸つてゆくことでありませう

皆さんがたが運動場で思ひきりはね廻つて遊ぶのも、もうあと僅かです、今のうちにうんと元氣に遊んで置きなさい

滿洲の子供は内地の子供にくらべると發育は決して負けないがどうしたわけか身體が弱いさうです、何がその原因であるかくわしく研究して見ないとよくわからないが滿洲は冬が長いため外で遊ぶ日が少く、それと一緒に日の光りにあたることが少いからだらうと言はれてゐます、ですから、暖い間に出來るだけ外に出るやうにすることは一ばん大切なことだと思ひます

しかし、冬が來るからと言つて決していぢけてしまつてはいけません、冬の寒さと戰つてゆくところに滿洲つ子の元氣を見せたいものです

ウンドウクワイノマヘノバン

ハルミチ

「アシタ ハ ウンドウクワイダ」サウ オモフト ミイチヤン ハ ウレシクテ ウレシクテ ネムラレマセンデシタ、ミイチヤン ノ ネテヰル マクラモトニ ハ アシタ キテユク シロノ ウンドウシヤツヤ クロイ バンツヤ アカイ タスキ ガ ミイチヤン ノ 一トウシヨウ ニ ナル ノ ヲ イノル ヤウニ ウヅクマツテヰマス、ソノ ヨコニハ ミイチヤン ガ アサネボウ ヲ シナイヤウニ メザマシドケイ ガ チクタク チクタク ト シヅカニ トキ ヲ キザンデヰマス、ミヂカイ ハリガ 九ジ ノ トコロ ト 十ジ ノ トコロト ノ アヒダ ヲ サシテヰマス ガ ミイチヤン ハ ドウシテモ ネムラレマセン

「オカアサン アシタ ホンタウニ ミニキテ クレル？」

ミイチヤン ハ トナリノ オヘヤデ オシゴト ヲ シテヰル オカアサン ニ コエ ヲ カケマシタ

「マア マダ ネナイ ノ？ ハヤク ネナイト アシタ オネボウ シマスヨ」

「ダツテ ネムクナインダモノ」

「ソンナ コト イツテヰナイデ ハヤク オヤスミナサイ」

ハツト ミイチヤン ハ ジツト メ ヲ ツブリマシタ、スルト ウンドウクワイノ マンカンシヨク ガ チラチラ メ ニ ウツツテキマス、ワーツト イフ トキノ コエモ キコエテキマス、フト キガツクト ミイチヤン ハ ウンドウフクニ ミヲ カタメテ シロイ コースノ ウヘヲ 一シヤウケンメイ ハシツテヰマス、シカシ イクラ ハシツテモ マヘノ ヒト ニ ドウシテモ オヒツク コトガ デキマセン、ケツシヤウテン ガ モウ スグ ソコデス、

「アカ カツヨウニ」

「シロ カツヤウニ」

「シツカリヨー」

オウエン ノ コエ ガ ミミモト カラ ワイワイ キコエテキマス

「モウ スコシダ」ミイチヤン ハ サウ オモツテ 一シヤウケンメイ ハシリマシタ、スルト フシギナ コト ニ イママデ オモカツタ アシガ キユウニ カルクナツテ ドンドン マヘノ ヒト ヲ オヒコシマシタ、ソシテ ムネ ヲ ウント ハツテ テープ ヲ スウーツト キリマシタ ミイチヤン ハ トテモ オホキナ クンシヨウ ヲ モラヒマシタ、

「カツタ……ウレシイ……ム……」

ミイチヤン ハ ウレシサウニ ホホエミナガラ スヤ／＼ト ネムツテヰマス

「マア ネゴト ヲ イツテル ワ、キツト ウンドウクワイ ニ カツタ ユメ デモ ミテヰル ノ デセウ」

オカアサン ハ パチツト デントウ ノ スウイツチ ヲ ヒネリマシタ、

マンマルイ オツキサマ ガ ニコニコシナガラ オマド カラ ミイチヤン ノ ネガホ ヲ ノゾキコミマシタ

懸賞童話（乙賞）　曠野の春

杉　純子

隨分長い冬でした。

其處は滿洲の或る小さな牧場で由ちやんのお家です。山は地平線の向ふにチラと長い背を見てゐるだけ、曠々とした荒野に時々思ひ出した樣な起丘が赤ちやけた肌を曝して居ります。

冬中積つては固められた雪が何時か高粱の根株に吸取られて久し振に土の上に立つた由ちやんの足の裏を何だかむづ痒いものが走ります。此間一齊に鋤がされた窓の目眠りの新聞紙が、畑の方々に散らばつて、麗かな春の日は畝の上に流れ込んで居ります。

圍ひの中では犢が、萌え出たばかりの草のいきれに醉ふて、柵から首を出したり引つ込めたりしてゐます。

「ヤー來年が來た／＼」由ちやんは何か急に嬉しい事に思ひ當つたと見え、お家を目掛けて一散に走つてゆきます。お母さんはお庭に敷いた莫蓙の上で、お父さんの外套に最後のブラッシをかけながら驚いた樣に見上げます。

「お母さん。來年が來たんだねえ」

「來年が」マア、何云つてるの」

「だつてこんなに暖かいじやないの。外が暖かくなつて、來年が來たら僕學校へゆけるんでせう」。

「あゝ、その事なの、ほんにねえ」お母さんは何だか案じ顏で、ウットリ遠くを眺めてゐます。

をつけた驢馬がヨロ／＼歩いてゐます。胸に下げた赤い布が揺れる度に鈴の音がこゝ迄届いて來そうです。

「ねえ、お母さんつてば、そうでせう」

「あゝ、そりやそうだがね、餘り遠くてねえ」

「遠くたつていゝや」

「せめて馬車が何時もあればねえ」

「馬車などいらないや」

「只一人だからねえ」

「一人だつていゝや」

學校へさへゆけたら、何だつていゝやの、由ちやんですが、今日はお母さんが餘り氣乘りがしないらしいので、少しイラ／＼して來ました。

牛舍の方から乳をしぼる音がシユウ／＼壁を傳つて來ます。牛の綺麗な毛並に顏を埋めて一心にお乳を絞つてゐるお父さんは、其處へ由ちやんの來たのを少しも知りません、お父さんの兩手が動く度に、膝で挾んだバケツのお乳は、見る／＼高く白く石鹸の樣に泡立つてゆきます。

「お父さん」

「おい」チラとこちらを向いたお顏は、しかめられて居ります。時々牛の尻ツ尾でピシャッとやられるからでせう。

「來年が來たから僕學校へ行つてもいゝんでせう」

「來年が來た？」お父さんは始めてニッコリします。

「遠いぞ」

「遠くたつていゝや」

「冬は寒いぞ」

「寒くたつていゝや」

「たつた一人だぞ」

「平氣だあい」

「ハヽ、平氣か。ヨシ、そんならお母さんと話して見やう」

お父さんは嬉しさうです。併しお母さんと聞いた時から、由ちやんは又急に悄氣て了ひました。急に目の前が眞暗くなつて、取りつく島のない心細さです。

と、その時、うつすりにじんだ由ちやんの目の中にチラと赤い影がさしました。遙か向ふの起丘の樣手から、赤いホロをつけた馬車がヒョッコリ現れたのです。そその後から又同じ格好の赤い馬車がもう一臺續いて出ました。

よく見ると、その一番前をアンペラで恰度トンネルみたいに日覆ひのした馬車が、先頭にやつて來るのです。しかもそのトンネルの中からは、色々の樂器の音が一本の細い線になつて、邊の空氣を振はして先刻から聞えて來てゐたのです。それは恰度「軍人」によく似た曲でした。由ちやんも何時かそれに調子を合はして「僕は軍人大好きよ」と歌つてゐました。

「坊っちやん。すまないが小父さん達に水を呉れない？」突然後に聲がしたので、由ちやんは吃驚して振返ります。其處には丁度今あの樂隊の中から脱けて來た樣な兵隊さんが二人、重さうな背嚢をしよつて云ひ合した樣に水筒の口をあけて立つてゐたので、由ちやんは二度吃驚しました。

「坊ちやん。是に水を下さいれ」由ちやんはすぐにそれを取つて、今度の方へ走つてゆきます。今度來た時、二つの水筒には水がイ溢入つて、それがこぼれない樣にシッカリと由ちやんの腕に抱かれて居りました。

「有難う」兵隊さん達は餘程喉が乾いてゐたと見えて幾度も禮を云ひ乍らすぐにそれを口へ持つてゆきました。

それから凡そ半時間も經つたでせう。由ちやんは今度はさても／＼嬉しそうに獨りでコックリ／＼頷き乍らお家の方へ歸つて來ます。あの樂隊は何時何處をどう行つたのかもう影も形も見えません。その代はりあの徑を二人の兵隊さんが幾度もこつちを振返りながら、丘の陰に隱れてゆきました。

一體由ちやんは、あそこであの兵隊さんに何を聞いたのでせう。その夜お父さんはさても嬉しさうにこんな事をお母さんと話してゐたのですもの

「あゝ、今日の由坊の理窟にはスッカリ參らせられたねえ。ハッ、、それにしてもモウ學校には間がないぞ」

釣れた／＼　大きなお魚

大手柄のローレン君

スポーツにはランニング、ラクビー、野球、水泳、槍投、高飛びなどゝその他隨分たくさんの種類がありますが、まだそれでは足りないと見えて年々新らしいスポーツが出來て來ます、この頃ではグライダーと言つてモーターのない飛行機を飛ばすことも新らしスポーツとして日本にもはやつて來ましたが、何事にもスポーツ好きのアメリカでは魚釣りがスポーツとして盛んに行はれてゐます、魚釣りといつてもそれは皆さんが運動會の競技に行つたりするやうなそんなまねごとの競爭ではなく、海に出て大きな魚を釣る競爭なのです、そしてこの頃では大人ばかりでなく子供までも魚釣りの仲間にはいり大人に負けない氣で盛んに釣つてゐます、この寫眞はアメリカの小說家ザングレーの子供のローレングレー君が大西洋のカタリナ島附近の海で釣り上げた巨大な黑イシモチで、眞中に居るのが本年十四歳のローレン君です、何と素晴らしい獲物ではありませんか。

綴方

私のお土産

松林小學校五女　三浦　和

「お土産かれ。有難う」

「お土産をくれるの—。さすがは和ちやんだ」

店に入ると、私が金州でリンゴを買つて來たものですから、お店の人々がからかふのです。

「いやらしい、誰があげますか。常にはいぢめておいて何かもらふ時にはお世辭をいふ人々に」

といふと、皆が揃つて、

「すみません、以後氣をつけます　これからは愼みます」

と又からかふのです。

お母さんに告げると、笑ひながら

「リンゴを一つ宛あげなさい。するとからかひません」

とおつしやるのです。いやだ／＼といふにお母さんは、お店の人にリンゴをあげました。それでも、からかはないどころか、よけいにからかふのです。その上、私を呼ぶ時には

「おみやげ若樣」

と呼ぶのです、私はこれにはへいこうしてしまひました。

あはれな人

常盤小學校三年　北地キクヱ

私はねえさんと、なには町に行きました。そしてあるいてゐると一人のおばあさんと、男の人がみちで、なきながら人々に、おはなしをしてゐました。さつさといつてしまふものもありました。が、その中でも、お金でもやる人がありました。おばあさんは、目くらです。着物は、やぶれたのをきて手はきづをしたりふるへていたりしてゐました。

男の人のかほをみたらぞつとするやうな人です。すりむけてあつたり、目のそばにいつぱいにできものができてゐます。手には、おちやばん見たいなのを持つてゐますので、ねえさんは「かあいそうに」といつてふところからさいふをだして十錢なげてやると「ありがとうございます」と男の人は、あたまをなんべんもなんべんも、さげました。

家にかへつて、おばあさんにお話をすると「としよりになると、あんなになるのだ」とおつしやいました。

秋の靜ケ浦

松林小學校五女　池羽　澄子

九月八日の日でした、靜ケ浦の海岸に立つて海の上を見わたしました。何島か、波の上をすれ／＼に飛んで行きます。

この間までは、赤い海水帽や、はなやかな色の海水着を着た人が澤山泳いでゐましたのに、バラックの中にでも、數十人が休んでゐましたのに、今はただ、帆かけ舟が一隻、沖へ／＼と靜かな波の上を、流れるやうに行くだけです。バラックの中には賣店の支那人がのんきさうに支那歌を唄つてゐます。

私は淋しい氣持になつてしまひました。住みなれたこの靜ケ浦の家をすてゝ、又あの埃の多い大連の市中へかへらねばならないのだと思ふと、何んだか一層淋しさが增してきました。

明日でお別れだから、今日は一ぱい面白く遊ばうと思つて、池を掘りましたが、それもすぐにくづれてしまふのです。

老虎灘の方を見ました。お稻荷樣の赤い鳥居を見ても、青々とした芝生を眺めても、皆んな淋しさうです。

空をみあげました。赤に黄に青の三色をまぜた夕燒の空に、お日樣は何も知らぬやうに西へ／＼と傾いて行くのです。

さつぜん、後の方で「澄ちやん」「姉ちやん」と呼ぶ聲がしました。おばあさんと新ちやんでした。

「何をしてゐるの」ときかれたが、私は何とも答へませんでした。

しばらく新ちやんと遊んでからお家へ歸りました。お日樣はもう見えませんでした。

本年のストーブ界は一　混戰狀態

滿洲に貯炭式無煙ストーブの輸入されたのは昭和二年にセンターストーブが久保洋行の手に依つて滿洲全體に普及されたのが嚆矢であつた、爾來年と共に雨後の筍の如く種々雜多のストーブが續出して花客を迷はしてゐる、滿洲日報社では此狀態を看取して年々十月頃には暖房展覽會を開きストーブの優劣を一般に紹介してゐる、本年は昨年よりも一層種類が多く、センターストーブを始めとしタイハン、フクロク、ビクター、スミレ、ヘルス、ニットウ、村上、恒六、榮光、アルバン等數へ來れば優に十指を屈する程の多數を算するに至つた、價格も、形狀も、特長も大同小異であるが何れも自己宣傳に火花を散らし大道の鳴り物入りの行列宣傳やら新聞廣告で鎬を削つてゐる、就中センターストーブは一番最初に輸入されただけあつて、一般にセンターと云ふ先入主が印象付けられてゐるようだ、從つて他の筍式ストーブよりも一段高く高尙な地位に置かれてゐる之は取りも直さず購入者側より價値付けられた賜ものであつてセンターの實質が宣傳以上に認められたからである、

近頃市場に現はれた繼目なしのストーブ

此繼目なしのストーブは一本造で外觀は一寸良いようであるが火力のために或一部分が熔解すると全部を放棄して更に新らしいストーブを求めなければならぬ不經濟極まる缺點があります、之に反し各部分部分に分解されるストーブは假へ其一部が火力のために熔解しても其部分だけ取替れば僅かの費用で又一年は新品と同樣に使用されるのであります、此の如く製造するには各部分部分に鑄造して作り之に鑄流して造るのであるさうして一つ一つ繼目に石綿粉を塡充して組立てるのでありますから手數のかゝる事は想像以上であります、繼目なしのストーブ一本鑄造ですから手數もかからず簡單に出來上る從つて元價も安く付く譯であります、それでも市價は手數のかゝつた經濟的ストーブと同樣ですから此點を深く御注意下されまして將來御德用となるべきストーブをお求め下さい、

壹個のストーブが四十餘種に分れる

センターストーブが獨占的特長として一般の歡迎を受けつゝある點は一個のストーブが四十餘種に分れて一つ一つ部分品が隨時に求めらるゝからである、假へ火力のために一部分が熔解するやうなことがあつても其部分だけ取替へれば僅かな費用で新品同樣に使へると云ふ至極經濟的に出來てゐるストーブであるからである、繼目なしのストーブが如何に自己本位に宣傳しても敎養ある奥樣方の御鑑識の明は期せずして經濟的に出來てゐるセンターストーブに注がれるのであります、

滿鐵沿線名地の狀況

瓦房店　同地よりの通信に依れば瓦房店も矢張り昨年と異り各種のストーブが輸入されて各々宣傳に努めてゐる、しかしセンターストーブだけは流石に古き歷史を有するので新參のストーブよりも人氣がよく一般に歡迎されてゐる滿鐵社員を花客の中心とする瓦房店では現金賣と云ふものは殆どなく月賦販賣が主となつてゐるとのことである、現金で安く仕入れ月賦で社員に賣込んでゐるのでセンターの代理店小川政次郎氏の評判がよい

鞍山　製鐵所設置の豫定地となつてゐるので前途有望視せられてゐる關係上居住民の心理も何んとなく異つた點があつて眉間に其閃きが見えてゐる、從つて不景氣の風は何處を吹くかと云つた調子である、本年の暖房界は相變らずセンターの獨占舞臺で到る處センターは話題の中心となつてゐる、センターストーブの代理店たる野田氏の圓轉滑脱の交際振りと敏活なる行動には他ストーブの浸入する餘地がなく殆んど鞍山の暖房界をセンター化せんとする勢力を示してゐる

營口　支那人方面に販路を有し前途洋々たるものあるも昨年來銀貨の暴落に依り著るしく購買力を減じたことは獨り營口のみではあるまい、しかし日本人方面には此種ストーブの需用を相當喚起してゐる、本年は一般に衞生と經濟的に目覺めて來た結果、各方面より注文が續々と來るやうだ、田口代理店主は結氷前に早くも營口上げの有利なるに着眼して一時に多數のセンタースーブを大阪より直輸したが賣行は頗る活潑で既に過半は賣盡し第二回の注文を發せんとする盛況である

遼陽　昨年滿鐵が工場を引上げて以來火の消えたる如く寂寞を感じ一般生活上に大脅威を蒙つてゐたが滿鐵の救濟資金によつて漸く其弊は沈靜となつた、其後暫くて撫順市職隊が全部遼陽に引移つたので幾分人氣は恢復した、處で本年のストーブ界は鈴木洋行が代理店として奮闘いてゐるセンターストーブが陸軍方面は勿論市内各家庭にも普及されてゐる、色々と趣の變つたストーブを宣傳してゐるが人氣は矢張センターが一番よいよう

奉天　滿洲に於ける最大商都で又最も商業の殷賑な土地柄である、從つて大連の一流商店は何れも支店若しくは出張所を設けて盛んに日支人間の商取引を爲しつゝある、本年よりセンターストーブの代理店を引受られた大連松島商店の出張所では秘秋に於て既に其準備を整へ目下盛んに賣出してゐる、奉天は大連と同樣各種ストーブの混戰場であつて需要者も何れが優良であるか良否の判別に迷はされてゐる、此點に就てはセンターは既に一般から認められてゐるので人氣は自然に集まつて來る、之は外ではない實際に一二年使つて眞價を認められたお方が宣傳して下さるからであります、又一面松島商店が始めて代理店を引受られたので一個でも多數に賣上げやうと努められ各種の宣傳を試みてゐるので一層人氣は集注されてゐる

長春　長春におけるセンターストーブの需要は年々に增加しつゝあるが本年は銀の暴落で多少の影響を受けるものと豫想されてゐたが有力なる仁和洋行の活動によつて著るしく景氣を挽回し非常に優勢を示して來た、此調子でゆくと或は昨年假品賣出しの當時より遙かに多數に上るべく信ぜらるゝのである、センターの特長とする處は花客本位の構造で使用上の將來を考へ各部分が分解されるやうに出來てゐる點である、從つて修理費は安く頗る簡單であります、仁和洋行で花客に對し不親切のないやうにこの多數の部分品を全部取揃へて如何なる需要にも應じてゐる

宣傳せざる商品は亡ぶ

此の標語は新聞屋さん達が盛んに利用してゐるが、全く其通りだ近時廣告術の進步したことは實に驚くべきものがある、廣告料が高いと云つて二三流處の新聞に廣告したところで其得るところが少ければ結局料金倒れとなる譯ですから矢張ら値段は高率でも發行部數の多い一流の新聞を用ふることが利益であります、しかし地方で商賣する目的の商品ならば其地方の有力な新聞に廣告することが必要であります、私の店が最近廣告する機會が多くなつたことは皆樣方の御引立の賜と深く感謝いたして居ります、御承知の如くセンターストーブは貯炭式無煙ストーブの元祖で燃料の節約と燃燒上に手數のかゝらぬこと、放熱力の強い三大特長を有してゐます、殊に昭和五年式は一層の改善を加へてありますから今回此紙上を借用して大方各位の御稱讃を煩はしさうして實地の御試驗を給はらんことを懇願いたす次第であります

センター漫錄

皆樣方の襟首や手首を汚さぬよう最も忠實に努めるものは空中淨化を理想として生れたセンターストーブであります▲煙筒を掃除した後の拭き掃除はお互に感じの良いものではない、希くば冬期間一回も煙突掃除の必要のないストーブを求めたい、此理想にピタリと當てはまるものはセンターより外にはない▲滿洲の冬は石炭がなければ一日も暮せぬ、毎日消費量を節約してさうして暖を採る方法を講じなければならぬ、採暖と石炭の節約ならセンターストーブに限ります

「御家庭の春は先づセンターより」

十六號型の改善

昭和五年式の十六號型は四年式の炊事兼用と外觀は少しも變らぬ、只内部の灰落しの個處を改善したのみであるが非常に成績がよい昨年型を御所持のお方は久保洋行迄御持參になれば何時にても其部分を直して差上げます

商賣往來

景氣の良い時は品物は少々高くとも賣れる、儲かると云つて大氣焔をあげてゐたものが、不景氣となると安くとも賣れぬと愚痴をこぼす、寧ろ此不景氣時代に度胸を決めて大に奮闘し積極的方針を採ることが肝要であらう▲賣れぬ、儲からぬ、注文がないと云つたところで棚から牡丹餅は落ちつこない、不景氣時代にウント活動する覺悟で常に新らしい工夫並に計畫を考へて置く必要がある、例へば物價の低落や相場の急變を恐れて仕入を手控え或は縮小するなどの消極主義を取つてゐるようでは却つて不景氣をなして一層不景氣ならしむる結果となるのである▲一般が萎縮してゐる時こそ僅かの活動でも目に立つものですから此の沈靜の機を利用して大に活躍し大に發展の道を講ずると云ふことは最も面白からうと思ひます、英國首相が不景氣打開策として總選の作興を說いたが全く其通りだ▲一般の人が此心持で積極的に方針を樹て進めば不景氣の恢復は期して待つべきものがあらふ、センターストーブが思ひ切つて大々的廣告を爲すのも不景氣に對する一種の對抗策であつて如何程迄に我々の努力が報いらるゝか試驗的に一大馬力をかけてゐるのであります▲お蔭さまで今日迄の成績は豫想以上であります、而し此成績が果して何時まで持續されるか否やに全く華客の御引立に依つて定まるのでありますが要は誠心誠意と實質を本位として努力しなければならぬと堅き覺悟を以て御高覧に訴ゆることを期してゐます▲御承知の通り本年も又色々な形の變つたストーブが市場に現はれてお客樣方のお心を迷はしてゐますどうか類似品の宣傳に耳をかさず實質本位で優良品の定評あるセンターストーブをお求め下さい、之が何より安全な方法で御座います

滿日各地版

撫順

卅四名を人質とし強奪惨殺をつくす
逮捕された馬賊頭目の自白 恐るべき犯罪の數々

既報滿洲馬賊の頭目天下好こと遂寧省撫順縣塔灣生れ傳金山（三七）その有力なる部下山東省曹州府生れ通稱長勝好こと李玉作（三九）同山東生れ霜霞こと楊玉春（二七）同山東省東昌府生れ牛佩和（三一）等は九月二十四日撫順中川刑事の一隊のため撫順市内歡樂園附近で逮捕されて以來半ケ月間に亘り司法當局の峻嚴なる取調べを受けてゐたが遂に包みきれず罪狀一切を自供取調べ一段落と共に十日漸く發表を許されたが彼等一味は撫順背後地清源、新濱、海龍各縣を荒し廻り昭和四年春以來の犯行で彼等が自供した分のみでも人質を拉去すること三十四名現大洋十數萬元を掠奪蹂躙つさへ支那討伐隊長巡警良民等を射殺慘虐の限りをつくしてゐたものでなるが自供したる犯行一部次の如し

昨年四月以來の大膽な犯罪

▲主魁天下好は昭和四年八月三日海龍縣南山城子に於て一味約二十名の馬賊團を組織長銃三挺その他拳銃を所持一味と共に南山城子大石溝農王樹元方に侵入王の長男十歳を人質に拉去奉票五萬圓を強要奉票九千五百圓を得▲同年八月十一日一味と共に海龍縣黒咀子農白某方へ侵入討代隊の來襲に逢ひそのまゝ附近に潜伏翌十二日再び白某方を襲ひ長男を人質に拉去現大洋一萬元を強要人質交換にて現大洋五千元を強奪▲同年八月十八日午前六時頃海龍縣六道溝の農石某方へ侵入十三歳の男子を人質とし現大洋一千元を強奪▲同年九月下旬清源縣沾山子農薛某方へ侵入二十歳の長男を人質に現大洋二千元を強要現大洋六百五十元を強奪▲十月下旬清源縣秀水甸子農曹均方へ指定の金を持參せねば全家を燒殺すとの脅迫狀を送り現大洋五百元を強奪▲十月下旬秀水甸子王某、王君方へ前同様脅迫狀を送り現大洋二千元を強奪▲昭和五年四月部下十五名を有する通稱長勝の一團と合併更に機關銃一、長銃二挺モーゼル三挺の精鋭なる武器を得▲六月中旬頃山城子農薛某方へ侵入二十五才位の男及他一名拉去現大洋三千元を強奪支那官憲の討伐隊と交戰人質射殺逃走▲六月下旬海龍縣長嶺子において更に部下十一名を有する頭目仁義の一隊と合し益々勢力を強め長嶺子の街道を通行中の荷馬車六七臺に乘車し來りし乘客中の李、張、金某三名を人質に拉去現大洋一萬元を掠奪▲七月中旬清源縣橋頭農吳某方を襲ひ二十四歳の男を拉去現大洋一萬元を強奪▲七月下旬清源縣匪徒討伐隊と交戰、張隊長を射殺▲八月初旬撫順縣に一味と共に移動同月三日撫順縣唐西人甸の農陳某方を襲ひ陳の長子陳秀春（一二）次子陳和春（一〇）の兄弟を人質とし現大洋四萬元を強奪▲同日更に東連力溝に到り趙連綿、唐王洋、韓振榮三名を拉去現大洋三萬元を強奪▲八月四日撫順撫順縣討伐隊と交戰第六區公安分員巡警呂明顯の左腕に貫通銃創を負はせ逃走▲九月九日奉海線南章永驛の南方路上に於て某支那人より現大洋二千元阿片約百匁を強奪その他十數件

仁義團の副頭目

別稿天下好逮捕後去月二十七日午後二時三十分市内歡樂園不康里支那料亭に於て逮捕したる山東省生れ通稱双全こと劉景然（三四）同韓文有（三四）同魏奎元（三二）は南北滿洲を股にかけ荒し廻つた大馬賊仁義團の副頭目で目下取調べ一段落と共に詳細發表になつたがその犯行の主なるものは

大正十四年六月北山城子豪農李某方へ頭目以下十八名と侵入人質拉去金票三千五百圓を強奪、同七月海龍縣本溪河農徐方に一味と共に侵入人質拉去に依り金票四千圓を強奪その後一度支那官憲に歸順後撫順炭礦古城子採炭所で働いてゐたが正業がいやになり亦馬賊隊を組織し一味三十餘名と共に機關銃一、長銃五モーゼル四、ブローニング二その他の精鋭なる兇器を以つて昭和三年四月以來人質拉去に依り現大洋約三萬元を強奪した者である

旅順苹果の輸出

旅順農會では昨年から天津、南洋さては奧地ハルビン方面へ名物苹果の輸出を試みたが好成績であつたので本年も第一回として九日紅白五百三十箱約二萬二千貫をハルビンへ移出した（寫眞は出荷上の窯倉作り）

安東の巻（3）

わが町の歩み（卅四）

戰塵の漸く納まると共に突如襲つた受難期
邦人は三分の一に激減し再び荒野原化せんとした

高橋貞二氏談

安東廿五年間中の最も受難期とも云ふべきは平和克復後の卅九年から四十年であつたと思ふ、卅七年軍政署は現在の安東市街である雜草の野原を支那人所有者から買收し、これに市街計畫をたてゝ一區域を百五十坪としてこれを七十五圓で貸下げ、各自が競ふて貸下を受けてバラック式の建築を初めたので、自然日本人街から現在の安東市に移り平和克復當時は人口五千と云ふ安東市街が出來上り、戰勝氣分の手傳つて居たセイもあらうが、市中は相當殷盛を極めて居たものであつた、然るに平和が克復し軍隊は撤退する、而も何れの戰後にも現はれる極度の不景氣が襲つて來たので、況して何等の根底が築成されてゐない非永住的な居住者は茲に至つて戰後の夢が醒めたが、時既に遲く既に生活を支ふるにも術がないものあり新らしい仕事は見つからないので自然相亞いで退散し僅かに一年を出でずして在住邦人は忽ち三分の一まで激減し頓に寂寞を感ずる様になり、商業は振はず工業も亦見るべきものなく、安奉輕便鐵道の廣軌改築工事も鴨綠江鐵橋工事も其の聲を聞くのみに過ぎずしてイツ實現されるか見當がつかず、殘餘の居留邦人はこの草創の地に相互共食して辛うじて生活を維持する狀態となり、萎靡は日を逐ふて重なり疲弊と困憊は殆ど名狀すべからざる有様であつた

既に再度の荒野原化し

やうとした安東が蘇生したのは四十二年八月七日現在の安奉線福金嶺トンネル開鑿の第一鍬が下されてからで其後引き續き鐵橋架橋工事が開始されこの二大工事が再び在住民を増加し市況を殷賑ならしめる原因となりさうして再興された安東はこの二大交通機關の完成により完全な貿易港となつたのである、勿論その後市の消長はあつたが當時のやうな一大受難期には遭遇せず遂に今日の安東市を形成するに至つた、數字の上から安東の貿易狀況を回顧すると次の通りである（單位千海關兩）

▲輸移入貿易

年次	外國品	支那品
明治四十年	二、八六六	三五三
大正二年	七、二三三	一、七七六
大正五年	一八、七七九	二、二三二
大正九年	三三、一八九	三、八六六
大正十三年	二五、〇二九	三、〇四八
昭和三年	四三、一二八	三、四六六

▲輸移出貿易

年次		
明治四十年	一三三	二、一四五
大正二年	二三七	八、六六〇
大正五年	一四三	一八、七三三
大正九年	九四三	二五、三二九
大正十三年	七六六	三八、五五〇
昭和三年	六一〇	四八、三六六

その中最も著ろしく増加及減少したものを擧げると（單位千海關兩）

	大正元年	昭和三年
綿布	三五四	二八、〇八一
綿糸	二二〇	二、三三九
毛織物	二六	一、〇七〇
砂糖	六四	一、八三五
麥粉	七六	一四三

この數字から見て安東

の商工業と貿易狀態は大體知られるが、廿五年前僅かに五十餘商店一工場、貿易額が廿二萬圓を出でなかつた安東が、廿五年といふ長い月日によつて日本人々口一萬五千、工場數一千三百九十九、商店一千九百十二戸といふ今日の狀態になつたことに思ひを致し、過ぎた二十五年の歩みを回顧して見ると、轉感慨に絶えないものがある、歳月といふもの位無關心の間に大きな仕事を成し遂げるものはなからう（この項終り）

旅順

市長杯問題から野球聯盟動搖す
關東廳側の態度を遺憾とし聯盟脫退の議起る

先般旅順野球聯盟主催にて全旅順のリーグ戰を行ひたる結果重砲隊對千歲の決勝戰となり重砲隊の優勝となつたがその際水山市長より寄贈の優勝盃は試合終了と同時に重砲隊へ贈るべき處該市長盃は十一日の小森運動具店主催の決勝戰試合終了後贈ると云ふ事となつた爲め主催者の態度に對し各參加チーム及び一般野球ファンの間には關東廳方面に對する非難の聲起り近く聯盟を脫退せんと云ふ氣か濃厚となつて來た、之れに對し一般チーム側の主張する綜合すと左の如くである

關東廳方面の態度は兎角勝手氣儘の振舞ありて試合毎に自己の主張を通す事は面白くない當初スターー卽ち重砲との試合に於てもその翌日完全に試合し得るにも拘らずこれを延期せしめ又今回の市長盃贈興に關しても忘れて來たとか間に合はなかつたとか其他種々嫌味な態度がある事は困つた次第だ

非難される理由なし
關東廳側言分

と云ひ一方關東廳側の云ふ處は次の如くである

一般チームは兎角關東廳側に對し善意を以て來ない事は遺憾至極だ市長盃の如きは市長から授與して貰へば意義もあり又それが當然で試合終了直ちに贈呈すべしと別段定まつた事でないので寧ろ參觀者の多い時華々しく授與式を行なつた方が好いと思ひあの時は丁度日曜で市長への連絡もなかつた爲め重砲隊とはよく了解した上延期したので斷じて非難を受くべき理由は一つもないと思ふ

全滿陸上競技大會記錄
第三日目

全滿陸上競技記錄會第三日目の五千米、三段飛、砲丸投、成績は左の如し

▲五千米　郭清榮（旅二中）一七分二二秒（一段）杵敬恒（同）一七、二四、二（同）河野萬治（旅順）一七、四五、八（同）高玉嶺（旅二中）一七、五〇八（同）積嚴（關東廳）一七、五七、八（同）宮崎繁次（同）一八、——（初段）山田盛一（旅一中）一八、〇八（同）張鍼良（旅二中）一八、一七、八（同）宮本平次郎（關東廳）一八、一八、六（同）川村文雄（旅一中）一八、二九、六（同）福永健三（旅一中）一八、三五、二（同）米岡健（旅一中）一八、三七、二（同）樋上康（關東廳）一九、一五、二（二級）

▲三段跳　長滿輝雄（旅順）一二米五三（初段）潘寶信（工大）一二、一五（同）林力（旅一中）一二、〇七（同）玉恒泰（旅二中）一一、三四（一級）高還義（旅二中）一一、一九（同）清宮宗賢（旅一中）一一、五七（同）西山茂（旅一中）一一、〇三（同）

▲砲丸投（十二封度）上倉藤一（體研）一三米二九（三段）林不二太郎（工大）一二、〇六（一級）番寶信（工大）一〇、八〇（同）張成海（師範）一〇、六四（同）

▲同（十六封度）上倉藤一（體研）一一米二五（三段）石丸正（大一中）九、九七（初段）加藤登志男（大一中）九、二八（同）林不二太郎（工大）九、三九（同）潘寶信（工大）九、一九（同）橫田享（大二中）九、〇五（三段）郭清榮（旅二中）九、二九（初段）最上義滿（旅一中）九、〇七（同）王泰恒（旅二中）九、〇三（同）張成海（師範）八、九七（一級）渾維章（旅二中）八、八七（同）劉兆珍（同）八、六八（同）周武臣（同）八、六九（同）笹本正義（旅一中）八、〇一（同）篠倉正仁（旅一中）七、七七（二級）

滿電バスの增車當分は不可能か
現在でも採算されず

旅順市内の滿電バスは從來通り三臺を以て新舊兩市街を運行しいづれも十分毎に發車してゐるが往々時間迄に目的地へ達する事が出來ない爲め車體增加の聲もありて旅順營業所にても目下考量中であるが然しながら一車一時間十二回運轉卽ち一日の運行回數は百八十四回となつてゐるも之れが據高平均は僅か四十錢内外にて採算上增車は全く不可能させられ殊に料金值下げの議もありて之れがため當業者は非常に頭を痛めつゝある模樣である右につき小山主任は語る

市民のため出來得るだけ安く利便を計るべく研究に研究を重ねてゐるが妙案が浮かばぬので困つてゐる、現在の狀況として市民間に多少の不滿足はあるかも知れぬが採算上や又種々の關係を伴ふ爲め今直ちに車の增加は一寸至難である、そこへ料金の值下問題も起つてゐるので全く客は少なし、車は增せ、料金は值下げせよと云ふのだから實際困難な問題です、然し何んとか此點に就ては善處すべく日夜苦心してゐる次第です

旅順の双十節

支那双十節に當る十日旅順では午前十時より公議會學生團聯合の下に市内鯱島町晃粲園に於て記念祝賀會を開催したが會場正面には故孫中山の肖像を掲げ美々しく裝飾され定刻一同着席の後潘修海氏開會の辭を述べ奏樂神昇旗、拜禮を行ひ國歌を合唱の後一同は孫中山の肖像に對し禮拜なし次で孫氏の遺訓を朗讀三分間の靜默を行ひたる上公議會副會長孫兆安氏は一場の開詞を述べ祝辭の朗讀ありて學生の講演あり奏樂裡に萬歲を三唱正午閉會したが午後一時よりは餘興として唱戲あり盛會を極めた、因に會場には數片の警句を掲げ入場者の注意をひいた

招魂祭に寄附

十一日旅順新市街警察官招魂祭擧行に際し旅順市より供物料として金一封旅順市會議員倶樂部員より苹果一對又新市街居住民一同からも紅白餅一重ねを寄贈した

果樹園の視察

旅順農會主催にて團體を組織して來る二十七日旅順出發三日間の豫定で金州普蘭店方面の果樹園視察を兼ね目下開催中なる普蘭店物產品評會參觀を爲す筈で已に會員も二十餘名に達してゐるが參加希望者は十三日迄に農會へ申込まれ度いと因に費用は實費

生れた人

▲末廣町二五ノ二　官吏永田正巳長男正樹二十五日出生
▲元寶町一三五　官吏清水長貫長女美美子二十七日出生

公主嶺

逝く秋を追ふて男女の心中
女―藝妓、男―生魚商

市内朝日町料亭出毎抱藝妓友治事原籍大阪市東賑町四一幸松ハルエ（二〇）は花園町生魚商名和竹三郎（二六）と本年初夏より馴染を重ね相愛の仲となつてゐたが十日午前四時名和の自宅二階の寢室に於て男は女を絞殺し自分は鋭利な商賣用の出刄庖丁を以て咽喉を搔切つて心中を遂げた、此の慘劇を隣室に就寢中のボーイは氣附かず七時頃起床したが常になく主人が起床せぬので外出し九時ころ戻つて見るとまだ主人が起きてゐないので不審を抱き襖をあけたところ室内の慘狀に驚き各方面に急報したので大騷ぎとなり警察より警官臨檢型の如く取調の結果遺書より合意の情死であることが判明した友治は溫和な性質で萬事に慣み深く浮名を流すやうなこともなく至極眞面目に座敷をつとめ當地最古參の藝妓として人氣を集中してゐたもので同夜の如きは一時頃まで酒席にありて世辭談笑何等異狀なく二時頃外室してこの始末を見たものである

本社敬老喜の字祝ひ銀杯受領の人々（4）
八十一歲

大分　嘉永三・二・三　旅順市高千穗町一ノ一　橋本シゲ

熊本　嘉永三・二・二三　沙河口白金町二〇　中原清一

山口　嘉永三・六・二三　大連市千歲町三　河村よし

富山　嘉永三・三・二六　大連市錦町五ノ一九　廣瀨仁十郎

山形　嘉永三・六・二六　沙河口霞町八四　菅原てる

佐賀　嘉永三・七・七　奉天富士町六　前田ワカ

香川　嘉永三・八・五　沙河口霞町一四ノ北二四　德重トヨ

愛知　嘉永三・八・二九　大連市浪速町一四八花乃屋　白木ツルヱ

廣島　嘉永三・一二・一三　大連市霞町三南二四小西方　日内勘五郎

埼玉　嘉永三・一二・一四　大連市惠比須町七四　利根川リュウ

愛知　嘉永三・一〇・一〇　大連市奧町二二　平松さも

廣島　嘉永元年（八十三歲）　本溪湖桃月町　高田かれ

正誤▲昨十一日の本欄見出しに八十三及び四歲とあるは「八十二歲」の誤りにつき訂正す

奉天

利達公司の手で特產物買占
官銀號出資の下に

[illegible]

日曜の催し

[illegible]

瀋陽營口間の特定賃金
滿鐵線の半額

[illegible]

町のニュース

[illegible]

人事

[illegible]純氏　九日夜天津より歸奉
[illegible]純氏　同上
[illegible]才氏（吉敦鐵路局長）　十日[illegible]春より來奉

教專小學校の强行軍

[illegible]

原動機檢查

[illegible]

滿洲報廿五周年新社落成紀念
輿論之母
吳鐵城祝

外交官物語　（七）
在東京　一記者

外相として最も期間の長かつたものは、內田康哉伯であらう。第二次西園寺內閣に林董伯の後をうけて外相となつてから、原內閣、高橋內閣、加藤（友）內閣と四代の內閣に入り、年限に於いても一番長い。それだけ事件も多い。支那問題の八釜しかつたのも內田時代であらう。

× ×

外相としての內田には功罪ともにある。そして、その非難の多くが二重外交の弊に煩はされたといふ點にある。

× ×

日清から日露の役までは、支那討つべし、ロシヤ討つべしで日本の國論は一致してゐた。それが日本のスローガンであつた。外交も軍事も教育も皆これを目標として進められた。この時の思想と準備とをもつて、戰後の支那外交を指導しやうとしたのが、所謂山縣公を背景とする軍部であつた。支那に於て日本が列國とは別な、特殊な關係を有し、日本としてその地步を確保しなければならぬといふ根本の精神に於ては陸軍も外務も變りはない。がその方法に於て、外務はなるべく列國との强調を破るまいとし、軍部は場合によつては破るもまた止むを得ないとし、そこに大きな意見の開きがあつた殊に日露役後、歐洲大戰前後までの支那に對する日本の勢力は絕大なものがあつた。流石の袁世凱でさへ、日本の意思を無視しては政體を變更することが出來なかつた。その頃陸軍の手は八方に伸びてゐた、情報を取るにしても外務省よりは陸軍省の方が早かつた、といふやうなわけで陸軍の威張るのも無理はない。

かうして、陸軍と外務の權限が往々にして、といふよりは事每に錯誤した。しかも一方には山縣あり、內田の力では押切れなかつた從つてこの罪は必ずしも內田のみにあるとはいへないだらう。陸軍が力が有過ぎたのだ。

× ×

支那に第一革命が起きた時、內田は初め、干涉しないつもりだつた、そのことを一日話に來た犬養に話した。ところが隣邦に革命が起るといふことは、日本に直接思想的に惡い影響を及ぼすといふ山縣公等の意見が出て、政府として只傍觀だけはしてゐられなくなつた。それを後で犬養が議會で問題にした、內田は犬養に手痛く議會でやつゝけられた「私的の話を公開の席で問題にするとは怪しからん」といつて內田は憤つたが、どうにも仕方がなかつた。爾來彼は外交の機密は絕對に關係當局者以外には話さないことにした。いまでも彼は秘密主義である。

× ×

ワシントン會議の時、山東還附問題について周自齊が、隱れて日本に寄つたことがある。國權回復運動の盛んな時で、排日の聲が頻りであつた。それで周自齊の訪問は絕對の秘密だつた。その時にも軍部の意見に押されて、內田の腰が決らなかつた。折角原首相と會見したが、何の得るところもなく周は只「原はずるい」といつてアメリカへ直行した。

× ×

內田は外交官としては、屢々外相となり、伯爵を授けられた。一身の榮達は何人にも劣つてゐないその點で彼は幸運兒である。しかしその仕事のあとを見ると、彼は廻り合せが惡かつた。日支郵便條約はパリー講和會議の結果として結ばれたものであるが、樞密院では伊東伯から「遼東の地は、日本が兩大戰役に國民の血と肉とを犧牲にして得たものだ、その土地の郵便權を支那に返すとは何事だ」といつて外相は何の顏あつて、國民と祖宗の前に謝することが出來るかとまで攻擊された。

眞に、その頃のことを顧みると轍に一簣を讓り、夕に一城を失ふの感があつた。しかも、それが必ずしも內田が弱かつたからではない。時勢がさうなつて來つゝあつたのだ。そこへ一方には陸軍側の外交が强いといふわけで、內田には氣の毒のやうな氣がする。

× ×

廻り合せといへば、長い間政友會の外相を以て待つてゐた。小川平吉などゝは最も懇意だつた、それが田中內閣で不戰條約の全權となつたばかりに、樞密院を去り、田中逝き、小川があのやうになり、しかも政友會は當年の犬養を總裁として迎へた今日、內田は僅に濱口內閣によつて勅選に復活した。いまでは誰も彼を政友系といふもののないのも、矢張り持つて生れた彼の運といはうか。

遼陽

警官武道大會
遼陽の出場者

[illegible]鐵警務局の警官招魂祭には遼陽から小野寺巡査が署員代表として參列したが武道大會には劍道高橋三段阿部小野寺兩初段柔道中、諏訪兩二段大塚三段が出し市中側から德臣精練久保三段、松原、古澤の三初段が出[illegible]

靑訓所の查閱

[illegible]靑年訓練所の查閱は九日午後[illegible]から小學校において執行六時了したが受閱者廿三名百パーセントの出席であつた查閱者は軍部靑訓主任將校荒木少佐で酒井兵分隊長、見坊地方所長杵淵滿鐵各箇所長その他立會官閱の結果成績頗る良好であつた、因に荒水少佐は八日來遼訓練生の勤務や雇傭主宅訪問訓練生の意義並に訓練の趣旨等に付懇談する處があつた

金融役員會

遼陽金融組合では十日午後七時から事務所に於て評議員會を開き不動產擔保貸附及び新加入者の資格に付協議した

双十節の祝辭

民國双十節當日午前十時から山崎副領事、菊池署長代理、木村通譯官其の他縣公署に文知事訪問祝辭を述べた

開原

兒童愛護デー

開原地方事務所主催の兒童愛護デーは十一日午前十時より小學校兒童の旗行列を擧行し左記行進歌を高唱して市中を行進し兒童愛護の趣旨を一般に宣揚した

滿洲里

滿洲里の邦人數
第二回國勢調查結果
朝鮮籍民が激增す

一日午前零時を期し執行された國勢調查の結果滿洲里領事館管內の邦人人口は左の如くである

▲內地人人口

方別	男大人	男小兒	女大人	女小兒
滿洲里	四一	一九	六五	二〇
扎來諾爾	五	一	七	―
海拉爾	二六	四	二九	四
立克圖	六	―	三	―
計	七八	二四	一〇四	二四

▲朝鮮人人口

方別	戶數	男	女	計
滿洲里	二五	三〇	三六	六六
扎來諾爾	一	一	二	三
海拉爾	三四	五〇	四九	九九
ライ湖	五	五	三	八
計	六五	八六	九〇	一七六

右の通りであるが人口は第一回國勢調查が不明につき大正十二年[illegible]月現在に比較すると管內全人口は內地人當時二百十二人に對し一部の增加に過ぎないが朝鮮人は五十六人に對し三倍以上の增加を示してゐる、尚人口調查を仔細に點檢すると色々面白い事が發見される、內地人の大人の男女の比率は女の方が男より三割多いが子供は男女同樣である、大人の女の多い事は特殊婦人の發展を物語り子供の男女の同數なる事は將來の邦人發展上に喜ばしき事である、朝鮮人は男女の比率が殆ど平均して居るなほ邦人職業別中ハイラルに女の皮衣製造業者のある事が異彩を放つて居る

安東

度量衡器の集合檢查

新義州署では來る十三、四、五、六の四日間に亙り府內に於ける度量衡器の集合檢查を署構內にて施行する筈である集合檢查は夙に法規の定むる所なるも是まで實施されて居なかつたのを今回初めて施行する事となつた次第であるが檢查は總督府はじめ平北道、新義州府の各檢查官立會の上嚴重に行ふ方針であると

自動車運轉手
志望者激減

平北自動車運轉手の免許試驗は來月初旬施行の筈で目下最寄警察署に於て願書の受理中十日締切となつてゐるが新義州署には前回百五十名と言ふ多數の出願があつたに今回は頓に減少し昨日までに七十餘名に過ぎないと

双葉幼稚園
滿鐵移管要望

六道溝に設立されて居る私立双葉幼稚園は創立當時五十名の園兒を收容する豫定の處其の後益々盛大となつて現在收容園兒九十名を算するに至りたるを以て今回同園管理者中島三代彥氏より滿鐵移管に對する要望書を安東地方事務所長宛提出する處があつた

千葉氏講演會

千葉胤明氏は九日朝來安午後二時より高女に於ける講演に臨み同七時より安東俱樂部に於て一般の爲め講演會を開催したが演題は「明治大帝の御盛德に關して」と題し多大の感銘を與へた尚同氏は十日午後より新義州修養團の講演に臨み同夜の急行にて京城に出發した

艦隊乘組員歡迎會

第二遣外艦隊司令官津田少將以下「樺」「檜」兩艦乘組將校の歡迎會は八日午後五時半から安東公會堂において開催された參會者は約百五十名米澤領事發起者を代表し歡迎の挨拶を述べ之れに對し津田司令官の謝辭ありて宴に移つたが宴の酣にして由良ノ助連の鴨綠江節踊其他の餘興あり遊南兩地の美妓酒間を斡旋主客十二分の歡をつくして八時頃撤宴した

鐵嶺

散宿する軍隊に
心からなる歡待
各處に持上つた喜劇

秋季演習に出動せる各科兵一千餘名が八日鐵嶺市內に散宿し九日は一日休養を與へられたので市中は久し振りにカーキー色の波が漂ひ各商人の懷ろに尠からぬ金が落ちたやうであるが利に敏い支那人の野菜屋達は軍隊散宿の聲に暴利は此の時とばかり平價の二倍三倍にセリ上げて足許をねらひ警察から油を絞られた者も隨分あつた、今回の散宿で何處も彼處も心配したのは寢具の補充で[illegible]一本北に南に飛ぶ會社員などは餘分の夜具のあらう筈なく軍人は泊めたし夜具は無し假作りに妻君が轉手古舞をする者や居留地や軍人の泊らない知人の家から借入れるといふ騷ぎもあり、二晚の散宿だから一晚は此獻立二晚目は此獻立と妻君連中精一パイ腕に撚かけて歡待大いに努めたが九日午後俄に出動命令が出て五時頃に出發となり獻立料理どころか泡くつて辨當の準備をするなど悲喜劇が隨分あつた、各戶とも軍隊散宿には心からなる歡待を盡した

珠算競技會
近く擧行

鐵嶺商工會議所主催の下に來る十九日乃至廿六日頃全鐵嶺會社商店員の珠算獎勵の爲めに珠算競技會を開催すべく目下準備中で近く參加者を募り盛大に催し優秀者には賞狀賞品を贈ると

警官武道大會
鐵嶺の出場者

十二日旅順に擧行される全滿殉職警察官招魂祭武道大會に鐵嶺から柔道部より白鳥巡查、有田巡查、河田巡查劍道部より久元巡查、千葉警部補、稻村部長の六氏出場することになり九日特急で旅順に向つた、靑木署長は署長會議出席のため八日夜出發した

双十節の祝賀

支那側國慶記念日は既報の如く十日午前十時より南關中學校に於て式典を擧げ支那側各界官紳は勿論日本側からも石塚領事代理以下多數列席盛大に擧式せられ記念撮影後縣公署に於て祝賀宴あり黃縣長の挨拶に石塚領事代理及英國宣教師シ氏の祝辭あり盃を擧げて民國の萬歲を祝したが南北和戰直後とて祝賀氣分濃厚であつた、尚夜は學生聯合の大提灯行列を催す恒例とせるが今年は財界不況の折柄緊縮の聲高く遂に行列は中止となつた

公安局長更迭

鐵嶺縣公安局長劉成文氏は今回康平縣公安局に轉任の內命に接した後任は未定

四平街

滿鐵武道場
近く竣工
餘興を準備

三萬餘圓の巨費を投じ建坪四百十平方米突といふ宏壯な增築をなしつゝある滿鐵俱樂部武道場は其後の工程着々進捗して遲くも來月中旬華々しく落成式を擧行さるゝ筈なるが市民側に於ても之れが祝意を表すべく目下各方面の有志は寄々協議中にて既に料亭側を初め一般天狗連は餘興出演の考究中なりといふが愈々落成式を擧ぐるに至らば祝賀氣分漂ふて當分は晚秋の町を賑はすであらうと期待される

哈爾濱

東北陸上競技
哈爾濱側選手

東北四省陸上競技第三回大會はハルビンからは中學生の選手九十一名一行が九日二輛の專用車で南下奉天に向つた

双十節の祝賀

十日は双十節にて支那側各官公署は休廳し特區行政長官公署では在哈各領事團の拜賀を受け祝賀式を擧行した

鞍山

地藏尊の
開眼式
けふ盛大に擧行

鞍山有志によつて建立された地藏尊の開眼式は既報の如くいよ〳〵本十二日午前十時より葬祭場に於て盛大に擧行せられるが當日は遼陽海城方面よりも多數參列者ある見込で盛況を呈するものと豫想される當日開眼式次第は左の如し

一、委員長挨拶二、灑水三、僧侶燒香四、三迴散華五、表白文朗讀六、開眼の偈七、讚の話參列者代表八、讀經九、參列者燒香十、地藏和讚合唱十一、一般隨時燒香十二、接待十三、餠撒き

長唄演奏大會
盛大に催さる

鞍山長唄研究會美也古會主催の第九回秋季長唄演奏大會は十日双十節を卜し午後六時三十分より鞍山演藝館に於て開催したが入場者多數にして滿場立錐の餘地なき盛況を呈し左のプログラムにより進行され午後十一時頃閉會した

一、春雨傘二、松の綠三、花車四、喜三の庭五、鳥羽繪六、秋の色種七、今樣望月八、春日龍神九、小鍛冶十、寒行雪の姿見十一、筑摩川十二、鋼館十三、越後獅子十四、秋の曲十五、多摩川

郵便局の業績

鞍山郵便局九月中取扱ひ郵便物統計を示せば左の如し

▲通常郵便之部

	引受	配達
普通	九六、〇三一	一〇四、八一四
書留	一、一三〇	一、一三八
價格表記	三五	四七
計	九七、一九六	一〇五、九九九

▲小包之部

	引受	配達
書留	二九五	二、六五五
代金引換	三	六六九
計	二九八	三、三二四

▲爲替貯金之部

	振出	拂渡
爲替	二四、二〇七、三九	九、六九八、九八
貯金	二七、二六三、七一	二一、六一八、九九
振替貯金	二八、〇〇九、六〇	八、六四三、〇五
計	七九、四八〇、七〇	三九、九六一、〇二

輸組役員會

鞍山輸入組合では十一日午後七時より組合事務所に於て第五回定例役員會を開催し內地合理化狀況視察團の團員募集其他の件に就き協議した

三角氏講演會

本派本願寺三角貫忠氏は十日來鞍實業協會堂に於て社會係後援の下に宗教講演をなしたが十一日は午後二時より一般婦人のため家庭研究所に於て講演する筈である

不老不死　仙遊記　（二十）
竹內克己　作
淺枝次朗　畫

兄の陰謀（二）

そうして夜が來た。夜は一切の秘密をつゝむものであるが、また夜は一切の秘密を暴露するものでもある。

殷誠の妻は始めから此のからくりを見ぬいて居たが、それを確實にする爲め、夜ふけてひそかに文魁夫妻の室の表に隱れて樣子を見てゐた。

一切が明白になつた。

早速に深更ではあるが、まだ床の上に泣いて居る主人の妻夫人にそれを告げ、安心さすのであつた

「……そんなぐあひで、まだ旦那さんや私の夫も生きて居るのですから必ず一二年のうちには歸つて見えるでせう。今このことを訴へて見た所で、それといつた確な證據があるわけではないのですからものにはなりますまい。それよりは兄さん夫婦が相談してゐた、あなたを早く人に嫁入らすといふ話の方がおそろしいですよ。何んでも話の樣子では此の家も旦那さんの歸らない前に賣り拂つて山東の方にいつて住まうなどとも言つてゐました。泣いてゐらつしやる時ぢやありませんよ」

あくる日、嫂は酒肴を義妹の室に運ばして色々と慰めの言葉を與へたすゑ

「文さんもなくなつたのだが、あなたもそういつまで單身で居てもつまらないでせう。節婦なぞと言はれて見たところで馬鹿らしいことですからね」

「嫂さんのおつしやる通りですとも、一二年夫の喪に服した後は又何んとか嫂さんにお願ひ致しますよ」

「一、二年は長いけれど、そのうち少し日がたつたら御相談しませうよ」

と、嫂は氣を引いて見るのであつたが、姜夫人の方は昨晚、召使ひの殷の妻から聞かされてゐるので、要領よく、一二年は嫁がないことをそれとなく言ふのであつた

兄文魁の方では弟と父の柩を送つて歸つたその日から山東へ移住の準備をし、四五日たつと三町二段步の土地をも八百八十兩で賣拂つてしまひ、弟にやつた家も三百二十兩で來月引つ越す約束をして手付金までとつてしまつた。

小人玉を抱いて罪ありで、四川から持つて歸つた金や、田地を賣つた金を合はすと二千兩にはなるので急に氣が大きくなり、いつもの病氣の賭博がうちたくなり、始めの日は六十餘兩程も勝つたが、次ぎの日は六百五十兩程も負けた。

金にやかましい妻は大いに怒つて果ては泣き騷いだが、負けた金をとりに來た喬といふ男が、賭博打ちの大男で、强盜の一つもしさうなつら構へをし、玄關先で、負けた金を出せと怒鳴り散らすのでどうすることも出來ず、澁々出したのであつた。

然し何んとしても負けた金がおしくてたまらない。

丁度いいことにはその喬といふ男が、山東へ歸るとき妾を買つて行きたいと話して居たのを思ひ出し、そのことを妻に話すと

「そんないい話を忘れてゐる樣ですから賭博にも負けるのですよ。あなたは弟を捨てる才はあつても弟嫁を捨てる智慧はないのね。喬が妾を欲しいといふのはもつけの幸ひぢやないの。六百兩はとり戾せますよ」

「でも一、二年はいかないと言つてるつてことぢやないか」

「そんなんだから六七百兩を苦もなくとられるのですよ。明日喬を訪れて、六百五十兩で妾を世話しようと言つてらつしやい。非常な美人だと言つてらつしやい

そして夜中の一時か二時かに轎を持つて迎へに來て貰ひ、無理にでもつれ出すのです。なあに生米もご飯になつてしまへばそれでおしまひぢやないの」

「召使ひの殷がどうなつたりするとまづい、町の人が來たりして事が面倒になりはしないかい」

「だからその晚、あなたは外に泊ればいゝでせう。一時二時では町の人も來はすまいし、ばれた所であなたの留守に强盜が這入つて後家さんを盜んでいつたといふことにすればなんでもないことでせう。それにその日は夕方から私が、嫂に酒を少しでものまして醉はして置きますよ」

「アハヽヽヽ、全くお前は今の世の諸葛孔明だ。明日はきつと喬をうんといはして見せる」

此の二人の密謀を、忠實な殷の妻はすつかりききいて、夫人につげると、姜夫人は

「もうこれまでだ。私や死ぬばかりだわ」

と言つてよゝと泣き伏した。

「兵をふせぐには將、火を防ぐには水で、何もお泣きになることはない。こちらも奇計でこれに向へばいゝのでございます。酒をもつて來る日が、買手の奴の來る日ですから……」

彼樣かやうの計略でうまく裏を書くことを話し

「もし計がうまくいかなかつたときは、私は宵のうちから街に出てゐて街中をどなり步きます、いくら夜中だとてきつと人は來てくれますよ。うまくゆけば二人でこつそり私の嫂の家へ隱れませう」

「みんなお前にまかせるわ、萬一の場合は死ぬ覺悟をきめたのだから、もう何んにもこわいことはないよ」

翌朝になると、文魁は喬をその宿に訪れて、弟の後家の美人なること、足は小さくて軟かく、背も高くなく、眼の面に高い鼻が突起し、全くの鵝頭であること、遠くからその足を見ても人を動かす位だから、手に入れてからは一段の妙味があるだらう、こんなのをほんとうの金連といふのであるなどと、喬の好色心をそそつたので、喬は心太いに動き、つひに六百五十兩で取引きすることにきめ、其の場で金を渡した。

（註支那では昔から足が色情の對照物となつて居る）

榮光ストーブ

斯界優秀無比
標準型榮光ストーブ

標準型**榮光ストーブ**の御利用に就て

効力　榮光は元來零度以下の極寒地を目的として製造せられてゐますので熱効力に付いては偉大なる供給熱を持つて居りますから從來品の數倍の放熱力があります

燃料　**榮光ストーブ**は安い石炭で高價な無煙炭の代用をなし得られますから必然的經濟であります

場所　住宅　店舗　事務所　病院　倶樂部　其他あらゆる方面に利用され最も理想的に暖められます　又餘熱を利用して種々有効に使用出來ますから詳細は最寄代理店へ御照會下さい

經濟化　適温を得ると云ふ事は衞生上必要であります　よく**ストーブ**に温まつて風邪を引いたと云ふ事を云はれますがそれは温度の亂費に依る事で又經濟的にも適温を得ると云ふ事は無駄をしませんから利益となるのであります

必要な温度　室内の温度は無茶苦茶に上げては不經濟な事で以下が適温とされて居ます
一般室内　攝氏21度　集會場攝氏16―18度　病室攝氏22度

据付の注意　据付けはなるべく**ストーブ**の下へ台を使われる方がよろしくあります場所は室内の模様によりますが概ね室の中央を理想とします

煙突　煙突は煙を出すものでなく吸引力と排出瓦斯に利用されますので規定（別紙使用説明書ニアリ）を參照して下さい

使用方　使用法は至極簡單でありますが一應別紙説明書を御精覽下さい

製造元　大阪　**谷鑄工製作所**
滿洲代理店　奉天　**藤田洋行**
關東州代理店　大連　**福幸公司**

大連代理店
淨速町　**船塚洋行**
山縣通　**鴻恩洋行**
山縣通　**芦田洋行**
イワキ町　**頑固堂**
對島町　**水野商店**
市場前　**渡邊洋行**
入船町　**共同組**
旅順　**喜野商會**
沙河口大正通り　**つるや**
監部通り　**仁裕洋行**
同　**先明公司**
同　**日新公司**
淨速町　**恒信號**
敷島町　**享利鐵工所**
秋月町　**中興精米所**
大山通　**藤川商店**

奥地代理店
安東市場通り　**頭川洋行**
撫順東四條通り　**森山洋行**
奉天小西邊門裡　**石井洋行**
鐵嶺城内　**松岡洋行**
開原大街　**能地洋行**
四平街仁壽街　**橋本洋行**
公主嶺花園町　**濱田洋行**
長春日本橋通り　**和登洋行**
吉林河南街　**裕泰號**
哈爾賓地段街　**和登洋行**
遼陽昭和通り　**天泰商會**
鞍山北二條街　**野毛兄弟商會**
營口新市街　**盛和公司**

寒夜に宿を求めて 無料宿泊所へ雲集
社會館や智光院は押すな〳〵 内地と奧地から

寒風が吹き出してから寒さが急に肌にこたへて來る昨今は市の社會館や智光院を利用する落魄者もメツキリ殖えて來た、社會館の宿泊者多い時が五十二、三名、少い時で三十五名、平均四十七、八名と云ふのが現在の狀態で智光院は多い時が七十一名、少い時が三十五六名、平均五十一名と云ふ現下の成績である、兩方合計して百名强の失職者が毎夜御厄介になつてゐる譯で近く宿泊人の殖えたのは内地が不景氣のため職にあぶれて渡連して來た者が多くなつたのと、奧地方面より流れ込んで來た者、並に公園のベンチや神社佛閣の軒下に假泊してゐた者が寒さのため餘儀なく宿を求めて來る者が增加した關係で尚これより晚秋初冬の候になればこれ等宿泊者が益々殖える事だらうと當事者は語つてゐた

二萬噸の軍艦も 屁古たれた
十日の物凄い風浪 定期船の檢疫も支障

十日早朝より吹きつのつた北西の風は埠頭一圓を荒狂ひ防波堤内まで大きな白浪を立たせてゐるがお蔭で入港船舶の檢疫も思ふにまかせず、定期船はるびん丸、大連丸等も岸壁に着埠の上檢疫せざるを得ない有樣で、殊に滑稽なのは二萬噸の巨大な艦體を有する一號、二號ブイに繋がれてゐた英國巡洋艦カンバーランド號は何時の間にか艦首のもやいを切斷され鬼船大連丸、帽島丸に押れて辛うじて位置の轉換をまぬがれてゐたが、正午頃遂に吹きあれる風浪にゐたゝまれず拔錨して港外に出て金州沖に風をかわすところあつた、從つて上陸中の英水兵のうちでは母艦に歸る便がなく埠頭待合所をうろ〳〵する悲喜劇を演ずるなぞいたづらな風浪ではある

孝宮樣御誕生 宮中の御內宴
御父御母兩陛下初め 照宮樣にもお出まし

【東京十日發電通】孝宮樣の御誕生に祝がれる宮中御內宴は十日夜六時から宮中御內儀にて天皇、皇后兩陛下を始め奉り御姉君照宮樣も御出ましになり御催しになつた、臣下からは牧野內府、鈴木侍從長、竹屋女官長以下側近奉仕者も御陪席を差し許された

百萬突破の 名古屋市
十日の祝賀會

【名古屋十日發電通】名古屋市では鶴舞公園に二百二十萬圓を投じ新築した新公會堂にて十日午前十時より東久邇宮殿下の台臨を仰ぎ人口百萬突破記念大會を催し、併せて公會堂竣工外三事業完成を祝した、席上東久邇宮殿下より令旨を賜り出席者は舊藩主德川侯夫妻始め名士多數に上り非常な盛會であつた

教育勅語煥發 記念講演
全國へ放送

【東京十日發電通】十月三十日教育勅語煥發記念日に東京帝國大學講堂にて記念式及び講演會を擧行するが、當日の田中文相、淸浦奎吾、三上參次博士等の講演は東京放送局を經て全國に中繼放送さるゝ事となつた

結核新療法 外科的治療と 鹽無き食養法
平山博士の歸朝談

【ハルビン特電九日發】八日の歐亞直通連絡では歐米の外科醫學界を視察の奉天醫大教授平山遠博士と紐育三井物產支店の佐々木高尙、福井孝一の兩氏に、イタリー大使館書記官夫人粟原つる女史その他動……乃至五十名あり各專門の醫師が揃つてゐる、ニユーヨークにも同樣のものあり何處の病院でも多數專門の醫師を招聘所謂病院の合理化が行はれ從つて技術も著るしく進步してゐる、歐洲では何といつてもドイツが進步し歐洲大戰後の苦難から經濟的に非常な艱難をしながら病院だけは堂々たるものを新築してゐる、米國が在來の機械的施術法であるに對しドイツは常に新工夫のものを採用し駸々乎として止まない點は豪いものである、結核の外科新療法について研究して來たがベルリン大學では數年前から外科的結核（皮膚、手足、關節、ルイレキ）を

食養法で 治癒する實驗を擧してゐた、この食養法は患者の攝取する食事に全然食鹽を用ひず結核患者を治癒するのだが、これは昔食鹽を使用しない食物を常食としてゐた遊牧民族は結核患者がなかつたといふ點からヒントを得たもので肺結核の初期のものにこれを應用して效果あり、現に八月末イタリーから五十名の醫師團體がその方法を習ふために參觀した際私も機會を得て列席したが治癒患者を集合し寫眞と比較して實驗の結果を報告したがいづれも愕いてゐた、このことは他の大學でも實驗し

外科的に は效果あることが判つた、この施術方法を發見し試みるまでに至つたには色々エピソードがある、ベルリン大學のザウルブルフ教授が試驗的に實施したがその助手マルマンドルフ氏は食事を擔當してゐた、マルマンドル氏の夫人も亦醫師であるが人の嫌厭する結核患者と共に寢食を共にし夫妻が獻身的に療養に當つてゐたのでこれを聞いたカトリック教の尼僧が「妾もさうした人道の救ひのため當ることができれば幸福だからその仕事の一部を擔當したい」と申込み今ではその夫妻醫師の助手に尼僧が働いてゐる、私も一度その食事を試食したが却々美味しい、現在日本の食事に應用することは甚だ困難だが阿部博士とも相談して

奉天で試 みたいと考へてゐる、それから結核療法に胸腔外科施術をしてゐる、この法は橫隔膜神經を切開しそれで治癒しない場合肋骨の神經を少しく切り外科で結核を療養するのであるが甚だ效果的であることを知つた、今回の視察によつて技術は日本の外科も歐米には劣らない。特に研究の設備その他は世界より進步的であることは意を强くした、なほこれまで我々は研究室內に閉ぢ籠つて社會とは沒交涉の生活をしてゐたが、歐米における患者は外科醫師を信賴し切斷を勸められるとその場で承諾したゝめに初期の治癒に

成功する のであるから今後我等も患者の信賴するやう社會的に進出せねばならぬ、所謂醫學も街頭に立たねばならぬことを痛切に感じた

花蔭亭を 御披露
各皇族をお招き

【東京十一日發電通】天皇、皇后兩陛下には十一日午後二時半より秩父宮妃、閑院宮大妃、李王同妃殿下等十二方を宮中に御招きの上全國官吏より大典奉祝のため獻上した吹上御苑の御休所花蔭亭を御披露遊ばされた

……力會議に出席の名古屋硝子株式會社の技師村田八束氏等が歸來した平山博士は語る 一昨年三月出發し米國から歐洲を廻つて來たが、米國は最近大規模の病院が續々出來、シカゴ市から三百五十哩ロチエスターといふ小さい町に一千五百名の外科患者を收容する病院があり全米は勿論南米から遠くは歐洲よりの患者が入院し一日 **開腹施術** だけでも三十名……

出來上らない先に 次の貯水池を心配
濁家屯も昭和十一年には涸れる 激しい大連市の膨脹

＝日支人＝ 三十萬の大連市民の命をつなぐ泉、濁家屯の貯水池は目下着々工事進み堰堤も殆ど完成し工事の八割は出來上つたが、昭和七年の六月中に貯水池を完成して七月の雨期に水を貯める豫定であるといふ、矢張り經費節減の影響を受けて全工事の完成は一年遲れ鐵管をしいたりその他の附帶工事は八年度に終ることになつてゐる今までの狀態だつたら大連現在の貯水量では七年度には水の不足を告げる筈のところ本年は

＝大降雨＝ で貯水池の壽命が一年半伸びたので土木課出張所の大槻水道係主任も一年の工事遲延でやきもきのところをほつと一安心の態である、しかも本年は昨年の一日平均淨水使用量二萬二千五百噸に比し約一千噸の減少を示してゐる、これは本年は油房が殆ど仕事をやめてをり、その他不況のせいで工業用水の使用が減つた爲めだらうが、しかし急激な大連市の膨脹によつて千五百萬噸の貯水能力を有する濁家屯も昭和十一年末には

＝不足を＝ つげ、三つの貯水池も空になつてしまふので目下次期貯水池工事の計畫に忙しい、大槻主任以下毎日の樣に金州及び金縣沿線の各地に出張して次の貯水池豫定地の踏査に忙しいが、人口百萬の都市計畫に當つて次の大貯水池は少くとも千五百萬圓から二千萬圓の工事費を要する尨大なものだけに大連近隣には適地がないので大沙河附近に敷地を求めやうといつた騷ぎだ、濁家屯貯水池が完成するまでに大連における淨水工事には約千五百萬圓を費して居り大連市民一人當り

＝百圓の＝ 金が使はれてゐるわけである、目下市內日本人の淨水使用量一日平均四・五立方尺に當り、支那人はその三分の一の一・五立方尺であるが、今回の都市計畫案によれば日本人七立方尺支那人三立方尺を割當として大貯水池を造らればならず、千五百萬圓乃至二千萬圓の巨大な費用を要することになるのだといふ（寫眞は完成近き大堰堤）

死刑廢止の理想 わが國で實現は何時？
花井博士の所論に共鳴者增加の折から 氣掛りな二死刑囚の再審申請

【東京特電十一日發】贖罪の極刑たる死刑廢止說はわが法曹界多年の懸案となつてをり、その廢止論者の筆頭は花井卓藏博士であるが司法當局がこれに耳を傾け理想として死刑廢止を認むるやうになつたのはつい最近のことである、わが國刑法の母體ともいふべき **ドイツ** でも昨年邊から刑法改正委員長ベルリン大學教授カール氏の提唱によつて死刑廢止說が著るしく有力となつてをり、わが司法部內でもこれに刺戟されて花井博士の所論に共鳴するものが非常に增加して來た折柄、ことに考へさせられる問題として昨今話題になつてゐるのは目下市ケ谷刑務所に收容中の二死刑囚に關することである、即ち木田少將

令孃殺 し犯人杉山顯太郎（三）長野縣淺間村果樹園番人殺し犯人宮城誠（三）が言ひ合せたやうに冤罪を訴へ大審院に對し繰返し繰返し再審を申立てゐる事件は相當死刑廢止が關心をもたれてゐる今日司法當局もむげに看過するわけにゆかず、殊に現行法では幾回も再審を請求することが出來るのでその措置に惱まされてゐる、右兩人は再審、抗告等矢繼ぎ早に申請してゐるが當局はこれを單なる死刑執行引延ばしをしてゐるものとのみみてゐるもの、萬一誤判の場合を

慮つて 愼重な態度を持してゐる由であるが、何れにしても死刑廢止の理想がわが刑法に實現するのは果していつのことか

都路會長ら辭職か

【東京十日發電通】昨夜半解決を告げた京都市電爭議六十三點は今朝總監別場に搬入されたが責任を負ふて都路會長以下堀、粕谷、前田三理事も辭職する模樣である

旅順で執行の殉職警官慰靈祭

伊吹丸見殺しの 沙河丸船長排斥
部下の船員が猛烈に 船長遂に下船を言明

【門司十日發電通】去月十日支那海にて伊吹丸の救助信號を無視して同船を見殺しにして通過し、船員から船長彈劾の問題を起し世間を驚かした沙河丸は、九日夕刻門司入港と共に船長排斥の火の手猛烈となつたが、船長は海員協會門司支部長等と交涉の結果、船長は船籍港大連に入港後自發的に下船する事を明かにし、同船は午後二時大連に向つたが船長は「救助の可否に就ては大連に歸港して海事審判所で黑白を明かにする」と昂憤して語つた

十日の烈風中 四ケ所で火事
學校、棧橋、山火事等々

十日の双十節は早朝から强い北風に吹き捲くられたが大連市內ではこの日四ケ所に火事を發したるも大事に至らず消し止めたのは大出來であつた
▲午後零時三十分頃市內惠比須町七一番地張勝德方で煙草の吸殼が盆からアンペラに落ちアンペラから紙張の壁、高粱の天井へと燃え移りしも消防署へ急報すると共に支那人が氣轉をきかして水をブチかけ直に消し止む、損害小洋四十元位
▲午後二時三十分頃は常陸町四四番地張壽山方の煙突不完全からその煤煙が隣家の孟方に燃え移り折柄私設學校（兒童四十名位）の孟方では授業中であつたゝめ大騷ぎを演じ逃げ惑ふたが消防の出動早かつたゝめ二階を半燒して鎭火、損害は四五十圓位人畜に死傷なし
▲午後五時二十分頃は乃木町一七番地大連市設魚市場棧橋が燃え上り同六時廿分頃半燒して鎭火したが損害七千圓餘、原因は同棧橋に繫留中であつた羽月商店の第一濤丸の煙突から飛んだ煤煙か燃え移つたのであらうと
▲午後六時頃初音町管內骨粉會社裏に山火事が起つた、十坪餘を燒いて同四十五分頃消し止めたが原因は石道街に越す間道を通つた支那人が煙草の吸殼を消さずに捨てたことから枯草に燃えついたのであらうと損害輕微

救はれて また投身
醉拂支那人 始末に終へぬ

投身自殺を助け樣としたら譫言を發して悠々と死んで行つた物好きな支那人があつたとは既報の如くであるが、九日午後九時頃も山東生れ張仁大（三〇）はどこで飮んだか燒酒でしたゝか醉つて埠頭構內に入り二十番バース附近で過つて海中に投入附近のものが見つけて漸く助け出したが何分醉つぱらひの事とて多數の人達の油斷を見すかし再び投身、直に助けられたものゝ最近珍しい同じ樣な投身者があると水上署では不思議がつてゐる

月見から喧嘩
遂に告訴沙汰

市內若狹町一二四番地鑑中商瀨瀨半造（三七）は十日市內聖德街四丁目十八番地名越工務所員山本義助（四〇）及同根野木正男（二二）の兩名を相手取つて沙河口署へ傷害の告訴を提起した、右は前記瀨瀨が去る六日午後九時ごろ老虎灘稻荷神社附近において月見中同じく同所にて月見の宴を開いて居つた前記兩名等が一杯機嫌で瀨瀨に「ヘナチヨコ何をして居るのだ」と言つたことより端を發し爭論の末兩名より散々毆打され、全身に全治まで三週間を要する擦過傷を負はされたものであると

無錢遊興常習
二人組擧げらる

市內沙河口仲町二番地渡邊壽人（二三）同宿人佐久間鐵次郎の兩名は無錢遊興常習者として花柳界の鼻つまみ者であるが、本月五日逢坂町音羽樓に登樓し十四圓七十錢を遊興、例の如く懷中無一文で仲居を附馬に連れ出して姿を晦ましたので大連署で搜査中、十一日兩名とも檢擧されたが菊水外數軒でも無一文で豪遊してゐると

支那少女轢かれて怪我

市內山縣通り一七テキサス社員小橋順三郎（三〇）は十日午前十時半ころ自動車を操縦して星ケ浦方面に向ふ途中臺山屯十四番地先において通行中の黑石礁十九番地居住の劉淸乾妹小梅子（三）を避けんとして誤つて衝突し小梅子の右足を轢いて直に小崗子博愛病院に收容した

支那漁夫救助 船長を表彰

去る二日五日間も飮まず食はずで營口近海を漂流中だつた支那漁船を發見、半死半生の乘組員四名を救助した大汽天山丸（船長梶川淸水氏四千百五十一噸）に對し、營口領事館では外務大臣に對し船長の表彰方を申請中である旨十一日關東廳外事課の手を經て海務局宛通知があつた

國澤上田氏等 歡迎晚餐會

後藤伯銅像除幕式參列のため來連せる國澤新兵衛、佐藤安之助、上田恭輔、小林理一、箕輪爲三郎、田中淸次郎の六氏の歡迎會は既報の如く十日午後六時より連鎖街扶桑仙館に於て開催されたが出席者百五十名、貝瀨謹吾氏歡迎の辭を述べ之に對し國澤氏謝辭を述べ頗る盛會裡に八時半散會した

藤伯銅像除幕式 順序

十二日午前十時から大連星ケ浦で行はれる故後藤新平伯の銅像除幕式の順序は左の通りである
開會の辭、式辭、事業報告、御祓、除幕、神官祝詞、祝辭、遺族謝辭、閉會の辭、茶菓

學生宇治茶行商

京都市立商業實修學校生徒六十名は職員四名に引率されて來る十三日來連、十六日まで滯連して販賣實習のため名物の宇治茶を行商して廻る由

個人家主にも 値下の交涉
大連借家人同盟が

大連借家人同盟では全市に涉る家賃値下げの聲に應じ着々活動を續け、正隆、滿銀、滿業公司等大家主に向ひ合理的な値下げの懇願を行つてゐるが、正隆、滿銀兩行は重役會に諮つたうへ回答することになつてをり、滿業公司は十日渡久山實行委員等の交涉に對し **公司として** は既に各戶に對し一割乃至二割の値下を斷行してゐる、更に大店子には四割位までの値下げをする **意向も** あり、また六ケ月の家賃完納者に對しては半ケ月分を割戾す方針であるから希望のある者は申出られたい、そのうへ調査し値下げ餘地のあるものは適當の相談に應ずるといふ極めて理解ある態度を執つてゐるので、借家人同盟では直に各方面に亘り希望者を募つてゐるなほ同盟では市內の個人家主に對しても漸次手を伸べることゝなつてゐるので連名の申込を希望してゐる

株券亡失公告

一、南滿洲鐵道株式會社第三回募集株式拾株券 井第參壹五號、第參壹六號、第壹六〇八七號、第壹六壹參五號、壹六壹參四號、第壹六壹參九號 五枚 成瀨省一名義
右株券亡失ノ旨屆出アリ公告ノ日ヨリ六十日間內ニ異議ノ申立ナキトキハ該株券ハ無效トス
昭和五年十月十二日
南滿洲鐵道株式會社

九州竝中國地方及朝鮮風水害義捐金精算報告

拜啓本夏九州竝中國地方及朝鮮風水害ニ際シ罹災窮民ノ救護費ノ一端ニ資スル爲據テ募集中ナリシ義損金ノ成績左記ノ通ニ有之夫々被害地各縣知事及朝鮮總督府政務總監宛ニ送付シ寄附者各位ノ誠意ヲ相傳ヘ置候茲ニ精算報告旁々謝意ヲ表シ候 敬具
昭和五年十月十一日

發起人
大連市長 田中千吉
滿洲日報社長 高柳保太郎
大連新聞社長 寶性確成
區長 松田淸三郎
同 小島鉦太郎
同 野村宗
長崎縣人會副會長 立石保福
福岡縣人會長 村井啓太郎
鹿兒島縣人會長 上村哲彌
熊本縣人會長 竹田菅雄
佐賀縣人會長 辻慶太郎
宮崎縣人會長 佐藤至誠
沖繩縣人會長 玉城喜四郎
大分縣人會長 小田斌
山口縣人會幹事 藤田秀助

義捐金精算
收入ノ部
一金六千九十五圓四十五錢
內譯
金六千七十二圓四十六錢 寄附金
金二十二圓九十九錢 預金利子
支出ノ部
一金六千九十五圓四十五錢
內譯
金六千七十圓 被害地へ送金
金貳拾貳圓八拾五錢 爲替及郵送料
金貳圓六拾錢 廣告料
內譯左記ノ通
義捐金送金內譯
福岡縣 金貳千圓、鹿兒島縣 金壹千五拾圓、長崎縣 金壹千圓、沖繩縣 金五百圓、佐賀縣 金四百七拾圓、熊本縣 金參百五拾圓、山口縣 金貳百圓、宮崎縣 金壹百圓、大分縣 金壹百圓、朝鮮總督府 金參百圓

問題の牛肉店愈々開業

難産に難産を重ねました信濃町公設市場內の山田商店牛肉小賣部は市民各位の多大なる御後援の下に愈々來る十月十三日より開店致し得る事となりました店則を左の通り定めました御試しの上御氣に入りましたなら續々御用命を御願致ます

店則
一、市民への奉仕を第一とすること
一、御世辭を言はぬ代り掛け引をせぬこと
一、眞心を基とし叮寧親切なること
一、惡い肉は決して賣らぬこと
一、値段は出來る限り安くすること
一、現金の外一切賣らぬこと

定價
牛肉の部
一、壹等牛肉 百匁に付 金四十錢
一、貳等牛肉 同 金三十錢
一、參等牛肉 同 金二十錢
一、四等牛肉 同 金十五錢
鷄肉の部
一、上等鷄肉 百匁に付 金六十錢
一、並等鷄肉 同 金五十錢
一、鷄の皮きも 百匁 金三十錢
豚肉の部
一、上等豚肉 百匁に付 金三十錢
ハム、ソーセージの部
一、上等ハム 百匁に付 金六十錢
一、上等ソーセージ 同 金四十錢
右之通り販賣仕り候也
大連市信濃町公設市場內
山田商店小賣部
電話六四四九番

新聞の購讀御申込み其他配達上の御用命は電話（晝間）四七七六 （夜間及休日）二一二四番

海の唄 「八〇」

仲木貞一作　林唯一畫

闇を泳ぐ者（三）

それから幾日かゞ過ぎた。表面だけは華やかな、まるで、世の中のあらゆる苦悩を棄てた、歡樂街の漫歩者を以て自任させてゐるやうな生活が續いた。

そして、エロチシズムの上塗りが、日毎夜毎に繰返された。

彼女たちは、誰もがもう、カツレツやビフテキに食傷を起した時のやうに、自分たちの生活を嘲笑した。

だが、かうした自嘲を臉の裏に押し隱して、いくらかのチツプの爲に、自分の理性の力を一時的な麻痺に陷らせるのだ。荒みゆく人生——

苦悩だ。生活だ。生活の全面が社會苦だ。

失業時代が強る彼女たち瞬間生活者の惱みだ。

だが、彼女たちの過去の生活の反映は、常に、彼女たちを、反感さ憤懣さ呪詛の世界に歩ませ、そて、憤懣の破綻からくる殺人的し

不道徳への叫びが昂じて、彼女たちは運命に彷徨し、人生を享樂しやうとする。そこに自棄の世界が待つてゐた。

だが、京子の玉のやうな心には、また、異性に對する復讐といふことより外には、何物も芽生えはしなかつた。

復讐！自棄……彼女たちの辿るべきプロセスだ。京子は、そのプロセスのワンステツプを踏み出したのみだ。

定連たちの巧な言葉にも、いつも京子は理性の鋭いメスを加へることを忘れはしなかつた。

京子はいつか女學生時代に讀んだ小説の中に——復讐……それは男に對しても血を注ぐこと、すぐ知らない苦みに血を注ぐこと——と書いてあつたことを思ひ出すことが、しばしだつた。

然し、女であるといふ悲しさは、和雄に對しても血を注ぐことによつて、自分の憤懣の破綻を償ふだけの勇氣を持つことが出來なかつた。

この悲哀が、今、京子をしてダルチヤンに籠城させたわけである。

彼女は、憂鬱の後の谺る瞬なさから、いつも斯う考へさせられた。

そして、生活の反感から自分の將來を殆ど決定的な、或る暗いものので片附けられるやうな氣持ちがして堪まらなかつた。

×　×　×

或る晩、京子はマスターから呼び出された。

何だか自分のサービスの不行屆きからではないかと思ふと、ゾツとするやうな恐怖を感じた。

然し彼女の恐怖は、忽ち憎惡へと變つて行つた。

といふのは、もう、京子のサービスがマスターの認めるところとなつたので、メンバーへ加へるといふのである。

京子は、かれ〲このダルヂヤンのメンバーのことは仲間から聞いて知つてはゐたものゝ、今更の如く、何か大切なものを傷けたやうな憤慨めいた感情に支配された。

そして、やはり早く、こんな生活から逃れなければならないと思つた。

然しマスターの親切な口吻に、或る義理堅いものを感じてゐた京子は、それをノーさいふ言葉だけで、一蹴するわけにはいかなくなつてゐた。

また、或る時は、このメンバー組織の暗黑さを仲間から聞いた時さうした暗い世界に浸りぬいて、あらゆる異性を悩殺してやりたい氣持ちになりたいわけでもなかつたから。また、或時は、嘗て女學生時代にスクリーンに見た妖婦を想像して、密かに全身を震はしたりした。

「明日まで考へさして下さい」

さ云つて、マスターと別れると、また二階へ上つてしまつた。

そして、京子は再び現在の自分の生活をふり返つた。決心が果然さ心の溷濁で放漫し始める。

「一體、どうしたらいゝんだらう？」

五分の後、彼女は、その卓子にうつ伏したまゝ啜り泣いてゐた。

「おや、京子さん？どうしたんだ？」

背後からかう呼びかけられた。ふさ、ふり返つて見るさ、眞野だ。

「あら？」

京子は頓狂な聲で眞野を見上げた。

滿日柳壇募集

題「留守」「羽織」「叫び」

締　十月十五日着便

句　各題五句（必ず別紙）

宛　大連市能登町十高橋月南

新刊紹介

▲滿洲土木建築業協會報（第廿三年第五號）大連市に於ける建築情勢（協會調査部）滿洲各地に於ける勞働者の分布（同上）工事並に請負に關する座談會、其他（大連山縣通其會）

▲文藝倶樂部（十一月號）當世親子出世鑑（十名家）尺八死門蝶（川田紋彌）白蝙蝠（江戸川亂歩）旗本退屈男（佐々木味津三）海賊太閤記（細谷茂傳次）鼠小僧十六むさし（川村花菱）其他肩の凝らない秋の讀物で充たされてゐる（五十錢、東京博文館）

▲講談倶樂部（十一月號）人氣俳優家庭のぞき（人氣俳優十氏）高田屋嘉兵衛（中村吉藏）神さ人さの間（紹間執行）旭に輝く金冠奇緣錄（江見水蔭）鐵の花瓣（佐藤紅綠）部一番風流男（本田美禪）負けない男（佐々木邦）火の翼（加藤武雄）傷ける人魚（近藤經一）其他好讀物を以て充たされてゐる（五十錢、東京大日本雄辯會講談社）

▲富士（十一月號）あゝ祖國よ父母よ（伊東研齋）歐亞の空を飛びて（吉原清治）アリゾナの同胞（山室軍平）變裝の女探偵（甲賀三郎）愛炎の彼方へ（近藤經一）炎を踏む女（三上於菟吉）戀車（吉川英治）勝田新左衛門（小島政二郎）卒塔婆を祀つた米櫃（佐々木味津三）お國よいさこ（横山健堂）其他（五十錢、東京大日本雄辯會講談社）

▲農民（十月號）暴露記事巡査の裏面（木村信吉）小校教育さ農民（中村時以）其他（十錢、東京府下千歳村全國農民藝術聯盟）

▲上海週報（九月二十八日號）廿錢、上海四川路永安里其社

▲電氣の友（十月號）四十五錢、東京京橋其社

▲綜合ジャーナリズム講座（第一卷）ジャーナリズムの勃興は近代資本主義の躍進過展さ其の軌を一にしてゐる、されば第三期的資本主義發展段階に於けるジャーナリズムは其歴史の必然的發展階梯の第三期的現象にあると謂ひ得る、特に現代はジャーナリズムの爛熟期である、從來ジャーナリズムの理論及びその歴史的社會學的な觀點、或はその經濟機構の研究等汗牛充棟的にジャーナリズムを研究した書籍が出版されてジャーナリズム全盛時代に於けるジャーナリズム機構研究時代が出現した、この綜合ジャーナリズム講座も亦この時代風潮に乘じて出版せられたものであるが從來ありきたりの部分的研究から離脱してグルップ・メソッドに新味を出してゐる、執筆者も新聞ジャーナリズム各篇に於ける現代操觚界の一流、出版ジャーナリズム篇に於ける出版界の鬼雄を網羅した外特別講座、內外ヂャーナル等の特別記事に於てもそれ〲その各機構に於いてジャーナリズムの本體及び執筆者の一家言を聞く事が出來る、ジャーナリズムの本體及びステツクな智識を求める人々にとつて良き伴侶たる講座であらう（豫約本、東京京橋栁町內外社）

▲中央佛教（十月號）無産階級に對する宗教家の使命（卷頭言）經濟不安さ精神生活（紳木顯津）不景氣に處する佛教的對策（谷本富）マルクス主義に降伏せる宗教（寺田彌吉）覺王山問題に對する意見（九家）其他（卅五錢、東京牛込矢來町其社）

▲旗（十月號）俳句の形式さ特殊性の問題（栗林一石路）プロ俳句に就いての一考察（橋本夢道）其他（廿五錢、東京本郷區中郷栄平町其社）

滿日俳壇募集規定

次回課題「秋の野」「稚」「蘆」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙に認むる事締切十月十五日▲原稿に住所姓名明記▲封筒に「滿日俳句」さ明記▲投句先、東京市小石川區若松町八二島田青峰宛